

事業者の状況

1. 管理運営の基本方針

『スポーツと学びと遊びがあふれる施設』
～ 人と人、人と街をつなげる ～



当団体は、平沼亮三氏の功績を踏まえた施設の設置目的と役割を理解するとともに、施設とその周辺環境の特徴を最大限に生かしながら、横浜市の施策を積極的に推進することを最重要課題として、情熱をもって取り組みます。

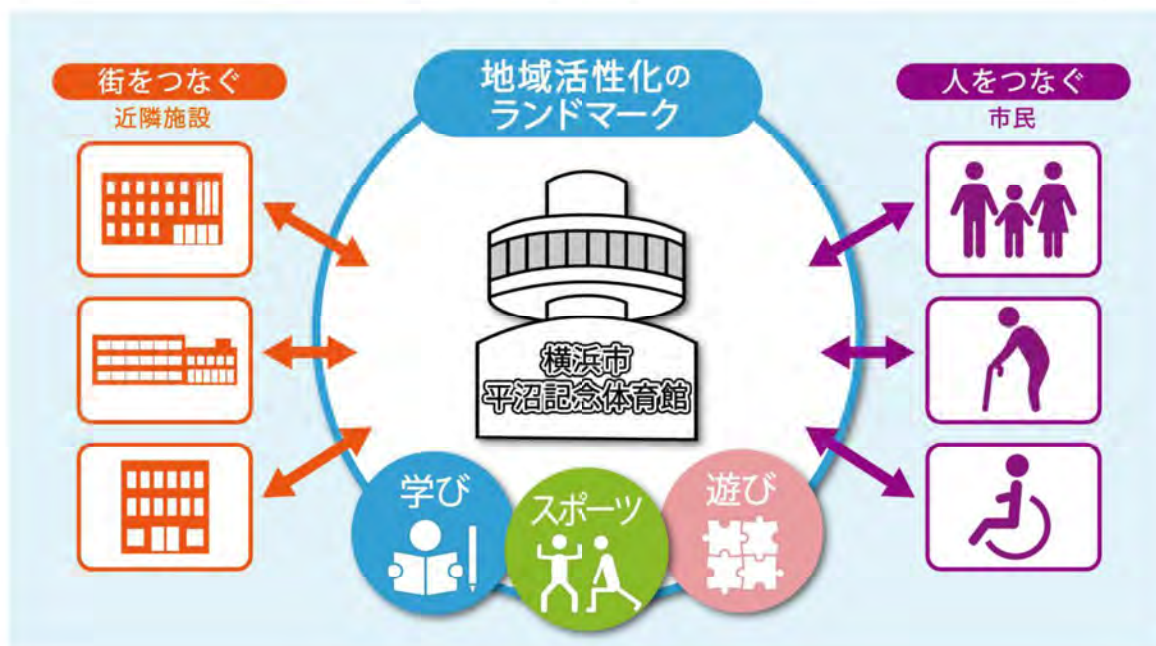
事業者の状況

ア 施設の管理運営の基本方針

■ 運営コンセプト

『スポーツと学びと遊びがあふれる施設』

～ 人と人、人と街をつなげる ～



当団体は、平沼記念体育館の第 5 期指定管理期間における運営コンセプトを『スポーツと学びと遊びがあふれる施設 ～ 人と人、人と街をつなげる ～』と定めました。

このコンセプトには、**横浜市民のスポーツ振興と健康増進、街のにぎわい創出**を推進しながら、もっと「**人と人、人と街をつなげていきたい**」との祈りを込めています。そのために当団体は、平沼記念体育館がスポーツを「**する・みる・ささえる・ふれる**」場としての役割を中心としながらも、**誰もが気軽に立ち寄れる場**として、「**学び**」「**遊び**」を含めた事業展開をしていきます。

■ 管理運営の基本方針

平沼記念体育館の管理運営では、「平沼亮三氏の意志と願い」と設置目的を基本としながら、横浜市公園条例並びに横浜市スポーツ施設条例の趣旨に則り、「**スポーツ、レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達**」を推進していきます。

また、当団体は、横浜市スポーツ推進計画等の横浜市の施策の趣旨に則り、**地域におけるスポーツ推進拠点**として機能するだけでなく、公共施設として**地域の多様な主体と対話をもとに連携し、地域課題の解決やコミュニティの醸成に寄与**するために、管理運営の基本方針を以下の通り策定しました。

事業者の状況

① ウェルビーイングを推進する施設

子どもから高齢者まで年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず、市民の方々がスポーツ・レクリエーション活動に親しみやすい環境づくりを積極的に推進していきます。

運動の体験や習慣化により、「笑顔に満ちあふれた健全な子どもたちの成長」や「人生 100 年時代に必要な健康寿命の延伸」を目指して、「心」と「体」が調和した人間味あふれたウェルビーイングの実現に寄与します。



② 集い・つながり・創造する施設

スポーツの活動を日常に取り入れている方々とスポーツに縁遠かった方々が、一緒に「集い」、「つながり」のもてる場として、生活に必要な「健康」「睡眠」「栄養」「癒し」「お金」「老後」などの学びや、楽しみとしての遊びなどの事業やイベントを展開していきます。

これらの事業を通じて「人と人、人と街」をつなげて市民の生活に活力を生み出しながら、地域の課題解決の一助や、新たな施設と地域の魅力向上を創造していきます。



③ 市民から信頼される安全・安心な施設

将来にわたって通い続けられる安全・安心な施設を目指し、老朽化した施設及び設備等の長寿命化に基づく適切な修繕等を行います。

日ごろから事故発生や自然災害等の緊急時に備え、防災訓練の実施や設備・備品の整備を適切に行うとともに、緊急時は利用者の生命を最優先にしながら、被害を最大限に抑えるように初期活動を行います。また、収益の一部を設備や備品へ還元、グリーン購入や再エネ調達など、地球環境に配慮した施設運営を行うとともに、誰もが気軽に利用できるように、バリアフリー・ノーマライゼーションを推進するなど、施設へのアクセシビリティを向上させます。



イ 基本方針を推進する上で大切にしたいこと

■ 施設の設置目的や役割に基づいた事業推進

平沼記念体育館は、明治から昭和時代にかけて、スポーツ界、政財界を通して横浜の地と日本を「誰もが体育（スポーツ）のできる社会を築こう」と死力を尽くした平沼亮三氏の功績を記念して、「アマチュアスポーツ」の振興のために設置された施設です。

横浜市長でもあった平沼亮三氏は、大日本体育会会長をはじめ、陸上競技、排球、体操、水上競技等の日本連盟会長の要職に就き、国際オリンピック大会（ロサンゼルス・ベルリン）の選手団長を務めました。

平沼氏が後世に「スポーツの父」として語り継がれているゆえんは、その功績が認められ、スポーツ関係者として初めて「文化勲章」を受賞した実績からと考えられます。

当団体は、平沼氏の功績とともに、意志と願いを引き継ぎます。



文化勲章を受章した平沼亮三氏

事業者の状況



聖火に点火する平沼亮三氏
(1963年 神奈川国民体育大会)

当団体は、平沼亮三氏の意志と願いを引き継いでいきます。

- 1 障害者、子育て世代、高齢者、子どもなど**すべての市民が、自分のスポーツを实践できる環境を整備していくこと。**
- 2 平沼氏の「生き方」から子どもたちが人間として行動すべき道を学ぶ活動を広めること。

【平沼亮三氏から学ぶ姿勢（例）】

- **目標を成就するためにひたむき努力することを貫く精神力**
 - **自らスポーツを継続することによる健康づくりへの実践**
- 3 記録写真や展示品を通じて平沼氏の功績を伝承していくこと。

■ 平沼記念体育館の特徴と周辺環境の把握

当団体は、平沼記念体育館の特徴と周辺環境を把握して、指定管理者制度の原理である市民サービス向上のための創意工夫・イノベーションを行い、施設の特有を最大限に生かした管理運営を行っていくことを大切にしていきます。

①市内で最大級の広い体育室(1,328 ㎡)、固定観覧席 264 席を有します。

フットサル及びハンドボールの聖地として、大会が頻繁に開催されています。



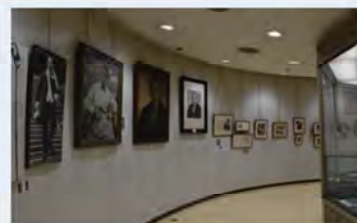
フットサル大会



ハンドボール大会

観覧席

②平沼亮三氏の記念棟（展望室及び展示室）を併設しています。



展示室

③陸上競技場や球技場などのスポーツ施設や野外活動センターが整備されている横浜市三ツ沢公園内に建設されています。



三ツ沢公園球技場



三ツ沢公園青少年野外活動センター

事業者の状況

④横浜市民病院が近隣に設置されています。



横浜市民病院

ウ 横浜市の特徴や施策の理解

当団体は、市民施設として横浜市の特徴や施策を理解して、現状の課題解決に向けて積極的に貢献していきます。

横浜市の特徴

横浜市は、神奈川県東部に位置しており、日本屈指の港湾都市・商工業都市でもあり、国内外の都市との優れた交通アクセスを持っています。人口は約 377 万人（2026 年 1 月現在）で全国の市区町村としては最大の人口になっていますが、2040 年には 361 万人に減少することが予想されています。

観光都市でもある横浜市は、横浜らしさを象徴する水際線、歴史を伝える古民家などの景観、緑が豊かな住宅地、経済を支える工業地や商業施設など、多様性に富んでいます。

横浜市の行政課題及び施策の理解

横浜市は、他の都市と同様に**人口減少と少子高齢化**、それに伴う**社会保障費の増大**、**膨大な都市インフラの老朽化**、そして**地域経済の持続的成長と多様な働き方の推進**などが課題になっています。

横浜市は、これらの課題解決のために今年度 6 月に議会の議決を経て確定した「横浜市中期計画 2026～2029」に基づき政策や施策を推進しています。

新たな計画では、戦略「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を掲げ、「**毎日の安心・安全**」「**防災・減災**」「**医療・保健**」「**こども・子育て**」「**高齢・長寿**」「**障害児・者**」「**暮らし**」「**にぎわい**」「**産業**」「**環境**」など、**14 の政策群**を総合的に取り組むことが盛り込まれています。



事業者の状況



観光で魅力的な景観の臨海線



緑あふれる田園風景



経済を支える工業地帯

【当施設が取り組む主な横浜市の施策や計画等】

計画項目	当団体が貢献する計画の主な内容
横浜市中期計画 2026～2029 「明日をひらく都市 横浜」	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツを身近に感じられるまちの実現 ■年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」「ふれる」機会の創出 ■高齢者の活躍・社会参画の機会の充実 ■一人ひとりが生きがいや役割を持ち、繋がり支えあう地域づくり ■障害児・者やその家族へも支援を行うインクルーシブなまちづくりの推進 ■防犯・防災や環境保全、子育て支援などの地域課題への取組
第3期横浜市スポーツ推進計画 「スポーツで育む地域と暮らし」	<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくりに気軽に取り組む機会の充実 ■働く世代と子育て世代の親と子が楽しむスポーツの充実 ■児童生徒がスポーツを楽しむ機会・場の充実 ■高齢者向けスポーツの充実 ■スポーツに取り組むための身近な場の確保と充実 <div data-bbox="1128 1570 1377 1911" data-label="Image"> </div>

第3期横浜市スポーツ推進計画

事業者の状況

	■スポーツ情報等の充実 ■障害者スポーツやインクルーシブスポーツ等の推進 ■スポーツ支援団体との連携・協働の推進 等
第3期健康横浜21 「横浜市健康増進計画・歯科口腔保健推進計画・食育推進計画」	■生活習慣病の発症予防や重症化予防 ■健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくり ■健康寿命の延伸
横浜市都市計画マスタープラン 2025年7月	■各地域の魅力を高め、子育てしたいまちを実現する ■「経済・暮らし・にぎわい・環境・安全安心」の都市づくり ■横浜市が率先して脱炭素社会を実現する
◆一般廃棄物処理実施計画 ◆第5・6次横浜市男女共同参画行動計画 ◆横浜市中企業振興基本条例 ◆横浜教育ビジョン2030 ◆「第4期横浜市教育振興基本計画」 ◆横浜市SDGs未来都市計画 ◆横浜市地球温暖化対策実行計画（2023年1月改定版）	

また、当団体は、施設周辺である商圏内の神奈川区・西区・保土ヶ谷区の地域の特性や運営指針等を理解して、3区の施策を積極的に支援していきます。

エ 神奈川区の特性や施策の理解

■ 神奈川区の特性

神奈川区の人口は、2026年1月1日現在で253,926人です。平均年齢は**45.47歳**で市内18区中5番目に若い区で、横浜市の平均年齢の**47.54歳**を下回っています。これは、65歳以上の割合が横浜市の平均24.9%を下回る20.9%と低く、働き手となる15～64歳が横浜市に比べて3.6%高い65.5%になっているのが要因です。しかし、15歳未満の割合は、9.9%で横浜市の10.6%を下回っており、子どもの割合が若干少ないのが特徴です。

神奈川区の特徴は、歴史的には「東海道神奈川宿」や「浦島太郎伝説」などが有名であり、また、横浜市民の台所を支える「横浜中央卸売市場」や「六角橋商店街」があります。臨海部は京浜工業地帯の一部にもなっています。



神奈川区のマスコット
「かめ太郎」

■ 神奈川区の行政課題及び施策の理解

2027年に区制100周年を迎える神奈川区は、「笑顔でつながる『神奈川区』」を基本目標に地域の愛着や魅力を感じながら、「住みたい・住み続けたい」まちを目指して、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる、安全安心なまちづくりを進めています。当団体は、これらの施策を積極的に支援するため、以下の取組を行います。

事業者の状況

【神奈川区の施策と当団体の取組】

計画名	目標・施策	当団体の事業計画
神奈川区運営方針	いきいきと暮らせる まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる世代が継続して楽しめる教室（文化・スポーツ） キッズプログラム、キッズスペース 体力測定、フレイル予防 ヘルスプロモーション事業
	魅力あふれるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> プロ選手やプロスポーツチームとの協働イベント
	安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練、防災イベント 広域避難場所と帰宅困難者一時滞在施設
かながわ支え愛プラン （地域福祉保健計画）	「ひとりぼっちにならない」 まち	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる世代が継続して楽しめる教室 多世代交流、多文化交流イベント 「すくすくかめっ子事業」との連携 フレイル予防事業
	「みんながチカラを発揮する」まち	<ul style="list-style-type: none"> 区ボランティアと市ボランティアセンターとの連携 地域指導者等の活用・連携
	「様々なチカラがつながり合う」まち	<ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ団体（神奈川区スポーツ協会、神奈川区スポーツ推進委員連絡協議会、神奈川区さわやかスポーツ会（旧神奈川区さわやかスポーツ普及委員会）等）や自治会町内会等との連携・協働

オ 西区の特性や施策の理解

■ 西区の特性

西区の人口は、2026 年 1 月 1 日現在で 108,596 人です。**平均年齢は 44.76 歳で市内 18 区中 2 番目に若い区で、横浜市の平均年齢の 47.54 歳を約 3 歳下回っています。**

これは、65 歳以上の割合が横浜市の 24.9%を下回る 18.7%と低く、働き手となる 15～64 歳が横浜市に比べて 7.0%高い 68.9%になっているのが要因です。しかし、15 歳未満の割合は、9.9%で横浜市の 10.6%を下回っており、子ども割合が若干少ないのが特徴です。

横浜市の人口が令和 20 年までに減少傾向が見られますが、西区の人口は、今後も増加し続けることが予想されます。

西区には、「伊勢山皇大神宮」、「野毛山動物園」「オリンピック記念碑」がある野毛山公園のほか、みなとみらい地区には、「パシフィコ横浜」「日本丸メモリアルパーク」や「ドックヤードガーデン」などの観光の名勝があり、市民の憩いの場になっています。



西区のマスコット
にしまるちゃん

■ 西区の行政課題及び施策の理解

西区は「**つながりを大切に 誰もが にこやか しあわせに くらせるまち西区**」を基本目標に、地域活動の支援と協働によるまちづくりやにぎわい交流促進を行うとともに、こどもから高齢者・障害者の健やかな暮らしや防災機能や防犯力の強化を進めています。

事業者の状況

【西区の施策と当団体の取組】

計画名	目標・施策	当団体の事業計画
西区運営方針	地域のつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・北軽井沢地区のお祭り支援 ・あらゆる世代が継続して楽しめる教室（文化・スポーツ） ・キッズプログラム、キッズスペース ・体力測定、フレイル予防 ・ヘルスプロモーション事業
	いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ＋生活に役立つ（税制・資産運用等）講座 ・プロ選手やプロスポーツチームとの協働イベント
	まちの回遊性向上とにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツレクリエーションフェスティバル」「平体祭」「三ツ沢公園感謝デー」のイベントによるにぎわいづくり
	安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・西区役所との「災害時の施設利用の協力に関する協定」の締結（遺体安置所・防災備品の管理）
にこやかしあわせくらしのまちプラン（西区地域福祉保健計画）	安全が確保され、安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、防災イベント
	活気にあふれ、健康なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・区ボランティアセンター、市ボランティアセンターとの連携 ・地域指導者等の活用・連携
	一人ひとりの個性を認め合い、みんなが共存するまち	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかスポーツを通じたインクルーシブ事業 ・アジアの難民や元難民のスポーツイベントの協力支援
	地域全体がつながりを持つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ団体（西区スポーツ協会、西区スポーツ推進委員連絡協議会、西区さわやかスポーツ会（旧西区さわやかスポーツ普及委員会）等）や自治会町内会等との連携・協働
	こどもが健やかに成長できるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生のアマチュアスポーツ選手の傷害予防事業 ・託児サービスがあるイベント

カ 保土ケ谷区の特長や施策の理解

■ 保土ケ谷区の特長

保土ケ谷区の人口は、2026 年 1 月 1 日現在で 205,389 人です。**平均年齢は 48.28 歳で市内 18 区中 7 番目に高齢が進んだ区で、横浜市の平均年齢の 47.54 歳を上回っています。**これは、65 歳以上の割合が横浜市の 24.9%を上回る 26.3%と高く、働き手となる 15～64 歳が横浜市に比べて 1.0%低い 60.9%になっているのが要因です。また、15 歳未満の割合は、9.8%で横浜市平均の 10.6%を下回っており、子ども割合が若干少ないのが特徴です。



保土ケ谷区制 100 周年ロゴマーク

事業者の状況

保土ケ谷区は歴史的に「東海道の保土ケ谷宿」「近代水道発祥の水道記念館や旧配水計量室」などが有名で、多くの緑を残す横浜国立大学や常盤公園、スポーツの盛んな保土ケ谷公園などがあります。

保土ケ谷区の行政課題及び施策の理解

保土ケ谷区は、「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を未来へを基本目標に、地域防犯力の向上及び交通安全対策の取組と、子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくりや、つながり・支えあいの充実を図り、各地域の課題解決と区制 100 周年に向けて魅力と賑わいのあるまちづくりを進めています。

【保土ケ谷区の施策と当団体の取組】

計画名	目標・施策	当団体の事業計画
保土ケ谷区運営方針	暮らしの安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、防災イベント ・広域避難場所と帰宅困難者一時滞在施設 ・スポーツ＋生活に役立つ（税制・資産運用等）講座 ・高齢者の交流事業「ザ・お茶会」
	子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる世代が継続して楽しめる教室（文化・スポーツ） ・キッズプログラム、キッズスペース ・体力測定、フレイル予防 ・ヘルスプロモーション事業 ・プロ選手やプロスポーツチームとの協働イベント
	つながり・支えあいの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ団体（保土ケ谷区スポーツ協会、保土ケ谷区スポーツ推進委員連絡協議会、保土ケ谷区さわやかスポーツ会（旧保土ケ谷区さわやかスポーツ普及委員会）等）や自治会町内会等との連携・協働
	魅力と賑わいのあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツレクリエーションフェスティバル」「平体祭」「三ツ沢公園感謝デー」のイベントによるにぎわいづくり
第5期保土ケ谷ほっとなまちづくり（保土ケ谷区地域福祉保健計画）	見守り・支えあい	<ul style="list-style-type: none"> ・区ボランティアセンター、市ボランティアセンターとの連携
	いきいき健康	<ul style="list-style-type: none"> ・地域指導者等の活用・連携 ・中高生のアマチュアスポーツ選手の傷害予防事業 ・託児サービスがあるイベント
	担い手づくり・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかスポーツを通じたインクルーシブ事業 ・アジアの難民や元難民のスポーツイベントの協力支援

事業者の状況

キ 当施設の商圈エリアやスポーツ振興推進における課題

■ 周辺の人口特性やお客様の利用傾向の分析

平沼記念体育館は、神奈川区の三ツ沢公園内にあり、急こう配の坂の丘に位置しています。

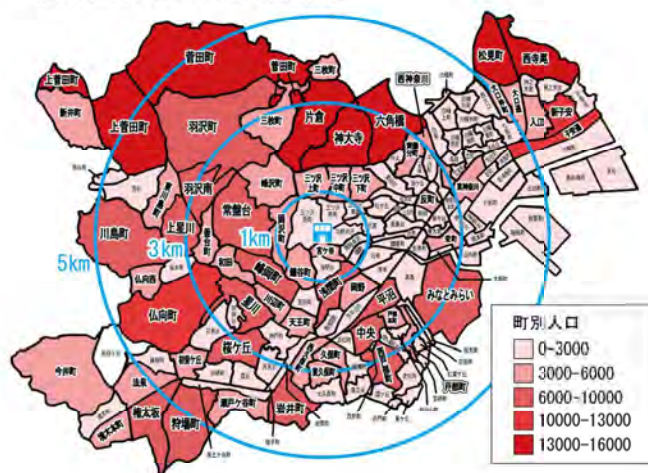
商圈エリアを施設から3～5km以内とすると、神奈川区だけではなく、西区・保土ヶ谷区内の地域の方々が通える施設となっています。

現在、当施設の体育室は、90%程度の稼働率があり、フットサルやハンドボールをはじめ、各種大会で横浜市内だけではなく、神奈川県内や東京都内の方々にも幅広く利用されています。

しかし、当施設のスポーツ教室は、定員に達していないものもあります。そこで、現在、1km圏内で徒歩及び自転車で通っていただいている保土ヶ谷区鎌谷町、西区宮ヶ谷町、北軽井沢、神奈川区沢渡を中心にした方々だけではなく、**バス路線に配慮した広報の強化（例、バス広告・自治会回覧・ポスティング）**を行うことで、3～5km以内の神奈川区羽沢町、菅田町などにお住まいの方々の利用増につなげたいと考えています。

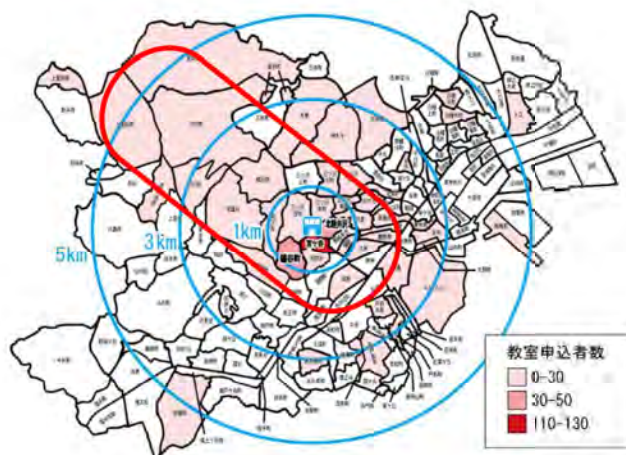
特に「敬老特別乗車証（敬老パス）」の利用を促進して、高齢者のお出かけを増やす機会に貢献していきます。

【人口密集地の分布】



【教室参加者の分布】

※赤線内は、利用者を増やしたいバス路線エリア



事業者の状況

■ スポーツ振興推進における課題

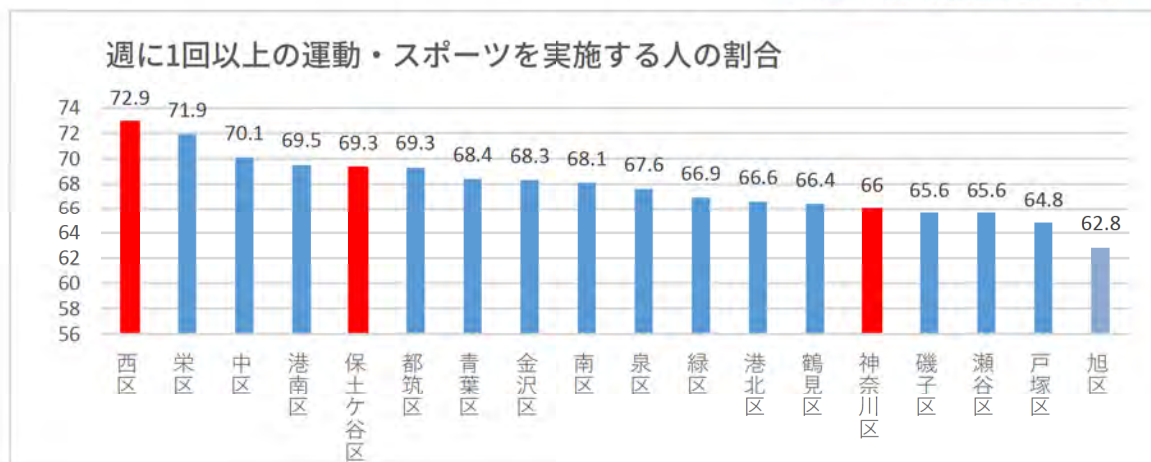
当団体は、スポーツ振興・健康づくりのプロフェッショナルとして、横浜市が実施しているスポーツ意識調査を分析し、横浜市スポーツ推進計画の目標達成に貢献します。

2025 年度横浜市民スポーツ意識調査より

指標	目標値 (令和8年度)	令和7年度 (今回)	令和6年度
成人の週に1回以上のスポーツ実施率	70%以上	50.2%	53.0%
成人の1年に一度以上のスポーツ実施率	100%に近づく	74.5%	79.7%
スポーツが好きな人の割合	75%以上	62.8%	66.3%
働く世代・子育て世代の週1回以上のスポーツ実施率	60%以上	42.6%	48.4%
障害者の週1回以上のスポーツ実施率	65%以上	40.9%	40.0%
障害者の1年に一度以上のスポーツ実施率	80%以上	57.7%	61.5%
スポーツボランティア参加率	10%以上	8.20%	8.30%
市内でのスポーツイベント直接観戦率	30%以上	26.6%	35.9%
横浜市はスポーツが盛んであると思う市民の割合	70%以上	54.0%	58.0%

2025 年度の調査結果を見ると、「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は、50.2%で約半数の割合を超えていますが、目標の70%以上の目標は達成できていません。特に「働く世代・子育て世代の週1回以上のスポーツ実施率」は42.6%、「障害者の週1回以上のスポーツ実施率」は40.9%と低く、こうした方々が参加しやすい取り組みを展開することが必要と分析しています。

2025 年度横浜市民スポーツ意識調査より



当団体は、平沼記念体育館から5km以内である神奈川区・西区・保土ヶ谷区を商圈エリアに設定して、その地域にお住まいの方々を中心に、施設まで足を運んで運動・スポーツに携われる事業・機会を提供します。

その事業の参加をきっかけに、平沼記念体育館に定期的に通っていただくことや、ご自宅の近くの身近な場所で運動やスポーツを楽しむことができるように働きかけていきます。

事業者の状況

■ 共創・協働による事業展開

地域の課題を解決し、地域をより良くしていくためには、地域のことを熟知している多様な方々と対話するところから始まります。横浜市にぎわいスポーツ文化局、神奈川・西・保土ケ谷区役所、地域の企業や団体などのステークホルダーと対話を重ね、協働により新たな価値を生み出し、地域の活性化に繋げていきます。

【主な共創・協働のパートナー】

横浜市にぎわいスポーツ文化局、横浜市教育委員会、横浜市中学校体育連盟・神奈川県高等学校体育連盟、神奈川県サッカー協会、神奈川県フットサル部会、神奈川県・横浜ハンドボール協会、神奈川・西・保土ケ谷区連合自治会町内会、北軽井沢中西部自治会、神奈川・西・保土ケ谷区スポーツ推進委員連絡協議会、神奈川・西・保土ケ谷区スポーツ協会、神奈川・西・保土ケ谷さわやかスポーツ会、神奈川・西・保土ケ谷区老人クラブ連合会、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点、地域作業所、プロスポーツチーム 鹿島建物総合管理(株)、(株)アイタック、神奈川・西・保土ケ谷区役所、三ツ沢公園指定管理者、神奈川県立スポーツ会館指定管理者、一般社団法人カルティベータ、FM ヨコハマ"

ク 安定的な財務状況

当団体は、財務状況の安定性を図る流動比率及び自己資本比率をは共に高い基準を保っています。法人の資産総額から負債総額を差し引いた純資産も、過去3年間に於いても20億円を超えており、安定的な経営を行っています。(詳細は18ページに記載)

【当団体の純資産の推移】

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
純資産	2,001,805,187 円	2,128,104,760 円	2,149,898,968 円

2. 基本方針を実施する為の目標及び実施策

ア 基本方針を踏まえた目標設定

当団体は、管理運営の3つの基本方針を踏まえ、定量的な評価のための総利用者数を大きな目標として定めるとともに、その目標を達成するために5つの具体的な目標を設定します。

3つの基本方針

ウェルビーイングを推進する施設

集い・つながり・創造する施設

市民から信頼される安全・安心な施設

5年間の
総利用者数

86万人 を目指します!

事業者の状況

■ 第 5 期指定管理期間の目標人数

【各年度の達成目標】 毎年度 2 % アップを目標にしています。

令和7年度実績	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
163,241	166,500	169,800	173,100	176,500	180,000

施設の年間利用者を
172,000 人 (5 年間の平均)



子どもから高齢者を対象とした
事業参加者を年間 5,500 人



地域貢献・交流事業を
年間 5 回以上実施



記念塔（展示室・展望室）の
利用者数を年間 2,500 人



利用者満足度 90 % 以上



イ 3つの基本方針にもとづく実施策

■ 3つの基本方針

I

ウェルビー
イングを
推進する施設



II

集い・
つながり・
創造する施設



III

市民から信頼
される安全・
安心な施設



■ 実施策

- 多角的なスポーツ・文化教室の実施
- 生活に役立つ講座の実施
- 深夜帯の施設利用の実施
- DX推進と魅力あるサービス

- 地域や近隣施設との連携
- 平沼亮三氏の意志と願いの伝承と記念塔の活用
- インクルーシブスポーツ拠点としての働き

- 点検強化と長寿命化の取組
- 地球温暖化対策や環境保全
- 危機管理大使絵の強化
- 災害時における「横浜市防災計画」に協力

■ 具多的な事業例

- スタジオで文化教室
- スポーツプログラムに＋生活を賢く豊かにする講座
- 深夜帯でのフットサル交流イベント
- 駐車場精算機キャッシュレス
- プロテインの自動販売機

- 「平体祭」「公園感謝デー」「スポーツレクリエーションフェスティバル」
- 誰でも入りやすい記念塔
- 巡回展示・教材として活用
- アジアスポーツフェスタへの協力支援

- 日常点検を1日6回以上、年間330万円以上の修繕実施
- 防犯カメラの更新
- スポーツ用品のリユースとエコカップなどのリサイクル
- 熱中症予防のために体育室に冷風機の設置

事業者の状況

■ 進捗管理による計画の確実な実行

当団体には、20 年以上にわたって指定管理者として横浜市のスポーツ施設を運営してきたノウハウがあります。指定管理期間（5 年間）の事業計画を進捗管理表に落とし込み、施設職員と本部職員で共有して各年度の実施計画を策定し、計画的かつ確実に実行します。

3. 安定的な経営体力と適正な経営情報開示（経営の透明性）

ア 業務に対する適切な人員体制

当団体は、当施設をスポーツ振興拠点としての機能を最大限発揮する体制を築くため、スポーツ施設の運営に熟知した専門的な人員を配置します。

また、当団体のノウハウに加え、施設が老朽化していくなかでも、安全安心に利用できる環境を提供するため、施設設備の維持管理を専門とする協力会社と連携して、管理運営を遂行します。



■ 維持管理協力会社（鹿島建物総合管理株式会社）

当該事業者は、スポーツ施設や百貨店、ホテルなど数多くの施設の維持管理を行っているノウハウが豊富な専門業者です。長きにわたって当団体のパートナーとして平沼記念体育館の維持管理を担ってきました。横浜市内に拠点を構え、平沼記念体育館の設備を熟知しているからこそ、**万が一の時には即時対応が可能**となっています。



■ 民間フィットネスクラブのノウハウ（野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社）

野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社は、「メガロス」を始めとした国内 43 店舗（横浜市内 7 店舗）のフィットネスクラブの運営の他、企業の健康経営サポートや公共スポーツ施設の運営などを行っている民間事業者です。また、**横浜市と「子ども・子育て世代をはじめとした市民のスポーツ振興及び高齢者の健康増進に関する協定」**を締結し、横浜市内において市民の健康増進を推進しています。

当団体は、上記事業者と協力し、フィットネスクラブの人気プログラムの実施や、民間事業者の視点でのモニタリングなど、上記事業者のノウハウを平沼記念体育館の管理運営に活用し、より魅力的な施設を目指して取り組みます。



事業者の状況

事業協力団体

当団体は、以下の事業パートナーとともにスポーツ普及・振興に取り組めます。

横浜エクセレンス		チアダンス教室 イベント協力
Y.S.C.C.		サッカー・フットサル教室
一般社団法人横浜サッカー協会		フットサルイベント
一般社団法人神奈川県サッカー協会		フットサルイベント
横浜ハンドボール協会		ハンドボール教室とイベント
横浜市バドミントン協会		バドミントン教室
野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社	 スポーツクラブ メガロス	外部モニタリング評価 教室・イベント協力
株式会社マクニカ	 タネ・まぐ。	フレイル測定

非常時のバックアップ体制

当団体はリスク管理・危機管理を担う危機管理室に専門職員が在職するなど**危機管理の実践的体制を構築**しています。
非常時には、横浜市中区にある当団体本部や近隣施設から応援職員が 30 分以内に駆け付け対応します。法的なリスク管理や事故の補償等には、顧問弁護士によって事態に備えています。また、公共施設の運営経験が豊富な職員も多数いることから、危機に強い組織力を備えています。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、長期間にわたる休館となった際にも耐えることができた十分な経営体力を有しています。



公共サービスに精通した職員配置と資格取得制度

平沼記念体育館の責任者は、公共スポーツ施設の管理運営を十分に経験した職員を配置します。

当団体には、公共スポーツ施設の管理運営に有効な様々な資格の保有者も多数在職しており、**初級パラスポーツ指導員等の有資格者を配置**します。

資格の取得・更新については、講習会参加時の職務を免除するなどの制度を設け、職員の資質向上及び施設運営の向上をサポートしています。

資格名	人数（人）
健康運動指導士	37
健康運動実践指導者	11
上級スポーツ施設管理士	5
スポーツ施設管理士	5
応急手当普及員	107
サービス介助士	34
初級パラスポーツ指導員	38

■当団体の管理施設に配置する人材の保有資格
 (2026 年 4 月現在)

事業者の状況

■ 内部・外部で実施する充実した研修

当団体は「人材こそが最も重要な経営資源＝人財」と考え、知識と経験に裏打ちされた資質と能力を兼ね備える人材の育成に努めます。当団体内での共通認識を図るための人権研修やコンプライアンス研修のほか、職員**それぞれのキャリアに必要とされる研修が受けられる**ように、ALL DIFFERENT 社が開催している研修に 1 人につき年間 3 回は受講しています。これにより、配属先や担当業務が異なる中でも、職員が必要な知識や技術を個々で受講することが可能です。

また、当団体では令和 8 年度から新たに運動指導に関する内部育成制度を構築し、専門知識や高い運動指導力を有する職員を養成していきます。



イ 経営体制、財務状況の健全性

■ 公益財団法人としてのガバナンス

当団体は、**公益法人認定法に基づき公益性を認定された公益財団法人**です。

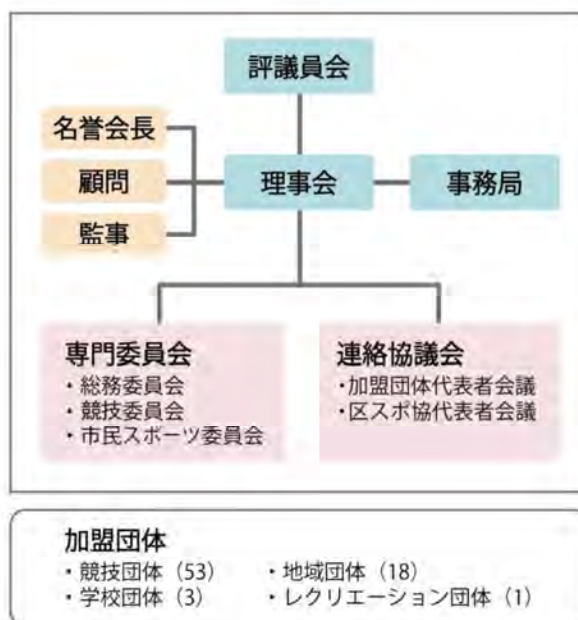
昭和 4 年に発足して以来、『**いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現**』を理念に、90 年以上にわたって横浜のスポーツ振興に寄与してきました。

現在は、**競技、地域、学校関連など 75 団体が加盟**し、この強大なネットワークを駆使して施設運営やスポーツ振興事業を実施するとともに、市民の皆様の健康・体力づくり、競技スポーツの推進に貢献しています。

当団体の評議員や理事は、加盟団体の役職員のほか、地元団体や経済界、学識経験者などの外部人材から選出されています。

評議員会及び理事会については、選任や解任、任期、職務、権限などが定款に厳格に定められており、法人の意思決定機関としての機能を果たしています。

毎年度、評議員会にて承認を得た事業計画書および事業報告書等は、公益法人認定法に基づき定期提出書類として所管庁である神奈川県に提出しています。



事業者の状況

ガバナンスを維持する職員一人一人の心構え

当団体は『いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現』を理念に掲げ、豊かな社会の実現のために「スポーツの力で様々な社会課題を解決していきたい。」という想いで存在しています。職員一人一人が理念やビジョン、職員行動指針を意識して業務に取り組んでいます。

 理念	 ビジョン	 職員行動指針
いつまでもスポーツが楽しめる 明るく豊かな社会の実現 「豊かな社会の実現のために、スポーツの力で様々な社会課題を解決していきたい。」そんな想いを背景とし、すべての市民の皆様が生涯にわたって、あらゆるスポーツ活動を 楽しめる社会を実現するために、私たちは存在しています。	スポーツで 横浜の街をデザインする 私たちは、「横浜といえばスポーツの街」と誰もが思えるよう、スポーツの力で新たな発想をもって考えを巡らせ、市民がいつまでもスポーツが楽しめる横浜の街を作り上げていきます。	全ての行動の原点は スポーツの振興のために <ul style="list-style-type: none"> ◆ 正直に、誠実に、行動します。 ◆ 安全・安心を第一に考えます。 ◆ 清潔で快適な環境づくりを徹底します。 ◆ 無駄をなくし、時間とお金を有効に使います。 ◆ 自分の行動に責任をもち、粘り強く結果を出します。 ◆ 常に学び、チャレンジし、成長し続けます。

健全な財務状況

当団体は、公益財団法人として営利を追求せず高い公益性のもと安定的な経営を行っています。令和 6 年度末における現金及び預金の残高は 13 億円を超えており、財務状況の安定性を図る流動比率及び自己資本比率は共に高い基準を保っています。

また、公益財団法人の原資となる基本財産の運用については、「資産管理運用要綱」を設け、厳格な基準のもと AA 格以上の日本国債、横浜市債、定期預金を基本として、安全性を最優先に運用しています。

令和 6 年度決算における財務指標等

①流動比率【流動資産／流動負債×100（％）】	162.4%
短期的な支払い能力を図る比率である流動比率は、162%あり十分な支払い能力を有しています。	
②自己資本比率【正味財産期末残高／資産合計×100（％）】	62.0%
長期的な経営能力を図る自己資本比率は 50%を超えており、安定的な経営状況であるといえます。	
③経常収益	7,183,283,385 円
法人の売上高を示すものです。	
④純資産	2,149,898,968 円
法人の資産総額から負債総額を差し引いた金額です。	

事業者の状況

■ 公益財団法人としての収益の考え

当団体は、公益財団法人としてスポーツ普及・振興事業（公益目的事業）を行っているほか、スポーツ普及・振興事業を支えるための収益事業も行っています。当該年度の財務状況が好調で黒字となった場合、一般的に株式会社では利益を株主に分配しますが、**公益財団法人では決算で生じた剰余金を翌年度以降の公益目的事業に充てる**ことが公益法人認定法で定められています。そのため、公益目的事業で剰余金が生じた場合、横浜市のスポーツ普及・振興事業に充てられます。

■ 厳格な会計監査（チェック体制）

当団体は、公益法人会計及び横浜市委計経理関係規定等に準じて、各種経理関係規定及び独自の経理事務マニュアルに基づき日常業務を遂行します。団体本部の経理部門と平沼記念体育館を所管するスポーツ施設課によるダブルチェックのほか、公益法人会計を専門とする公認会計士による外部監査（外部監査担当者として監査責任者 1 名、監査補助者 2 名による会計監査）、職員による内部監査を実施し、経理処理の厳格化を徹底しています。

ウ 団体としての情報開示規定の有無

■ 公益団体として求められる積極的な情報公開

当団体は、横浜市の「保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、情報公開を実施するに当たり必要な事項を定めた「保有する情報の公開に関する規程」を定め、規程に基づいて情報公開を実施します。

また、公益財団法人として指導監督基準において定められる項目（定款、役員名簿、計画、報告予算、決算等の経営情報）のほか、経営計画や横浜市との協約事項の達成基準とその評価、事故等含めた記者発表、大会、イベント情報等についてインターネットで広く公開しています。

エ 就業体制・福利厚生・労働法規遵守体制

■ 公共サービス従事者に適した就業体制

当団体は、高品位なサービス提供の観点から、職員に加重な業務の負担を強いることのないよう、改正労働基準法、その他労働関係法規を遵守した就業体制を確保します。法令遵守や倫理保持等、公正な職務執行を脅かす疑いがある場合は、「コンプライアンス規程」にもとづき、調査、告発、再発防止等のための措置を行い、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」にもとづき対応します。

■ 労働法規遵守体制

指定管理者として法令遵守は当然のことですが、当団体は、労働基準法をはじめとする労働関係法規を遵守した適切な就業体制を確保しています。また、労働契約法や同一労働同一賃金など、法改正による新たな制度についても迅速に対応できるよう準備を怠りません。

労働安全衛生法の規定に基づき衛生委員会を設置し、毎月、産業医とともに定期開催し、勤務する職員の労働安全及び衛生に関し、産業医からの意見や啓発活動、職場環境の整備を審議・検討しています。その内容は社内イントラネットを用いて職員に周知しています。

事業者の状況

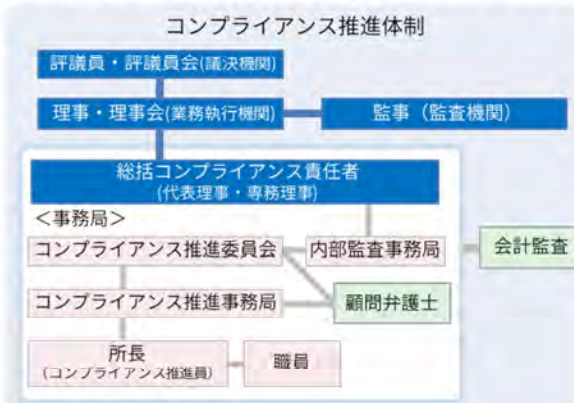
■ コンプライアンス推進体制

当団体は、「コンプライアンス規程」を定め、コンプライアンス遵守を徹底しています。

法令遵守状況の確認のみに留まらず、個人情報保護、安全管理、労務管理及びハラスメント防止等について継続的な確認を実施しています。

さらに、「コンプライアンス推進委員会」を設置しており、**四半期に一度、当団体の全管理職が集合し、苦情・事故案件等の検証及び再発防止策の検討を実施**しています。

軽微な事務ミスについても情報共有をすることで、事故や事務ミスが発生しないよう、組織全体で取り組んでいます。



■ 社会保険と福利厚生及びワーク・ライフ・バランスへの取組

当団体は、必要な社会保険等に加えるほか、育児や介護休業、各種休暇等のワーク・ライフ・バランスに関する制度を整備しています。特に、女性やシニアが働きやすい環境整備のために、次世代育成支援対策推進法による一般事業主行動計画を策定するとともに、定年後の継続雇用制度を設け、良質な公共サービスを持続的に実施できる体制を整えています。

■ ワーク・ライフ・バランスに関する制度等

年次休暇 (目標:1人あたり平均10日以上)	骨髓提供休暇	短期介護休暇
リフレッシュ休暇	結婚休暇	病気休暇
育児時間	子の看護休暇	介護休暇
男性職員の育児参加休暇	祭日休暇	服忌休暇
配偶者の出産のための休暇	社会貢献活動休暇	公の職務執行休暇 (裁判員制度対応)
永年勤続表彰	生理日休暇	
	横浜市勤労者福祉共済への加入	産業医による健康相談

■ いきいきと働くための認証

● 横浜健康経営認証(クラス AAA)の取得

従業員等の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の概念を幅広く普及させることを目的とした「横浜健康経営認証」制度において、当団体は職員に対する健康保持・増進の取組を評価され、最高ランクのクラス AAA を取得しています。



● かながわ健康企業宣言【健康優良企業(五つ星)】

従業員一人ひとりが、心身ともに健やかに働くことができる職場環境を目指し、他の企業の模範となる健康づくりの取組を実施している企業に対し、協会けんぽ神奈川支部より認定される「かながわ健康企業宣言【健康優良企業】」において、最高位である五つ星に認定されています。



事業者の状況

● スポーツエールカンパニー

スポーツ庁では、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。当団体では、朝の1分体操を開発・導入、通勤途中や仕事の合間にできる「ちょこエク」の紹介と実践、サークル活動を支援、健康な生活習慣に関する情報提供の取組により、スポーツ庁から「スポーツエールカンパニー」として認定を受けています。



● よこはまグッドバランス企業

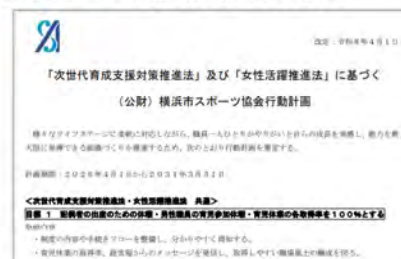
横浜市では、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進するため、誰もが働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内企業等を「よこはまグッドバランス企業」として認定しています。

当団体では令和7年度に認定を受けています。



● 「次世代育成支援対策推進法」及び「女性活躍推進法」に基づく行動計画の策定

当団体では、「次世代育成対策推進法」及び「女性活躍推進法」に基づき、様々なライフステージに柔軟に対応しながら、職員一人ひとりがやりがいと自らの成長を実感し、能力を最大限に発揮できる組織づくりを推進するため、行動計画を策定しています。



当団体の行動計画(一部抜粋)

● SDGs（持続的な開発目標）に対する取組

当協会では、これまでのスポーツ振興推進の垣根を越えて、新たな事業展開を見据え、SDGs(持続的な開発目標)への取組を設定しています。

サステナブルな目標を実現するためには、さまざまな組織団体とパートナーシップを築きながら、職員一人一人が、「子どもの活躍」「女性の活躍」「健康づくりの推進」「インクルーシブスポーツの推進」「地球環境の保全と創造」を念頭に置き、業務を遂行します。



横浜市 SDGs認証 Y-SDGs認証状

事業者の状況

オ 類似施設の豊富な管理運営実績

■ 当団体のスポーツ施設の管理運営実績

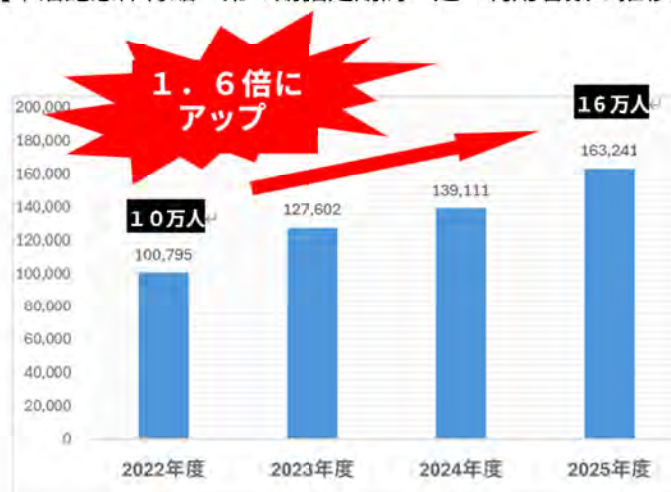
当団体は、半世紀以上にわたり横浜市内の多くのスポーツ施設を管理運営しています。

施設名	補足情報
スポーツセンター (12施設)	鶴見・中・港南・旭・磯子・金沢・緑・都筑・戸塚・栄・泉・瀬谷
野外活動施設 (5施設)	三ツ沢公園青少年野外活動センター・くろがね青少年野外活動センター・こども自然公園青少年野外活動センター・赤城林間学園・南伊豆臨海学園
体育館施設 (2施設)	横浜武道館 (※1)・平沼記念体育館
横浜国際プール	
新横浜公園	新横浜公園・日産スタジアム (※2)・日産フィールド小机・日産ウォーターパーク・フットボールパーク
三ツ沢公園	ニッパツ三ツ沢球技場・陸上競技場・補助陸上競技場・馬術練習場・テニスコート
横浜市スポーツ医科学センター	 
横浜銀行アイスアリーナ	
鶴見川漕艇場	(※1) 横浜武道館 (※2) 日産スタジアム
テニスコート施設 (3施設)	緑テニスガーデン・泉中央テニスガーデン・根岸テニスガーデン
横浜 BUNTAI	
YSA	YSA スポーツと医科学のクリニック 横浜関内 (令和 8 年 4 月開業) YSA スポーツと医科学のジム 横浜関内 (令和 8 年 3 月開業)

第 4 期指定管理期間において、横浜市内の平沼記念体育館や 12 のスポーツセンターの指定管理者として、着実に成果を上げてきました。

平沼記念体育館においては、**新型コロナウイルス感染症による利用制限が一部残る 2022 年度の総利用者数は、100,795 人でしたが、2025 年度には 163,241 人と 162%に増加させることができました。**第 5 期指定管理期間においても、多くの区民にご利用いただける施設運営に引き続き取り組みます。

【平沼記念体育館 第 4 期指定期間 延べ利用者数の推移】



施設の平等・公平な利用の確保

1. 公共性・公平性に基づいた利用の確保

平沼記念体育館には、年齢や職業、国籍が異なる方、障害のある方、高齢者、小さなお子様をお連れの方など、さまざまなニーズを持つお客様が利用に訪れます。

当団体は、公共施設に従事する職員として、**誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「共生社会の実現」**を目指し、平等・公平な利用を確保するための体制を整えています。

ア 平等利用を堅持する体制

■ 法令の理解

地方自治法第 244 条において、「正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない」、「不当な差別的取り扱いをしてはならない」と定められています。

また、**障害者差別解消法**には、障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止するとともに、障害のある人の求めに応じて、合理的配慮をすることを定めています。

当団体は、地方自治法、障害者差別解消法、横浜市スポーツ施設条例及び同施行規則等を正しく理解して、**研修や職員マニュアルを通して平等で公平な管理運営の徹底**を図っていきます。

■ 団体利用の設定手順

団体利用の設定について、「横浜市平沼記念体育館第 5 期指定管理 業務の基準」における利用形態ごとの利用枠及びコマ設定の考え方にに基づき、公正かつ公平に設定します。

当該年度における一般団体の予約申込みが始まる前に、大会やイベント、教室を以下の手順にて設定します。

優先利用	<p>1、大会（平日・土曜日・日曜祝祭日） 横浜市が優先利用調整後に作成した内定表を基に、各団体等と指定管理者が調整を行います。各団体等は、利用許可申請書を指定管理者に提出します。</p> <p>2、大会（平日・土曜日・日曜祝祭日） 指定管理者は、内定している平日、土曜、日曜祝祭日の年間分の優先利用日を 10 月上旬までに予約システムに入力します。</p> <p>3、指定管理者による教室 業務の基準に従い、上限を超えない範囲でコマを設定します。</p>
一般利用	<p>優先利用にて設定されていないコマについて、一般団体は利用申込みすることができます。</p>

施設の平等・公平な利用の確保

一般利用については、「横浜市市民利用施設予約システム」によって、公正な抽選の後、空きコマは先着順での受け付けとなり、市内のすべてのスポーツ施設で統一された申込み方法となっています。



■ 障害のある個人利用者への配慮（記念塔にある展示室と展望室の利用）

個人利用は、記念塔にある展示室と展望室がありますが、エレベーターがなく階段のみでの利用になっています。

車椅子を利用している方や体力に自信がない方のために、平沼亮三氏の記念品や展望室から撮った壮大な写真をロビー内に掲出して、誰にも見られるように配慮します。



展望室から見た横浜みらい地区の日の出

■ 定期教室の抽選による公平性の確保

平沼記念体育館で実施している定期教室について、定員を超える応募があった場合には、当選条件をシステムにて設定し、抽選を実施しています。当選の条件としては、以下の通りです。

優先度第1位	初めて応募する市民
優先度第2位	参加経験のある市民
優先度第3位	初めて応募する市外の方
優先度第4位	参加経験のある市外の方

■ ワンデーレッスンは先着順で当日受付で対応

定期教室は、一定の期間を定めて開催するため、教室によっては定員がいっぱいとなり、抽選に外れてしまった区民は次の期間まで参加することができません。ワンデーレッスンでは、開催当日に順番で受け付けるため、**予約不要で参加することを可能**とする対応を実施しています。

■ 公共サービス従事者としての心構え

平沼記念体育館の設置目的や行政の施策を理解し、**あらゆる市民の皆様が公平・公正・快適に施設を利用できるように**、公共施設に従事する者としての心構えを習得するとともに、サービスの向上を目指すことを目的として「**公共サービス従事者研修**」を年に1回実施しています。

公共サービス従事者研修で使用するテキストは、内閣府の『公共サービス窓口配慮マニュアル』を参考に、実際の平沼記念体育館での事例を織り交ぜたオリジナルテキストです。



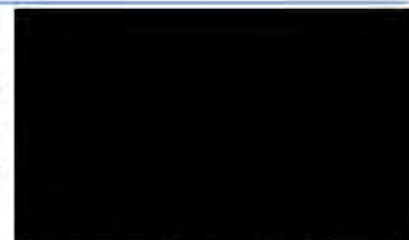
研修テキストの例

施設の平等・公平な利用の確保

■ 人権尊重の取り組み

当団体では、**全職員を対象にした人権研修を実施しています。**

令和 5 年度には、パラアイスホッケー元日本代表の上原大祐様に「パラスポーツと共生社会 ～個々をいかす横浜へ～」というテーマでご講演いただき、**人権尊重の意識を持った職員の育成に取り組んでいます。**



パラアイスホッケー元日本代表の上原様

■ 迷惑利用・反社会的組織への対応

横浜市スポーツ施設条例第 11 条では、入館者がほかの入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるときに限り、指定管理者が入館の拒否・制限をかけることができると定められています。差別的な取り扱いをしないように事実関係を把握したうえで、迷惑利用と認められる入館者には、毅然とした態度で対応します。

当団体は、**神奈川県警要職 OB を雇用しており、有事の際も神奈川県警本部や神奈川県警察署と迅速な連絡体制を有しています。**

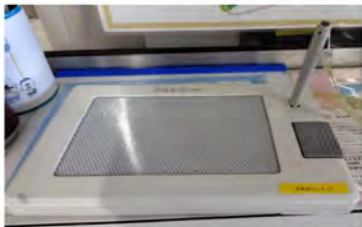
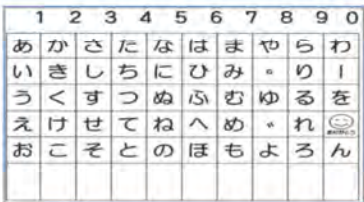
なお、神奈川県暴力追放推進センターの賛助会員となり、「暴力追放ステッカー」の掲出や対策研修の協力を仰ぎ、反社会的組織の抑止に取り組めます。

イ 誰もが気軽に利用できる施設として

■ バリアフリー・ユニバーサルデザインの実践

当団体は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」及び「横浜市福祉のまちづくり条例」の理念に則り、指定管理者として誰もが使いやすい施設づくりを目指しています。多様なお客様のご意見に耳を傾け、ユニバーサルデザインを実践しています。

接遇面では、常勤のサービス介助士による接遇研修やノーマライゼーション研修を実施し、全てのスタッフがホスピタリティマインドを持って接客します。

老眼鏡	筆談用白版ボード	車椅子
		
コミュニケーションボード	ホームページに 360 度ビュー	自動販売機
	 360 度方向へズーム可の画面	 車椅子の方や子どもが使える高さ

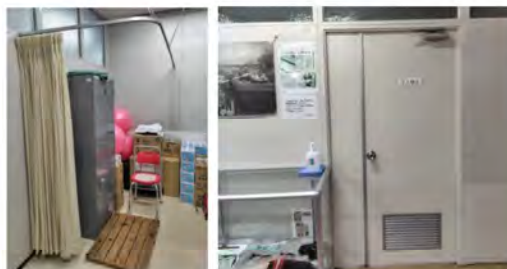
施設の平等・公平な利用の確保

ピクトサイン	サンタリーボックス	介助犬の待機スペース
		

多様な利用者への配慮

令和 5 年に制定された「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」に基づき、多様な利用者への配慮として、更衣室の問題が利用の障害とならないために、誰もが気軽に利用できる更衣室を設置します。

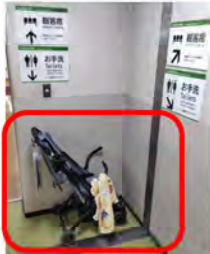
「LGBTQ+」のお客様が安心して更衣室を利用できるほか、介助が必要な利用者と異性の介助者、乳幼児と親子の利用などを想定しています。



救護室を更衣室等の多目的室として活用

子育てを応援する安心な施設

当団体は、入館の際の心配りや子育てにやさしい設備・備品の提供など、子育て世代を応援する認証として横浜市が実施している「ハマハグ」に登録しています。

おむつ交換台	ベビーカー置き場	授乳スペース
	 <p>※ロビーが狭いため、分散して置く場所をご案内します。</p>	 <p>※救護室をジェンダー更衣室としても利用します。</p>

子育て世代の利用を促進

子育て世代が安心して施設をご利用いただくとともに、参加したくなるイベントや教室を実施します。イベントの情報発信においては、多くの子育て世代が利用しているレジャー・お出かけ情報サイト（アソビュー、いこーよ他）に情報を掲載するとともに、SNS などターゲットを絞った広報を実施します。

また、気軽に利用できる施設として、**会議室（スタジオ）をキッズスペースとして無料開放**し、利用者同士の子育ての輪が広がりやすい環境を提供します。

施設の平等・公平な利用の確保

シニア世代が通い続けられる施設

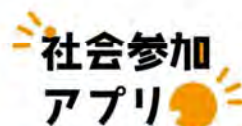
シニア世代の活力を生み出す施設として、個人の体力レベルに合わせた教室を開催するほか、ハード面にも配慮しています。

手すりの設置	靴の脱ぎ履き用のイス	受付の杖置き
		

よこはまシニア社会参加ポイントアプリ導入

新規

よこはまシニア社会参加ポイントアプリの「通いの場」として登録を行います。継続的な社会参加を促進し、介護予防に貢献します。



よこはまシニア社会参加ポイントアプリとは 【横浜市健康福祉局の統括事業】

よこはまポジティブエイジング計画の取組事項の一環で、「高齢者の社会参加」と「健康管理の推進」を目的とする高齢者社会参加ポイント事業です。社会参加に対してインセンティブを付与することで、介護予防に繋げる取組で、平沼記念体育館の利用者層や事業を踏まえると非常に親和性の高い横浜市の取組です。

ウ 利用者対応（接遇、ワンストップサービス）

平沼記念体育館では、施設の顔となる受付にコンシェルジュスタッフを配置します。**コンシェルジュは、お客様の目的に応じた案内・提案力があり満足度の高い接遇ができるスタッフ**です。

『コンシェルジュマニュアル』、『サービス介助マニュアル』を策定しており、サービスの変化に即応するために、毎年見直しを図り最新の情報に更新しています。

接遇トレーナーによる定期研修

当団体では、施設責任者を「接遇トレーナー」として、職場内での実務研修（OJT）を体系的に行う仕組みを構築しています。

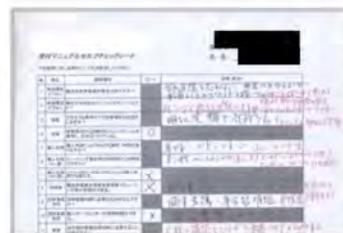
接遇トレーナーは本部での専門研修を経て、施設内研修の講師を務めるとともに、日常業務を通じて職員の育成を担います。さらに、サービス介助士資格の取得を推進し、すべての利用者が安心して利用できる環境づくり（ノーマライゼーション）の実現を目指します。

地区社会福祉協議会より
用具を借用した高齢者疑似体験

施設の平等・公平な利用の確保

● 高いサービスレベルの徹底方法

接遇研修後、平沼記念体育館ではマニュアル理解と接遇力向上を目的に定期テストを実施します。「研修→実践→テスト→改善」の循環で高品質なサービスを維持し、テストの返却時には日頃の取組への評価とねぎらいを添えています。



100 以上の設問テスト

■ 充実したワンストップサービス

施設の効用を最大限に発揮するため、利用者が必要とする情報や手続きを一か所で完結できるワンストップサービスを強化します。**館内情報や教室案内、利用方法などはタブレット端末に集約**し、初めての方でも迷わず利用できる環境を整備します。案内を担うのは、地域の事情に精通したコンシェルジュスタッフで、地元ならではの情報提供や相談対応を行います。また、多言語対応として **AI 翻訳機能を活用し、外国人利用者にもスムーズな案内を実現**します。デジタル機器と人的サポートを組み合わせ、誰にとっても利便性の高いサービスを提供します。



2. 多言語化に関する取り組み

ア 外国人のお客様に対する取り組み

横浜市の外国人人口は、令和 7 年 12 月時点で 137,000 人を超え、172 か国の方が住んでいます。

施設近郊に住む外国人は、神奈川区に 10,828 人、西区に 6,706 人、保土ケ谷区に 7,488 人になっています。3 区の在住外国人の国籍を見ると、中国、ベトナム・韓国・ネパールのアジア系の方が多いことが特色となっています。

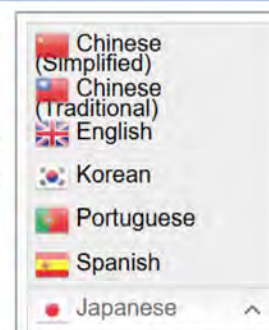
当団体は、言葉の壁が利用の壁とならないように、外国人でも気軽に利用できる施設でありたいと考えています。地域に暮らすあらゆる区民が、つながりを感じられる共生社会の実現に寄与するため、環境の整備に取り組みます。



■ 多言語の表記

窓口における外国人の対応では、タブレット端末の翻訳アプリを使用し、円滑なコミュニケーションを図れるようにしています。

また、**施設のホームページでは、日本語の他に韓国語、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語では繁体字と簡体字の 2 種類で表記し、合わせて 7 か国語に対応**しています。



ホームページは 7 か国語で対応

施設の平等・公平な利用の確保

■ ひと目でわかるピクトグラムの活用 新規

ピクトグラムは、言葉が分からなくても、視覚的にとらえることができ、ひと目で意味が通じます。一般的なピクトグラムはすでに使用していますが、横浜デジタルアーツ専門学校の協力のもと、外国人の利用者向けに新しくピクトグラムを作成し、お客様へのご案内を充実したものとします。



当団体職員と学生のデザイン打ち合わせ

■ 翻訳機を使った接客と「やさしい日本語」の活用

翻訳機を使って、外国人の方々とフレンドリーに会話できるように接客します。

また、外国人のなかには、日本語学校に通うなど勉強している方など、日本語をわかりやすく伝える「やさしい日本語」であれば理解ができるという外国人は多くいます。そこで、「やさしい日本語」を館内サインやチラシ、ホームページにて活用しています。

職員には、翻訳機や「やさしい日本語」を利用した接客研修を行います。



イ 多文化共生の取り組み

■ スポーツ交流による相互理解の促進

スポーツはルールさえ共有できれば、言葉が通じなくてもジェスチャーや動きで意思疎通ができるため、一緒に楽しむだけで自然に関係が深まります。また、チームで取り組む種目は、信頼感や連帯意識が芽生えやすく、文化的意識が異なっても仲間意識が生まれやすい特徴があります。

区内在住の外国人と地域の方が一緒に楽しめるスポーツイベントを開催し、相互理解を促進する多文化交流の場を作ります。

● 「アジアスポーツフェスタ」での外国人交流を支援

当団体は、平沼記念体育館で開催されている「一般社団法人カルティベータ」が主催する「アジアスポーツフェスタ」に「特別協力団体」として支援を行っています。

アジアの難民や元難民がスポーツイベントを通して、日本の若者と理解し合う機会を持ち、多文化共生への理解を深める事業をこれからも応援していきます。



各国の参加者がダンスで交流を深める

施設の平等・公平な利用の確保

3. 障害者の利用支援に関する取り組み

ア 障害者差別解消法に基づく差別解消の推進

当施設は、平成 25 年（2013 年）6 月に制定された「障害者差別解消法」に則り、障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止するとともに、障害のある人から申出があった場合に、負担が重すぎない範囲で障害者の求めに応じた合理的配慮を行います。

職員による障害者の方への導線等の親切な対応

1970 年に開設された平沼記念体育館は、残念ながらバリアフリーが完全に配慮されて建設された施設とは言えません。

障害者が訪れた際に、障害者の方の身体の状態を把握して、その都度、導線や施設や設備の利用方法について親切に対応します。

また、大会等イベント主催者とは、念入りに導線等を確認して、安全で滞りない運営を支援します。

【車椅子を利用される方へのご案内方法】

項 目	対 処 方 法
観覧席へのご案内	体育室の放送席側の非常口から入場していただきます。
体育室へのご案内	体育室本部室の裏から入場していただきます。
更衣室のご案内	一般更衣室は階段や段差があり利用できません。諸室をお貸しします。 本人の同意があれば、障害者トイレでの更衣も可能です。
トイレのご案内	市民病院側の体育室横の障害者トイレをご案内します。
車の駐車スペース	駐車場内の障害者駐車スペースへご案内します。

横浜ラポールとの連携

当団体は、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールを管理運営する社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団と「パラスポーツの推進に関する包括連携協定」を結び、パラスポーツの推進とスポーツを通じた共生社会の実現に関して連携して取り組んでいます。

以下の取り組みについて、横浜市リハビリテーション事業団からの助言をもらいながら、運営サービスの向上に取り組んでいます。

横浜ラポールとの連携一覧

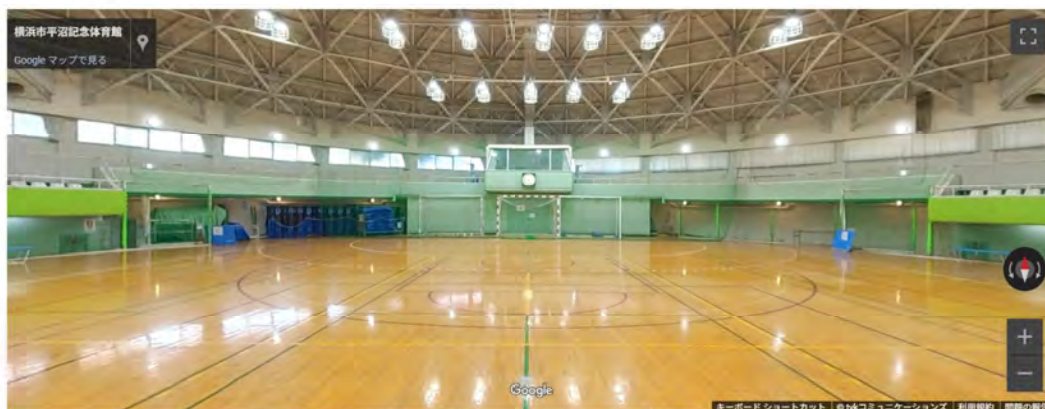
- ホームページの監修
- 横浜ラポール職員の訪問点検
- 施設職員への研修
- パラスポーツ普及啓発冊子「パラスポーツのすすめ」の発行

施設の平等・公平な利用の確保

■ 利用時の安心をイメージできるホームページ

平沼記念体育館のホームページは、全ての利用者に支障ない多様な利用環境を想定し、**ウェブアクセシビリティに関する日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」の等級 AA に準拠**しています。

平沼記念体育館がどのような場所なのかを事前に確認できるように、体育室やスタジオ、ロビー、更衣室などを **360 度ビューで確認**することができ、利用時の安心をイメージしてもらえるように工夫しています。また、「障害のある方へ」のページにて、スロープや多目的トイレなどの情報を掲載しています。



360 度ビューで体育室の広さや設備の確認ができます

■ ハード面の工夫

私たちは、誰もが不便なく利用しやすい環境を提供するために、トイレ表示の点字貼付やトイレでの点字付き呼出ブザーの設置、車いす対応の飲料自動販売機の設置など、工夫を施します。また、障害者目線を持つために、横浜ラポールの職員による訪問点検を行っています。



点字サイン

■ パラスポーツ普及啓発冊子「パラスポーツのすすめ」の発行

横浜市リハビリテーション事業団の協力のもと、障害及びパラスポーツに関する理解を深め、パラスポーツに取り組んでもらうことを目的として、必要な配慮事項等をまとめた冊子を制作しました。また、小学生向けのパンフレットでは、パラスポーツをわかりやすく説明するとともに、人と繋がることの意味や多様性の理解を進め、共生社会の一助となることを目的として製作しました。

今後も、平沼記念体育館にて配布するほか、パラスポーツの普及啓発に活用していきます。



パラスポーツ普及啓発冊子



小学生向け冊子

施設の平等・公平な利用の確保

イ 障害者の利用促進の取り組み

■ 初級パラスポーツ指導員の配置

日本パラスポーツ協会認定の初級パラスポーツ指導員を配置し、障害者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援します。

イベントや教室などにおいて、障害者の健康や安全に配慮し、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担います。また、トレーニング室における介助方法の研修やマシン配置、導線においても、初級パラスポーツ指導員が中心となって、日常的にスポーツが楽しめる環境を整備します。

■ 減免利用について

平沼記念体育館の減免については、「横浜市公園条例第 29 条の 3 第 4 項及び同条例施行規則第 12 条の 2」に則り、当団体が策定した「平沼記念体育館利用料金の減免等に関する基準」に基づき適切に対応していきます。この基準をお客様にわかりやすく説明をして、「学校教育」「社会福祉事業」「障害者」に対して、公平で平等な減免の適用を実施します。

■ 減免に関する基準の抜粋

横浜市公園条例第 29 条の 3 第 4 項

- 4 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

横浜市公園条例施行規則第 12 条の 2 (抜粋)

(利用料金の減免)

第 12 条の 2 条例第 29 条の 3 第 4 項に規定する規則で定める場合については、前条第 1 項第 1 号から第 6 号まで、第 8 号及び第 9 号の規定を準用する。この場合において、免除する利用料金の額は、同項第 1 号から第 6 号まで、第 8 号及び第 9 号に掲げるとおりとし、その額に 10 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

4. インクルーシブスポーツの推進

インクルーシブスポーツとは、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、共生社会の実現に向けた取組を推進する、各人の適性にあったスポーツ活動のことを表すものです。

当団体では、この「インクルーシブスポーツ」の推進を重点事業とし、組織を挙げて推進しています。

ア インクルーシブスポーツの具体的な取り組み

■ 当団体の取り組み

団体本部事業では、インクルーシブスポーツをテーマとした地域事業を多数展開しています。令和 7 年度には、三ツ沢公園補助陸上競技場にて、誰もが参加できるインクルーシブな大会として「第一回よこはま♡モルック大会」を開催しました。(2026 年度も開催予定)



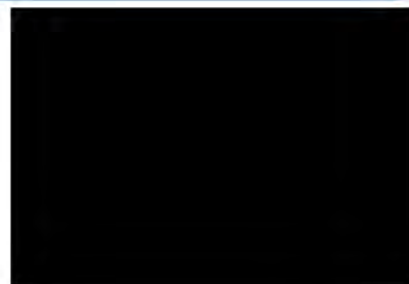
団体本部でのインクルーシブ事業

施設の平等・公平な利用の確保

■ 平沼記念体育館での取り組み

平沼記念体育館では、インクルーシブスポーツ推進の取り組みとして、新たに「ちょうどいいポッチャ教室」を開催します。

また、「よこはま♡モルック大会」の開催について、三ツ沢公園内での開催が実現した場合は、平沼記念体育館も運営に参画します。さらには、施設を利用する方に対し、インクルーシブスポーツの普及啓発やイベントへの参加の呼びかけを行うなど、本部と連携した取り組みを行っていきます。



第一回よこはま♡モルック大会

施設の効用の最大限発揮

1. 利用者本位のサービス提供

平沼記念体育館の施設の効用を最大限に発揮していくためには、施設の設置目的や特徴などを理解して、横浜市や周辺区の施策と地域の課題を把握しながら、利用者の視点に立って施設の貸出や事業を展開していくことが重要と考えています。

当団体は、お客様の要望や意見を積極的に採り入れながら、公の施設の管理者として、横浜市民のスポーツ振興と健康を増進し、さらに、多世代交流による街のにぎわい創出を推進し、**人と人、地域の絆が育む社会の構築**に向けて邁進します。

【施設効用を最大限に発揮する仕組み】



 健康増進	①多種多様な「スポーツ・文化教室」 ②体力測定・フレイル予防 ③キッズ・プログラム ④スポーツ+生活に役立つ講座
 居場所づくり	①子育てサポートシステムとの連携 ②キッズスペースの開放 ③インクルーシブスポーツの普及
 多世代交流	①「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」「平体祭」「三ツ沢公園感謝デー」のイベント開催 ②ニュースポーツの普及啓発

ア 施設の特徴を最大限に生かした管理運営

平沼記念体育館の最大の特徴は、市内最大級の広い体育室（1,328 m²）を持ち、固定観覧席 264 席を有していることです。

また、記念棟（展望室及び展示室）を併設しており、「**スポーツの父**」と言われた**平沼亮三氏のレガシー**を伝承していくことが大切と理解しています。

さらに平沼記念体育館は、三ツ沢公園内にあるため、球技場、陸上競技場、馬術場、野外活動センターと隣接しており、相互での連携や協力することで、新たな事業を展開します。



固定観覧席 264 席がある大きな体育室

施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・市内最大級の体育室が広く、固定観覧席が設置されています。 ・記念塔（展望室・展示室）があり、平沼亮三氏のレガシーの伝承しています。 ・三ツ沢公園内にあり、陸上競技場、球技場、野外活動センターがあります。 等
--------------	--

■ 広い体育室の有効利用

体育室では、フットサル及びハンドボールの聖地として、横浜市民、西区民の各種競技大会などに頻繁に利用されています。

当団体は、今後もこの大会運営を支援していくとともに、フットサルやハンドボールの協会などと連携した指導者養成やワンポイント講習会などの事業を推進します。



広い体育室（スポーツセンターの 1.3 倍）

施設の効用の最大限発揮

また、「6 か月前からの予約可能」や「観覧席がある」特徴を生かして、地域でのイベントや運動会、任意団体によるスポーツ大会の利用をPRしていきます。

フットサル等の団体を支援するため、今後も体育室等の夜間の利用延長は継続して行い、チーム練習や交流機会を増やします。

● 体育室の個人利用の取り扱いについて

市内最大級の広さと観覧席を備える体育室の団体利用が、約 90%と高い稼働率であることから、あえて卓球やバドミントンのような個人利用の設定は行いません。個人利用は、スポーツセンターや地区センターに任せて、市レベルの大きな体育室として差別化を図った運営を継続します。

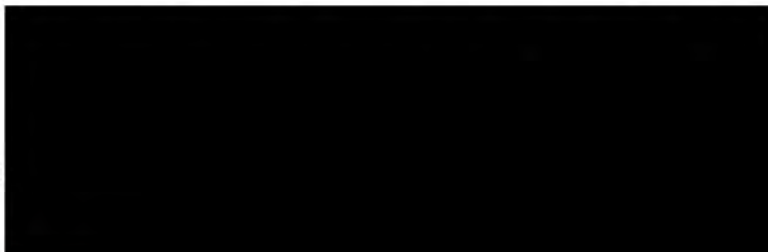
■ 記念塔（展望室・展示室）の活用

「3 記念塔」に掲載しています。

■ 三ツ沢公園内の野外活動センター等との連携

市内のとある大学附属高校では、平沼記念体育館の体育室で体育祭を行い、その後に隣接する三ツ沢公園青少年野外活動センターで、昼食用にカレーライスを作る野外炊飯の多角化プログラムの実績があります。これらの複合的なイベントの利用方法を多くの方々に紹介して、参加者に楽しんでもらうプログラムを提供します。

体育室でのスポーツ種目と野外炊事などの
多角化プログラムの提案
左：カレーライス 右：マシュマロ焼き



イ 利便性向上、利用者還元

■ キャッシュレス決済の拡充

当団体は、これまで教室参加料や体育室・スタジオ等の利用料金をインターネット決済機能の導入、受付窓口及び自動販売機でのキャッシュレス決済を実現してきました。

第 5 期指定管理期間では、駐車場精算機を更新して、現金のみであった決済機能を、交通系 IC やクレジットカード等が利用できるようにして、キャッシュレス決済を拡充し、さらなる利便性の向上を実現します。



キャッシュレス決済機能の駐車場精算機に更新

施設の効用の最大限発揮

■ お客様の「あったらいいな」を実現 ～シェアリングサービス～

● モバイル充電スポットの設置

外出先でのスマートフォン等モバイルの充電切れは、お客様にとって連絡手段や決済手段を失うことになりかねません。そこで、どこでも借りられて、どこでも返せるモバイルバッテリーシェアリングスポットを設置し、バッテリー残量を気にせずに平沼記念体育館をご利用いただくことができるサービスを提供します。



モバイルバッテリースポット

● 利便性をあげるレンタルサービス一覧

約 20 種類のレンタル用品を用意して、利便性を向上します。

| レンタル物品

レンタル物品	価格
体育館シューズ	220円/1足
フットサルボール	110円/1個
ヒップス	110円/5枚
レガース	110円/1セット
ストップウォッチ	110円/1個
デジタイマー（モルテン）	550円/1区分 1,100円/2区分～1日
バレーボール	110円/1個
Tシャツ	110円/1枚
ハーフパンツ	110円/1枚
演台	440円/1台
ストレッチボール	110円/1本
グリッドローラー	110円/1本
ヨガマット	110円/1枚
ギムニクボール	110円/1個
エアロビマット	60円/1枚
CDデッキ	220円/1台
コピー（片面）	1枚10円/A4 1枚20円/B4以上
カラーコピー（片面）	1枚30円/A4 1枚50円/B4以上

※料金は税込です。

ラケット 	ボール 	シューズ 	ヒップス
パンツ 	ホイッスル 	ラジカセ 	コピー機

施設の効用の最大限発揮

● 利便性向上・利用促進のためのデータ活用

● 横浜市民意識調査の分析と活用

横浜市が毎年調査している「横浜市民スポーツ意識調査」をもとに、運動実施状況や意識を把握・分析します。

成人の週に1回以上のスポーツ・運動実施率は、2026年度目標値「70%以上」に対して、2025年度の結果は、「50.2%」でした。

継続的な運動習慣の啓発や、非実施者へのアプローチ強化などを引き続き行います。

2025年度横浜市民スポーツ意識調査報告書

1. 調査概要

2. 調査目的

3. 調査対象

4. 調査方法

5. 調査結果

6. 調査結果の活用

7. 調査結果の活用

8. 調査結果の活用

9. 調査結果の活用

10. 調査結果の活用

11. 調査結果の活用

12. 調査結果の活用

13. 調査結果の活用

14. 調査結果の活用

15. 調査結果の活用

16. 調査結果の活用

17. 調査結果の活用

18. 調査結果の活用

19. 調査結果の活用

20. 調査結果の活用

21. 調査結果の活用

22. 調査結果の活用

23. 調査結果の活用

24. 調査結果の活用

25. 調査結果の活用

26. 調査結果の活用

27. 調査結果の活用

28. 調査結果の活用

29. 調査結果の活用

30. 調査結果の活用

31. 調査結果の活用

32. 調査結果の活用

33. 調査結果の活用

34. 調査結果の活用

35. 調査結果の活用

36. 調査結果の活用

37. 調査結果の活用

38. 調査結果の活用

39. 調査結果の活用

40. 調査結果の活用

41. 調査結果の活用

42. 調査結果の活用

43. 調査結果の活用

44. 調査結果の活用

45. 調査結果の活用

46. 調査結果の活用

47. 調査結果の活用

48. 調査結果の活用

49. 調査結果の活用

50. 調査結果の活用

51. 調査結果の活用

52. 調査結果の活用

53. 調査結果の活用

54. 調査結果の活用

55. 調査結果の活用

56. 調査結果の活用

57. 調査結果の活用

58. 調査結果の活用

59. 調査結果の活用

60. 調査結果の活用

61. 調査結果の活用

62. 調査結果の活用

63. 調査結果の活用

64. 調査結果の活用

65. 調査結果の活用

66. 調査結果の活用

67. 調査結果の活用

68. 調査結果の活用

69. 調査結果の活用

70. 調査結果の活用

71. 調査結果の活用

72. 調査結果の活用

73. 調査結果の活用

74. 調査結果の活用

75. 調査結果の活用

76. 調査結果の活用

77. 調査結果の活用

78. 調査結果の活用

79. 調査結果の活用

80. 調査結果の活用

81. 調査結果の活用

82. 調査結果の活用

83. 調査結果の活用

84. 調査結果の活用

85. 調査結果の活用

86. 調査結果の活用

87. 調査結果の活用

88. 調査結果の活用

89. 調査結果の活用

90. 調査結果の活用

91. 調査結果の活用

92. 調査結果の活用

93. 調査結果の活用

94. 調査結果の活用

95. 調査結果の活用

96. 調査結果の活用

97. 調査結果の活用

98. 調査結果の活用

99. 調査結果の活用

100. 調査結果の活用

● マーケティング情報を教室サービスに活かします！

継続した参加を促すために、お客様の手続きはインターネットを用いてできる限り簡略化します。

当団体では既に教室事業におけるITシステムを構築し、スポーツセンターと平沼記念体育館で合わせて、6,500件以上の方が登録されています。登録者情報をマーケティングデータとして分析し、ニーズにマッチしたプログラムを提供します。



● ネット申し込みも安心のサポート体制！

受付にタブレットを常設し、インターネット環境に不慣れなお客様に対して、積極的にお声をかけ、丁寧に説明することで、定期教室やイベント、施設予約など、お申込みについての不安を解消していただきます。

お申込み操作をサポートします

● 利用者還元イベントの実施

当団体は、「三ツ沢公園感謝デー」「平体祭」「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」の3つのイベントを、三ツ沢公園管理事務所及び野外活動センターと連携して、地域貢献事業として行います。

この3つの事業では、子どもから高齢者・障害者の方が楽しみながら、スポーツをはじめ、「学び」や「遊び」の要素を含んだ多様なプログラムを体験していただきます。イベント内では、「食べる」「買う」などの魅力あるコーナーを設置して、気軽に立ち寄れるようにして、普段利用していない方やスポーツをしていない方が、今後の活動のきっかけづくりになるようにしていきます。

はしご消防車
乗車体験

上: 輪投げ・ベタク
下: ダンス発表

施設の効用の最大限発揮

ウ 貸切団体や個人利用者への支援

利用環境の整備

● フロア設営サポート

貸切利用で使う器具は、安全管理のため、職員が器具庫からフロアまで搬出します。設置方法がわからないときや大型器具の移動が困難との申し出があった場合は、職員がサポートします。



ハンドボールゴールの移設支援など

● 必要物品の販売とレンタルの充実

バドミントンのシャトルや卓球ボールなどの各種消耗品の販売や、シューズ、ボール、Tシャツ、パンツ、CDデッキ、ビブス、デジタイマーなどのレンタル用品をさらに拡充します。

初めて利用する方や破損など、お客様の万が一にも備えた環境を整えます。



手ぶらで利用ができます！

● 横浜市市民利用施設予約システムの登録支援

利用者登録や団体登録の方法、申請に必要な書類の用意等、初めてシステムを利用する方や更新でお困りの方には窓口やお電話にて支援します。

一度だけ利用したい方々には、一時利用をご案内します。その利用後にシステム登録を改めてご案内し、継続的な利用に繋がります。



予約システムの登録支援

活動の継続・発展支援

● 掲示板を活用した広報支援

施設内の掲示板にサークル等の情報交換コーナーを設置します。

希望するサークルのメンバー募集や対戦相手募集、試合結果を専用掲示板にて発信します。



サークル掲示板

● 発表会・大会を通じた活性化支援

サークル活動の成果を披露する発表会などの企画運営を支援し、市民が目標を持って活動を継続できる環境を整えます。

サークル活動の活性化、新規参加者の呼び込み、地域コミュニティの交流促進を図ります。



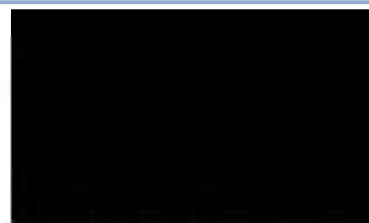
小学生によるダンスの発表

施設の効用の最大限発揮

■ 運営面の支援

● 安全管理サポート

サークル活動を安心して継続できるよう、必要に応じて救命研修のご案内、スポーツ保険の案内・加入支援を行います。



救命講習会の様子

● 指導者のマッチング

指導者を探しているサークルに、当団体に登録している地域人材や**神奈川区・西区・保土ヶ谷区民活動センターが設置する生涯学習のボランティアバンク**を紹介します。

指導者のマッチングにより、サークルの活動の質向上と継続的な運営を支援します。

■ 競技団体や大会運営の支援

ハンドボールやフットサル、区民大会などの主催者と事前打ち合わせを行い、大会運営サポートを行っています。

大会の規模や種類によっては、準備や片づけに時間を要するため、開館時間を早めるなど柔軟に対応し、各大会の円滑な運営を支援します。



競技団体との打合せ

■ 大会等事前打ち合わせ

打ち合わせ内容	用具備品貸出、減免書類、役員入り時間、来場者導線、駐車場案内、その他準備
支援内容	開館・閉館時間の調整、役員駐車場の確保、大会プログラムへの助言、音響設備、大会PR支援、大会結果のホームページ掲載

● Wi-Fi スポットの設置（継続）

平沼記念体育館は、**年 30 回ほどの競技大会会場**となっています。

当団体が運営する類似施設同様、スマートフォンなどで試合結果のウェブ速報などを投稿しやすいように Wi-Fi スポットを設けます。また、当館が災害時の情報伝達拠点機能を果たすために、不特定多数の方に使用されることを想定し、通信の暗号化、注意喚起の対策を万全にします。



Wi-Fi スポット(イメージ)

施設の効用の最大限発揮

エ リピーターを増やすためのアイデア

■ 「また来たい！」を引き出す心理づくり

「接遇マニュアル」「コンシェルジュマニュアル」の徹底により、利用者の居場所（サードプレイス）を作ります。

● 「声かけ」運動の実施

受付や指導時に積極的にお声かけをすることで、利用者との心理的距離を縮め、安心して継続利用していただくように対応します。

● 接遇スキルの標準化

定期的な接遇研修に加え、利用者からの「お褒めの言葉」をスタッフにフィードバックする表彰制度を導入し、スタッフの意欲を向上させる取組を実施します。

■ 「五感で感じる」清潔・快適な空間づくり

視覚的な清掃に加え、嗅覚・空気質に着目した対策を講じます。

● 「対話型清掃」の実施

単純に掃除をするだけでなく、利用者への声かけを伴う「対話型清掃」を実施します。

これにより、お客様のご意見やご要望などをお聞きすることもでき、また、利用者の衛生意識を高めてもらうことにもつなげます。

なお、トイレや更衣室などは、ご利用中の方に十分に配慮して行います。

● 「無菌・無臭」を目指す空気質管理 新規

トイレや更衣室には空気清浄機・消臭芳香器を設置します。その他、人口密度が高くなりやすい区域にはCO2濃度測定器を設置します。科学的根拠に基づいた換気を徹底し、常に清潔で安心な空気環境を維持します。



■ 継続を後押しする経済的インセンティブ

ポイント還元により、利用者の心理的・経済的ハードルを下げ日常的な利用習慣を定着させます。

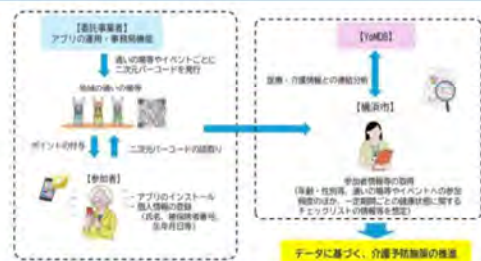
● よこはまシニア社会参加ポイントアプリ導入 新規

よこはまシニア社会参加ポイントアプリの「通いの場」として登録を行います。継続的な社会参加を促進し、介護予防に貢献します。



よこはまシニア社会参加ポイントアプリとは

よこはまポジティブエイジング計画の取組事項の一環で、「高齢者の社会参加」と「健康管理の推進」を目的とする高齢者社会参加ポイント事業です。社会参加に対してインセンティブを付与することで、介護予防に繋げる取組で、平沼記念体育館の利用者層や事業を踏まえると非常に親和性の高い横浜市の取組です。



施設の効用の最大限発揮

● 変化の可視化による動機付け – 体力測定を開催 **新規**

運動効果を実感してもらうために、体力測定会を開催します。当団体は、「握力選手権」の開催などゲーム感覚で楽しめる工夫を施してきました。

近隣商業施設に景品を提供していただき、相互送客にも取り組みます。

平沼記念体育館で実施する主な測定	
フレイル予防測定会	株式会社マクニカが提供するフレイル測定サービス「MAQUP」を活用した測定会です。身体的フレイルを5m歩行・イス立上り・握力・開眼片足立ちの4種目で測定。加えて、科学的根拠に基づく6つの設問を実施してフレイルのリスク度を可視化します。
姿勢測定会	筑波大学が開発したAI姿勢測定ツール「Sportip」を活用した姿勢測定会です。専用のタブレット端末で写真を撮るだけで、姿勢の状況を知ることができます。個別に応じた改善プログラムも知ることができます。
血管年齢・野菜摂取度	福祉保健センター健康づくり係が貸出を行っている、「血管年齢計」、「野菜摂取度計」、「足趾力計」を借用して各種測定を実施します。

■ 通いやすさを追求したサービス

「いつでも、思い立った時に」利用できる環境を構築し継続使用を促進します。

● 「手ぶら」を支えるレンタル機能

ウェア、シューズ、ボール、ストレッチポール、ストレッチマット、コピーサービスなどのレンタルサービスを充実させます。

● イベント開催や展望室からの景色情報などの発信

ホームページや SNS で、イベント開催や展望室から「富士山がきれいに見える」などの状況を配信することで、来館をしやすくします。

施設の効用の最大限発揮

2. 広報・利用促進活動

当団体は、地域のスポーツ実施率向上を目指し、「認知→来館→利用→継続」につながる仕組みづくりを進めます。まずは施設を“知ってもらう”ことを重視し、効果的な情報発信で平沼記念体育館の認知度を高めます。

その上で、健康づくりや交流、リフレッシュなど多様な来館動機に応える教室・イベントを展開し、誰もが気軽に訪れやすいよう敷居を下げる取組を実施します。利用を通じて楽しさや成果を実感できる循環型の運営を目指します。

ア PR 活動の提案（利用案内、HP、広報誌等）

■ 効果的な PR 活動を実現する計画

平沼記念体育館では、利用者（顕在層）と見込み客（潜在層）の特性や年齢層、関心に合わせて広報媒体を使い分けます。

また、チラシやホームページ、SNSなどを効果的に活用し、情報を適切なタイミングで発信することで、施設の魅力を広く伝え、認知拡大と来館促進につなげます。

■ 広報で使用する主な媒体とその特徴(PESO 分類)

区分	媒体	対象層	主な年齢層	主な目的
Owned (自社媒体)	HP	顕在中心	全年齢	情報提供・予約導線・信頼形成
	館内掲示版	顕在	全年齢	案内・再来館促進
	メール配信	顕在	30～60代	継続的な関係維持・募集案内
Shared (共有・SNS)	Instagram	潜在＋顕在	20～40代	認知拡大・共感形成 ・フォロワー関係維持
	X	潜在＋顕在	10～40代	タイムリー情報発信・話題化
Earned (報道・第三者)	ハマスポ	潜在	20～50代	信頼獲得・事業認知
	タウンニュース	潜在	50～80代	地域信頼性・活動実績訴求
	広報よこはま	潜在	50～80代	行政連携・公共性訴求
	ローカルラジオ	潜在	50～70代	地域告知・信頼醸成
	ケーブルテレビ	潜在	50～70代	視覚訴求・地域密着PR
Paid (広告)	チラシ	潜在＋顕在	30～70代	イベント・教室募集告知
	パマトコ イベント情報サイト	潜在	20～40代	ファミリー層認知・来館誘導
	ここスポ	潜在	20～50代	スポーツ関心層への露出

- 若年層には、SNS・イベントサイトの情報発信を強化
自治体として全国初の子育て応援アプリ『パマトコ』へ情報掲載！
- 中年層へは、HP・メール・チラシでの情報発信を強化
- 高齢層へは、広報よこはま・地域情報誌(タウンニュース等)・館内掲示版



子育て世代の利用促進

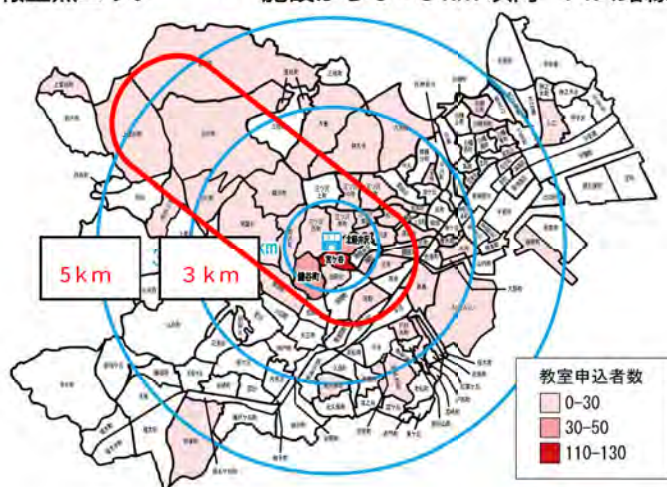
施設の効用の最大限発揮

■広報年間計画

媒体名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
HP	教室募集 施設情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
SNS		→											
ダイレクトメール			●			●			●			●	
広報よこはま区版		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地域情報誌			●			●			●			●	
区内小学校・幼稚園等		●			●			●			●		
市PRボックス	イベント情報 施設情報	→											
区内公共施設		→											
ローカルTV		→											

- ・施設のホームページは、日々最新の情報へ更新
- ・4期制教室の申込のタイミングに合わせて学校や地域情報誌へチラシ配布
- ・他の公共施設等へは、随時イベントチラシなどを配架
- ・自治会が所有する回覧板や掲示板へイベントチラシの配布を依頼

■広報重点エリア - 施設から3～5 km 以内 バス路線エリア -



スマホの位置情報を活用した折込チラシ

- ・定期教室やワンデーレッスンへは、商圏 3km 以内とバス路線エリアを中心に広報します。
- ・スポット利用者(三ツ沢公園感謝デー・平体祭など)は、商圏 5km まで幅広く広報します。

■ウェブアクセシビリティ対応のホームページ

施設サービスの見える化により来館のハードルを下げ、運動実施率向上を目指します。誰もが理解しやすい画面構成のホームページを継続運用し、横浜市アクセシビリティ方針に沿った高齢者・障害者対応デザインやスマートフォン最適化で利便性を向上させます。また、総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」に基づく職員研修を実施し、アクセシビリティ向上に努めます。



マルチデバイス対応



360度ビュー導入により
館内視覚化



みんなの公共サイト
運用ガイドライン

施設の効用の最大限発揮

施設への親近感をつくる情報の発信

「平沼記念体育館へ行きたい！」と思っていただくためには、魅力的なプログラムやコンテンツの用意に加えて、**親近感**を感じてもらうことも大切です。研修の様子や職員の日常など、事業以外の発信を SNS や HP を通じて積極的に取り組んでいきます。

親近感を醸成するSNSでの発信例

施設での取り組み	スポーツ大会の結果	イベント報告
施設研修の様子	休日の清掃作業	工事の様子

情報コーナーの設置 - 市・近郊区のスポーツ情報の集約

平沼記念体育館の情報だけではなく、市・近郊区のスポーツイベントなどのチラシをまとめたインフォメーションコーナーを引き続き設置します。

ラックには、子ども会や老人クラブ連合会、国際交流ラウンジの情報も掲載し、**近隣区の公共施設の利用も促進**します。



見やすく工夫したチラシラック

75 加盟団体の組織力を活かします！

当団体には市内 **75 の競技スポーツ・地域スポーツ団体等が加盟**しており、その強固な情報ネットワークがあります。

毎年度「加盟団体代表者会議」を開催しており、イベントや大会企画時に、運営経験ノウハウや会場となる場所の情報、指導者紹介など、幅広い種目において**情報提供や調整を依頼**することができます。

また、当団体が運営する横浜市スポーツ情報サイト「ハマスポ」においても、スポーツ施設の情報だけでなく、市内各競技団体や地域スポーツ団体の情報を随時発信しています。

平沼記念体育館においても、このネットワークを存分に活用して事業を展開します。



加盟団体代表者会議



施設の効用の最大限発揮

イ 最新の情報提供ができる仕組み

■ ホームページと SNS の自動連携

施設のホームページと SNS の自動連携により、職員の作業負担を最小限に抑えつつ、情報の拡散スピードを最大化します。ホームページに投稿した最新情報（教室の空き、イベント、休館案内等）が、SNS へ自動で配信されることで入力の手間を省き、各媒体の情報鮮度を統一します。

■ 館内デジタルサイネージによる「視覚的・直感的」な情報提供 新規

ホームページや SNS を見ない来館者層（高齢者や子ども）に対し、館内で最も目につく「動的な掲示板」として運用します。

専用システムを使わず、職員が作成した最新の「週間予定表」や「イベント告知」の画像・動画データを USB メモリ等で投影します。作成・更新のルールを簡略化し、常に直近の情報を掲示します。



設置するデジタルサイネージには、**広告枠を設定して、収入を増加** 教室の様子を動画で動的に PR 上げます。

■ ニーズに応じた情報提供(個別化)

独自の会員管理システムを用いて、ターゲットに応じた効果的な情報発信をします。情報が溢れる社会において、情報をマッチングをさせることも発信者としての大きな役割です。

具体的には、個人情報の活用の承諾を得た方を対象に、過去の利用履歴や属性に応じたダイレクトメールの送付を実施します。

■ タイムリーな空き情報の発信

館内掲示、ホームページ、スマートフォンサイトで、随時各諸室の空き情報を提供し、利用を促進します。他のスポーツ施設の空き情報（市民利用施設予約システム登録施設）についても、適宜ご案内し、運動機会のロスを防ぎます。



SNS で空き情報を随時発信

施設の効用の最大限発揮

ウ 新しい利用者を発掘するためのアイデア

■ 生活お役立ち講座の開催 新規

新たな利用者の獲得に向けて、資産形成や生命保険、住宅メンテナンス、スマホ活用、終活など、運動以外の生活に役立つ講座を開催します。心身だけでなく、暮らし・経済・人生設計など多面的な健康づくりを支援し、市民のウェルビーイング向上に貢献します。

資産運用・相続等の講座を開催

■ 企業との連携プログラム 新規

平沼記念体育館が健康やスポーツ無関心層の行動変容を促すきっかけになれるよう、多様な企業との連携による新しいサービスを提供しスポーツ実施率の向上に貢献します。

● 「株式会社マクニカ」との連携 – データを活用したフレイル予防

タネ・まく・ MACNICA

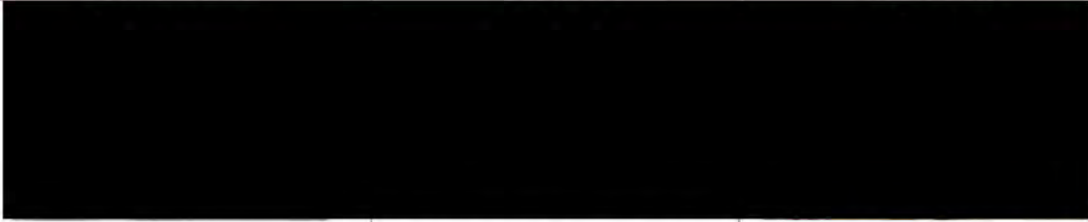
当団体は、デジタル領域に強みを持つ株式会社マクニカと「市民の健康に関する包括連携協定」を締結しています。主な連携実績は、同社と九州大学熊谷名誉教授と共同開発したフレイル測定プログラム「MAQUP」を導入し、延べ 2,000 人以上の市民に提供してまいりました。本プログラムの核心は、運動の必要性を「自分事化」させる仕組みです。測定直後に指導者による解説講座と、個々の状態に合わせた運動体験をセットで提供することで、無関心層の行動変容を促進します。



● 総合フィットネスクラブ運営「野村不動産ライフ&スポーツ株式会社」との連携

野村不動産ライフ&スポーツは横浜市と「子ども・子育て世代をはじめとした市民のスポーツ振興及び高齢者の健康増進に関する協定」を締結し、市民の健康増進を推進しています。同社は学童運営等の教育ノウハウと、成人向け最先端フィットネスプログラムの提供、豊富な指定管理実績を併せ持っています。これら強みを活かし、**最新プログラムの導入を推進**し、子育て・働く世代の利用を促進します。

施設の効用の最大限発揮

豊富な子ども向けコンテンツ		
ミライク	ミライ克蘭	ベビーミライク
		
幼児・児童期に必要な「走る・跳ぶ・投げる・支える」などの基本動作を、遊びの要素を取り入れながら総合的に育む体育スクールです。運動能力だけでなく、挑戦する力や協調性も養います。	走る動作に特化し、正しいフォームやリズム、持久力、瞬発力を楽しみながら身につけるプログラムです。かけっこへの苦手意識を軽減し、走ることへの意欲向上を図ります。	乳幼児と保護者が一緒に参加し、親子のふれあいを通じて身体を動かす楽しさを体験するプログラムです。発育段階に応じた運動遊びにより、基礎的な身体感覚や親子のコミュニケーションを育みます。
キッズアスリート	キッズダンス	ミライク AID
		
より高い運動能力の向上を目指す子どもを対象に、スピード、敏捷性、バランス、体幹などを総合的に鍛えるプログラムです。各種スポーツに活かせる身体能力の土台づくりを行います。	音楽に合わせて身体を動かし、リズム感、柔軟性、表現力を育むダンスプログラムです。楽しみながら運動量を確保でき、自己表現や仲間との一体感を育てる機会にもなります。	運動に苦手意識のある子どもや、集団参加に不安のある子どもにも配慮し、個々の状況に合わせて運動を支援するプログラムです。成功体験を積み重ねることで、自信と運動意欲の向上につなげます。

■ 各種体験会の開催！

事前受付のコース教室を中心に、随時体験会を実施します。

人は継続できる自信がないと参加に踏み出しづらい心理があるため、体験会で心理的ハードルを下げ、新規利用者獲得につなげます。

教室体験会
チケット
1回 00円

■ キャンペーンタイアップ企画

● 平沼記念体育館の開館60周年キャンペーンの開催

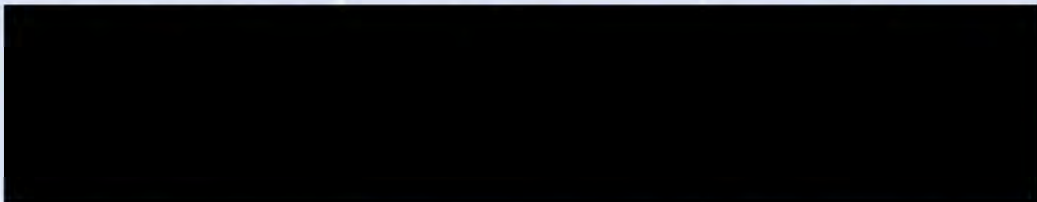
平沼記念体育館は、2030年に開館60周年を迎えます。その際は、展望室の個人利用のお客を対象に、開館60周年記念キャンペーンを実施します。展望室に来訪した方にポイントカードを配布し、1回登るごとにポイント付与をして、ポイントに応じて企業様に協賛いただいた景品をプレゼントするサービスを行います。

平沼記念体育館 60周年
記念ポイントカード
展望室に登ろうキャンペーン！
景品プレゼント

施設の効用の最大限発揮

■ ニュースポーツによる「スポーツの入り口」拡大

「激しい運動は苦手だが、交流や楽しみを求める層」をターゲットに、競技性の低さとレクリエーション性の高さを活かしたニュースポーツが体験できる機会を創出します。町内自治会の催事などでの活用を促すことで**地域コミュニティの醸成にも寄与**します。

ニュースポーツ		
モルック	ピックルボール	アルティメット
		
木製の棒を投げ、倒れたピンの数や数字で得点を競う。年齢問わず楽しめ、戦略性と適度な運動が魅力。	テニスより小さなコートで行うため運動強度が程よく、初心者でもすぐにラリーの楽しさを実感できる。	チームスポーツながらディスクの柔らかい浮遊感により、運動が苦手な方でもパスを繋ぐ喜びを味わえる。
スポーツ鬼ごっこ	ドッチビー	バグゴ
		
馴染みの鬼ごっこに戦術性をプラス。走力も守備力も活かせる、誰もが役割で輝ける新スポーツ。	当たっても痛くないソフトディスクを使用。安全性が高く、老若男女が安心して白熱できる。	穴を狙って豆袋を投げる、シンプルな競技。場所を選ばず設置でき、短時間で交流を促すことができる。

■ 次世代型体感 e スポーツ「TANO」による多世代交流の創出

非接触型モーショントレーニングシステム「TANO」を導入します。

最大の特徴は、コントローラーを持たず「身体そのものがコントローラーになる」直感操作です。これにより、デジタル機器に抵抗がある高齢者や未就学児、さらには車椅子利用者も同一ルールで楽しめる「真のバリアフリー・スポーツ」を提供します。

単なるゲーム導入に留まらず、フレイル予防や認知機能向上を目的とした「健康 e スポーツ教室」を定期開催することで、これまで施設に足が向かなかったシニア層や、運動を敬遠している若年層を新規顧客として呼び込みます。



TANO の特徴

- 180 種類以上の豊富なコンテンツ
- 理学療法専門家による監修プログラム
- コントローラー不要で直感的な操作
- 認知症など介護予防にも効果的
- 若年層の利用拡大に期待ができる

施設の効用の最大限発揮

3. 記念塔の活用

ア 平沼亮三氏の意志と願いを引き継ぐ

当団体は、明治から昭和時代にかけて、スポーツ界、政財界を通して横浜の地と日本を「誰もが体育（スポーツ）のできる社会を築こう」と死力を尽くした**平沼亮三氏の意志と願いを引き継ぎます**。

具体的には、平沼氏の意志である「すべての市民が、自分のスポーツを実践できる」ように、教室・イベント事業を展開します。また、平沼氏から学ぶ人間力である「目標を成就するためにひたむき努力することを貫く精神力」「自らスポーツを継続することによる健康づくりへの実践力」を、子どもたちを中心に伝えていきます。



常にスポーツを実践した平沼氏

イ 記念塔の活用計画

■ 記念塔に気軽に見学できる工夫 **新規**

現在の記念塔は、**死角が多く、人通りが少ないため、防犯上の問題を抱えています**。そのため、通常は記念塔への出入口は、受付に一声をかけてから入場していただいています。

今後は、気軽に展示室や展望室に入退場をしていただくため、**出入口に監視カメラを増設して、扉を昼間の時間帯は開けたままにします**。

また、**気軽な入場を促すため、出入口付近に大きな目立つ看板を作成して、もっと多くの方に訪れていただけるように改善します**。来場者人数の把握には、新たに**出入口に人数カウンターチェック機を取り付けます**。

【記念塔の出入口の赤四角部分に看板等の装飾】

記念塔の出入口に
防犯カメラを設置

入場無料

ご自由にご覧ください。

- 「スポーツの父」平沼亮三氏 展示室
- 眺め最高！横浜を見渡せる展望室



■ 平沼亮三氏のレガシーの伝承

当団体は、平沼亮三氏の功績や生き方、教え、スポーツの継続実施の大切さやスポーツ振興に関する考え方などを伝承することが重要と理解しています。

そこで、**多くの市民に気軽に展示室に立ち寄っていただく工夫や、スポーツセンターなどでの出張展示、刊行物や情報誌への掲載などの活動を行います**。



平沼亮三氏の展示室

施設の効用の最大限発揮

● 階段の昇り降りができない方へ配慮したロビーでの展示

記念塔は、建物の構造上、エレベーターがなく、展示室や展望室の移動は、階段のみになっており、車椅子の方や体力がない方は、昇り降りができない状況になっています。

そこで、ロビー内で一部の展示物を披露するとともに、飽きないように展示品の入れ替えを工夫して行っています。



ロビーの一角で記念品や写真の展示

● 刊行物・情報誌・SNS などの掲載による伝承

「広報よこはま」や「タウンニュース」などの刊行物や情報誌などを活用して、平沼亮三氏の功績や展示品を紹介します。

【事業事例】

- タウンニュースなどの情報紙に平沼亮三氏の「人物紹介」などの記事の掲載
- 神奈川区・西区の広報よこはまに、コラボ記事の掲載

● ホームページや SNS での平沼亮三氏と展示品の紹介

平沼記念体育館ホームページにて、平沼亮三氏の功績を紹介するページを設けるほか、一部展示品の紹介等を行い、多くの市民の方々からの興味を得るようにします。



平沼記念体育館ホームページ「平沼亮三記念展示室」より

● 施設内で平沼亮三氏のコラム等の紹介

体育室やスタジオをご利用されるお客様に対して、平沼亮三氏のことを簡単に学ぶことができるように、ロビーでの展示場所や掲示板等の壁面において、同氏に係るコラムや一口メモなどを貼付します。



平沼氏のコラムの掲示等

施設の効用の最大限発揮

● 学校との連携 **新規** → 平沼亮三氏のレガシーの伝承

平沼亮三氏の功績や生き方、教え、スポーツの継続実施の大切さやスポーツ振興に関する考えを教材で活用していただくために、近辺の小学校に働きかけています。

小学校の承諾が得られましたら、過去の写真等を入れたパワーポイントでの講義や、「スポーツの重要性」「目標を達成するためのひたむきな努力の大切さ」「自らの健康づくり」について、話し合ってもらい、これからの生きる活力にさせていただきます。

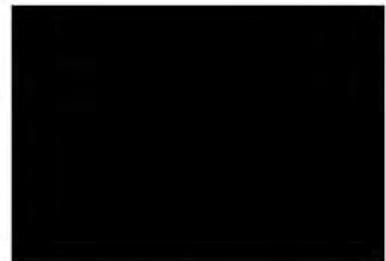


年長いても、日夜、スポーツを実践した平沼亮三氏（縄跳び・鉄棒・短距離）

● 小中学校の教育活用に積極依頼

近隣の小学校や中学校に向けて、社会科や体育などの授業として平沼亮三氏の研究を薦め、多くの児童生徒の来館を促していきます。

併せて、美術等の授業の一環で展望室などをスケッチの場所として提供するなどのご案内をしていきます。



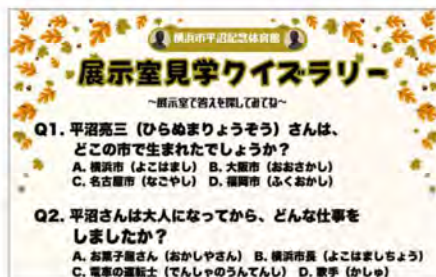
小中学校の教育活用に積極依頼

● イベントの開催

地域貢献イベントの「平体祭」「三ツ沢公園感謝デー」「スポーツレクリエーションフェスティバル」などで、平沼氏のレガシー伝承の事業を実施します。

【実績紹介】スポーツレクリエーションフェスティバル（令和7年11月3日）

この体育館の生みの親、平沼亮三氏に関する見学クイズラリーを実施しました。当日訪れた親子などに、平沼記念体育館の展示室内に答えがあるクイズ（5問）に挑戦していただきました。



平沼氏に関するクイズ例



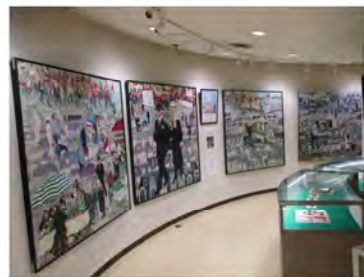
親子でクイズラリーに挑戦



施設の効用の最大限発揮

● 市民ギャラリーとしての活用

平沼氏の展示室の1区画を利用して、市民の方々の写真や絵画などを展示できる市民ギャラリーとして運営します。



市民ギャラリーとしても活用

■ 地域の憩いと交流の場として展望室の利用

新規

展望室は、富士山やみなとみらい地区の高層ビル群、東京スカイツリーなども眺望できる素晴らしい場所です。

第5期からは、安全管理上課題がある監視体制を、**入場者の顔がわかる防犯カメラを増設することにより、自由に入退場できる体制に変更します。**(自由開放時間の制限あり)

このことを地域へ広報PRすることにより、展望室に気軽に訪れてもらうことで、「人々が交流し合う憩いの場所」なるように運営していきます。

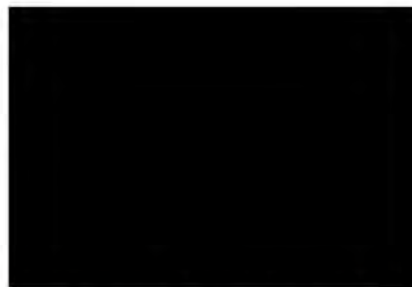


展望室から見た富士山(望遠レンズ使用)

● 地域の憩いの場としての活用

展望室から景色を見ていただいた方々からは、富士山、横浜みなとみらい、三ツ沢球技場、東京スカイツリーを眺めて、「富士山の雪景色で心が和んだ」「パノラマの景色に感動した」などの評価をいただいています。

展望室として高いポテンシャルを持っていますので、地域の方々の散歩コースや憩いの場所として活用していただきます。



展望室から富士山を見る来場者

【事業事例】

■ 三ツ沢公園散歩コースに展望室を追加

三ツ沢公園管理事務所と連携して、展望室を入れた散歩コースをPRしていきます。

■ 三ツ沢公園を散歩している団体・サークルに呼びかけ

三ツ沢公園を散歩している団体・サークルに声をかけて、展望室の通常来訪を促します。

● イベントの開催

地域貢献イベントの「平体祭」「三ツ沢公園感謝デー」「スポーツレクリエーションフェスティバル」などで、展望室を活用した事業を実施します。

【事業事例】

新規

■ 展望室から写真を撮ろう! ■ 展望室から絵を描こう! ■ 東京スカイツリーを探してみよう!

施設の効用の最大限発揮

【実績紹介】眺め最高！平沼記念体育館の展望室に行こう！（令和7年11月2日）

来場者が、みなとみらい、三ツ沢公園球技場などの景観や、遠くに見える東京スカイツリーを探してみるイベントを行いました。

地域情報誌を活用した広報では、三ツ沢公園を散策した後に、平沼記念体育館の展望室に行って、高いところから見どころがある景色を堪能しようと読者に呼びかけを行いました。

地域情報誌を活用した広告記事(令和7年10月)



展望室から景色を見る学生



横浜みなとみらい



遠くに見える東京スカイツリー
(写真はイメージ)



三ツ沢公園球技場

施設の効用最大限発揮

4. スポーツ教室等の計画

スポーツ教室の実施は、市民の運動習慣を形成する非常に重要な事業であると考えます。公益スポーツ団体の強みである多種目・多世代への豊富なプログラムに加えて、第5期では企業連携を推進してより魅力的な教室事業を展開します。また、プログラム構成に当たっては、地域特性や施設特性を十分に考慮して、当施設に適したプログラムを提供します。

ア 地域・施設特性を踏まえた教室設計

■ 平沼記念体育館周辺区の人口特性

当施設の教室参加者は半径 3km 圏内から約 8 割の方が来館されています。その半径 3km の商圏人口の特性は、15 歳未満が約 10%、15～64 歳までが約 70%、65 歳以上が約 20%の割合になっています。特徴としては、横浜市の中では、高齢化率が低いエリアとなっています。

そこで、働き世代や高齢者向けの健康教室や、夕方に行うジュニアのスポーツ種目の教室を中心に教室を設定していきます。また、1 回ずつ受付で行うワンデーレッスンを実施して、気軽に参加できるようにしていきます。



定期教室やワンデーレッスンへは、商圏 3km 以内とバス路線エリア  を中心に広報します。

■ スポーツ推進計画、健康福祉関連計画への寄与

● 横浜市スポーツ推進計画 目標達成への貢献

第3期横浜市スポーツ推進計画で示されたスポーツの定義「遊び」、「気晴らし」、「楽しむ」を念頭に、スポーツがより身近に感じられる取り組みを計画しています。DX による利便性向上やインクルーシブな教室を展開し、誰もが楽しめる環境を構築します。

なお、次期(第4期)横浜市スポーツ推進計画は現在横浜市において構想が練られているところですが、第4期の同計画が公表され次第、各事業に反映させることとします。



「第3期横浜市スポーツ推進計画」
計画期間:R4 年度～R8 年度

第3期横浜市スポーツ推進計画

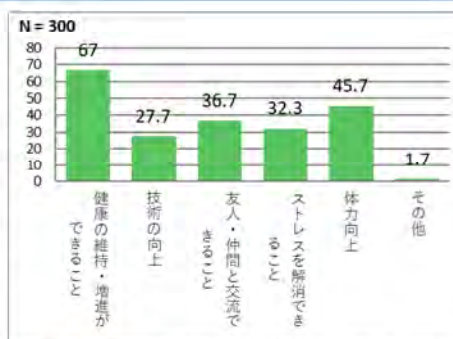
3つの目標	教室事業での取り組み事例	
スポーツを通じた健康増進	機会の充実	35種類以上のプログラム展開
	専門性の確保	民間フィットネスクラブのサービス提供 スポーツ医科学センターと連携
スポーツを通じた共生社会の実現	多世代交流	既存教室の対象年齢を拡大
	多様性促進	インクルーシブスポーツ、リハビリ教室の実施
スポーツによる賑わいづくり	プロチームと連携	トップチームと連携した種目教室の充実
	新たなスポーツ体験	ピククルボールなどニュースポーツの体験拡充

施設の効用最大限発揮

参加者の目的に沿ったプログラム

平沼記念体育館のスポーツ教室は、毎年延べ約 5,000 人以上の方が参加されています。令和 6 年度に実施した調査では、運動の実施理由は「健康の維持・増進」が最も多く、次いで「体力向上」、「仲間との交流」となっています。

教室内容は、お客様の目的に沿うよう指導計画に反映させるとともに、ご参加の目的を達成することにより、満足度の高い教室プログラムを実現していきます。



「運動をする際に何を重視するか」(令和 6 年度当団体調査)

● 幼児・小学生年代が好きになるキッズプログラム 新規

当団体がスポーツセンターで実施する子ども向けのスポーツ教室は、「からだを動かすって楽しい」から始まります。からだを動かす遊びを通して、幼児期に多様な動きを身に付けるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しむための土台を作っていきます。

また、野村不動産ライフ&スポーツやリズムトレーニング協会の協力のもと、最新のスポーツ科学に基づいて、子どもの運動能力や非認知能力を伸ばしていきます。



楽しく体が動くリズムジャンプトレーニング

● 中学生・高校生年代の部活動支援 新規

中高生の選手たちのスポーツパフォーマンスの向上、怪我の予防及びリハビリテーションに生かすため、「バスケットボールでの前十字靭帯損傷」「野球肘などの投球障害」「サッカーのオスグッド病」の障害発生の抑制に向けた動作習得などの実践に即した講座を行います。

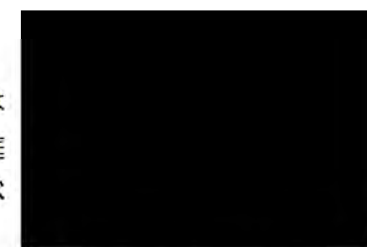
※横浜市スポーツ医科学センターとの連携事業



(例)バスケットボールでの
前十字靭帯損傷予防の講座

● 働き世代・子育て世代向け 新規

30代～40代特に働き世代の運動を妨げる要因は、1 位仕事、2 位子育てです。それぞれの課題を解決するべく、前者の課題には夜間フィットネスを拡充し、後者の課題には、神奈川区子ども家庭支援課などと相談しながら、託児付き教室や土・日を利用したイベントを開催することで、運動機会を提供します。



親子で参加できるベビーヨガ教室

● 高齢向けに健康寿命を延伸するプログラム 新規

株式会社マクニカのフレイル測定プログラム「MAQUP」を活用し、個に応じた健康支援を強化します。新規利用者には、体力測定結果に基づき最適な教室を提案する「マッチング支援」を行います。既存利用者に対しては、年 4 回、定期的な測定とフレイルチェックを実施。季節ごとの体調変化を可視化した「フィードバックシート」を用いた個別指導を行い、磯子区民の健康寿命延伸に貢献します。



早期改善で健康寿命延伸

施設の効用最大限発揮

■ 平沼記念体育館の施設特性等を生かしたスポーツ振興プログラム 新規

市内最大級の広い体育室を持つ平沼記念体育館では、「ハンドボール」「フットサル」の公式競技が盛んに開催されています。この特徴を生かして、同種目の**競技人口のすそ野をさらに広げる取り組みとして、ジュニアや親子を対象にした教室やリーグ戦などの事業を実施**します。

また、**高齢者の健康増進に繋がる**として注目を浴びている腹式呼吸を取り入れた「**スポーツ吹き矢**」を実施し、普及振興の新たな拠点となるように、定期教室やイベントを企画します。



ジュニアハンドボール教室の実施

ジュニア・親子フットサル教室の実施

スポーツ吹き矢教室の実施

■ スポーツに「プラス」した生活お役立ち講座 新規

スポーツに縁遠かった方にスポーツに触れあっていただきたいため、それぞれの年代のライフステージ上の悩み、不安解消を支援する事業「**プラスワン**」の事業を実施します。

【シニア世代の幸福度向上事業(事業例)】

- 運動・スポーツに疎遠だった人たちのきっかけづくりになるように、**生活に役立つ講座（資産運用・社会保障制度・相続等）と、日常で実践していただきたい運動・筋力トレーニング等をセットにした事業**を実施します。



税制・資産運用・相続等の講座



日常に必要なトレーニングの紹介

イ 平沼記念体育館の教室計画

■ 38 の多種多様な教室事業の形態

親子・幼児・ジュニアから働き世代・シニアまで多世代のお客様に、**スポーツ・学び・文化（遊びを含む）教室**プログラムを、目的や生活様式に応じて参加ができるように、次の形態で構成します。

■ 通年制教室の導入による運動の習慣化促進！

3か月1期の4期制を基本としつつ、運動習慣の定着をより確実にするため、一部プログラムでは通年制を導入します。短期と長期の両軸をそろえることで、目的や生活リズムに合わせて選べる柔軟な教室体系を構築し、継続しやすい環境を提供します。

施設の効用最大限発揮

定期教室	参加者を事前に募集し、一定期間継続的に行うことで、基礎技術や知識を段階的に習得するとともに、共にスポーツに親しむ仲間づくりを促進します。
ワンデーレッスン	色々な教室に参加したいお客様、都合に合わせて参加したいお客様のために、事前の申し込みなく参加できることで、運動の機会を確保します。
短期教室等	参加者を事前に募集し、夏休み・冬休み期間を利用した教室事業を実施することで、こどもの居場所づくりやスポーツ・文化活動の生活化・日常化を促します。

■ 定期教室（参加者を事前に募集し、一定期間継続的に行う教室）

子ども対象教室

大人対象教室

	教室名	定員	実施時間	教室内容の説明
1	ジュニアフットサル(低学年)	30 人	50分	基本の技術やルール、仲間の大切さを学びます。
2	ジュニアフットサル(高学年)	30 人	50分	
3	親子ヨガ 新規	10 組	50分	親子のスキンシップを図りながらリラックスしたヨガを行います
4	「走る・跳ぶ・投げる」を楽しむ 新規	12 人	50分	幼児・児童を対象にした「走る・跳ぶ・投げる・支える」などの基本動作を習得します。
5	チアダンス教室(初級) 新規	12 人	50分	幼児や小学生低学年を対象に横浜プロチームの特別講師がレッスンをを行います。
6	チアダンス教室(中級) 新規	12 人	50分	小学生高学年を対象に横浜プロチームの特別講師がレッスンをを行います。
7	バドミントン (初心者向け・初級者向け)	33 人	110分	ショット練習・ゲームを楽しみます。
8	スポーツ吹き矢 新規 (初心者向け・初級者向け)	30 人	50分	基本・応用技術を習得し、体力向上を図ります。
9	スポーツ吹き矢 新規 (初級・中級者以上)	30 人	50分	基本・応用技術を習得し、ステップアップを目指す方を対象とした内容です。
10	はつらつ健康づくり	70 人	50分	健康維持と体力増進のために、有酸素運動と各種体操・ストレッチを行います。
11	月曜はじめてのピラティス	14 人	50分	インナーマッスルを鍛え、バランスの良い身体を作り正しい姿勢を身につけます。
12	月曜ステップアップピラティス	14 人	50分	初級に比べて少し強度をあげた動きを行います。無理のない範囲でできます。
13	はじめてのヨガ	14 人	50分	呼吸法とポーズを習得し、日頃のストレスを解消、リフレッシュを図ります。
14	ステップアップヨガ	14 人	50分	基本技術を習得し、心身のリラックスと健康増進を図ります。
15	水曜はじめてのピラティス	14 人	50分	骨盤、背骨の位置を整え、体幹部を強化する運動をします。はじめての方でも安心して参加できます。
16	水曜ステップアップピラティス	14 人	50分	ピラティスに少し慣れてきた方のステップアッププログラムです。
17	ロコモトレニング	14 人	50分	ロコモティブシンドロームの予防を目的に運動機能の改善を目指します。運動が苦手な方でもできます。

施設の効用最大限発揮

18	ロコモトレニング2	新規	14 人	50分	ロコモティブシンドロームの予防を目的に運動機能の改善を目指します。
19	ハワイアンキルト	新規	12 人	90分	ハワイの伝統的なモチーフを使用し、裁縫が苦手な方でも気軽に作品を作ることに挑戦します。

■ ワンデーレッスン（事前の申し込みなく当日受付をする教室）

20	トータルフィットネス		40 人	50 分	有酸素運動とヨガ・ピラティス、リズム体操などで、体全体メンテナンスをします。
21	ヨガ・ピラティス（初心者）	新規	14 人	50 分	初心者を対象にしたヨガ・ピラティスをセットで楽しめします。
22	健康マージャン	新規	12 人	90 分	頭を使って脳の活性化を促す健康マージャンを実施します。

■ 短期教室等（季節に応じて適宜実施する教室 23・31～36 はスタジオ、24～30 は体育室）

23	書初め教室	新規	12 人	120分	小学生や親子を対象に、年末に来年に向けた抱負を書初めで書きます。
24	親子で楽しむスポーツ教室 （ドッジボール、ピククルボール）	新規	50 人	180分	小学生と保護者を対象とした誰でも楽しく参加できる練習・ゲームを行います。親子の遊び場づくりを目指し関連団体と連携して行います。
25	ジュニアハンドボール夏休み教室		100 人	240分	新規 学校の休み期間に小学生から高校生を対象に体力の向上及び種目の普及・振興を目的とした練習交流会を行います。市内全域を対象とし関連団体と連携して実施します。
26	ジュニアハンドボール冬休み教室		100 人	240分	
27	ジュニアハンドボール春休み教室		100 人	240分	
28	ジュニアフットサル夏休み教室		100 人	240分	
29	ジュニアフットサル冬休み教室		100 人	240分	
30	ジュニアフットサル春休み教室		100 人	240分	
31	部活動での傷害予防講座	新規	20 人	90分	前十字靭帯損傷・オスグッド病などのスポーツ傷害を予防する講座を実施します。
32	ちょうどいいボッチャ教室	新規	50 人	180分	インクルーシブスポーツの推進の取組みとしてだれでも参加できる練習会とゲームを関連団体と連携し実施します。
33	スポーツ + 生活に役立つ情報講座	新規	12 人	120分	資産運用・社会保障制度・相続など生活に役立つ講座と日常で必要な運動を実施します。
34	フレイユ測定会	新規	20 人	60分	加齢によって心身が衰えた状態を測定して、今後の生活についてアドバイスを行います。
35	写真教室（初級・中級）	新規	20 人	120分	写真や動画撮影・編集・配信方法等をやさしく学べる講座です。
36	ザ・お茶会	新規	20 人	60分	高齢者の交流の場としたお茶会を、レクゲームを入れながら実施します。

■ 自主事業教室

● 時間外教室

37	ヨガ・ピラティス（初心者）	新規	12 人	50 分	初心者を対象にしたヨガ・ピラティスをセットで楽しめします。
38	横浜フットサルリーグ		50 人	180 分	事前のチームごとの参加者でゲームを楽しみます。

施設の効用最大限発揮

週間スケジュール ※上記の教室計画の番号と表中の数字がリンクしています。

【スポーツ教室等事業 週間スケジュール表】

[illegible]

● 一般の団体利用に配慮した教室スケジュール

体育室の市内最大級の広さを活用した団体利用や約 90%の高い稼働率を考慮して、業務の基準に則り、一般利用を妨げることがないようにスケジューリングをしています。

●短期教室等の開催スケジュール

短期教室の開催は、定期教室の各期の合間に実施して、月ごとの優先利用枠を超えないようにします。イベント等で優先利用枠を超える可能性が出現した場合は、横浜市にスポーツ振興事業枠の1/2の承認を得た上で実施します。

■ 利用促進策

ライフスタイルに合わせた体験機会を提供し、施設へ「新たに」「何度も」来館していただく「きっかけ」を創出します。「体験制度」や「地域での教室展開」により、利用者の拡大を図ります。

● 安心・納得して通っていただくための「体験制度」

随時、事前受付教室を中心に体験を受け入れ、安心してご利用いただける環境を提供します。1期（約全10回）で開催する事前受付教室は、多種多様なプログラムを計画しています。内容、負荷、講師との相性などを体験していただいたうえで、自身に合ったプログラムへご参加いただけます。

● 平沼記念体育館周辺地域での教室展開（施設間連携）

市民の健康づくりを担う当団体は、平沼記念体育館から離れた地区にお住いの方に向けて、健康づくり活動が広がるよう地区センターや地域ケアプラザ、子育て活動拠点等を会場とした教室を本部職員が実施します。

※詳細は様式 15 に記載しています。

地区センター出張教室

施設の効用最大限発揮

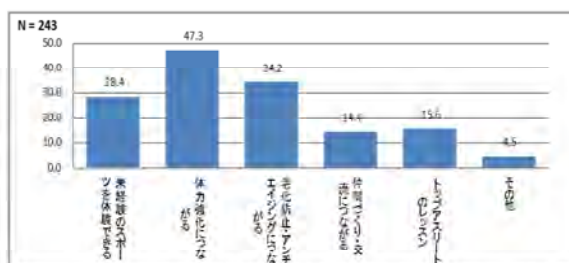
ウ 満足度向上につながる教室事業の PDCA サイクル

多様なお客様に満足度の高いプログラムを提供するためには、当団体は絶えずお客様の声を聞く機会を確保し、それを講師とともに改善するという PDCA サイクルを根気よく続けることが最も重要です。当団体は、教室事業の PDCA サイクルの徹底と併せ、新たなフィットネスプログラムの導入など、フィットネス市場の動向にも目を向け、参加者を飽きさせない工夫を絶えず行います。

■ 教室の企画から改善まで 徹底した PDCA サイクル

● レッスン内容のモニタリング

プログラムのマンネリ化防止や参加者数が少ない場合は、アンケートを行い翌期にはプログラムを改善・変更します。さらに、平沼記念体育館全体の顧客満足度が低下しないよう、大手フィットネスクラブ「メガロス」との情報交換を行うなど、最新のトレンドを参考にプログラムを切り替えます。

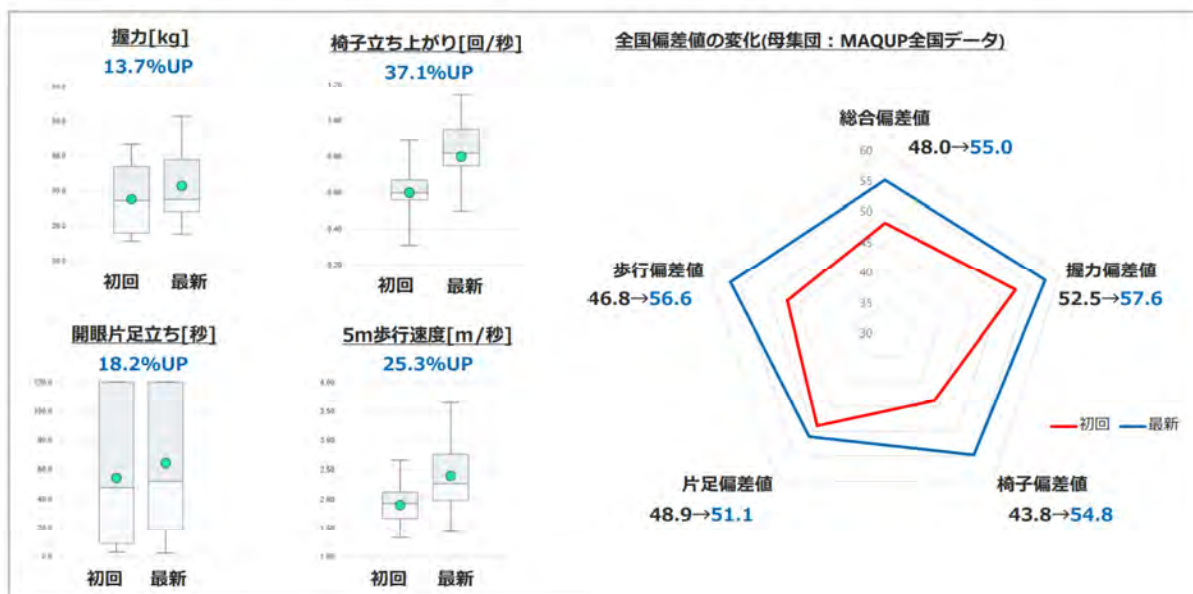


定期的なアンケートで「参加目的」をうかがい、新規教室に反映します

● 教室参加者への効果測定

運動の機会を絶たず継続率を高めるために、プログラムに健康・体力増進の効果測定を用います。フレイル予防教室では、株式会社マクニカの「MAQUP」を使用して、定期教室の初回時と終了時の数値を比較し、効果を視覚的に把握することで継続の動機やプログラムの改善につなげています。

■ プログラムの有効性や運動の成果を可視化



施設の効用最大限発揮

● 定期教室修了者の継続を促すサポート

当団体は、総合型地域スポーツクラブや区内の競技団体やクラブを支援しています。

教室終了後にお客様の希望があれば、地域コミュニティでのスポーツ活動をしているサークル等をご紹介します。

■ プログラムに合わせたインストラクターの配置

● 地域人材の積極的な登用

神奈川区・西区・保土ヶ谷区スポーツ協会、横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座修了生、横浜市スポーツ人材活用システムに登録する地域の方へ、各種教室の講師や運営補助従事者として地域人材を活用します。

親子体操教室の講師のみなさん

● 団体連携による専門インストラクターのレッスン

バドミントンなどの競技種目は、当団体加盟の競技団体や区スポーツ協会に所属する講師に依頼します。また、地元出身のオリンピックや横浜スポーツパートナーズに加盟している団体のプロコーチや選手を招へいし、トップスポーツ界での活躍経験がある方からの指導により、競技への関心を高めます。

YSCC フットサル教室

■ 教室運営に協力していただく団体

団体名	担当教室
横浜市バドミントン連盟	バドミントン教室
横浜ハンドボール協会	ジュニアハンドボール教室
神奈川県サッカー協会・横浜サッカー協会他	フットサル教室
一般社団法人スポーツ吹き矢振興協会	スポーツ吹き矢教室
YSCC	ジュニアフットサル教室
メガロス(野村不動産ライフ&スポーツ)	ミライク

● スポーツ指導に関する有資格者の配置

平沼記念体育館には、スポーツ指導の専門資格である健康運動指導士や健康運動実践指導者、スポーツリーダー、スポーツリズムトレーニングディフューザーなど、運動指導に関する有資格者を配置し、外部講師を含めて、スポーツ場面における安全管理や技術向上などに助言ができる体制を整えます。

● 初級パラスポーツ指導員の配置

障害児対象の教室は、プログラム構成などを横浜市リハビリテーション事業団の協力を仰ぎ実施します。常勤の初級パラスポーツ指導員が教室講師となり、障害のあるお子様、また一緒にご参加いただく保護者の方に、日常的にスポーツができる環境を提供します。



資格保有者の職員が推進します

施設の効用最大限発揮

エ 安心の教室運営のために

■ 外部講師への教育徹底 ～安全性とホスピタリティの確保～

平沼記念体育館で計画する 38 種の教室を安全に行うために、外部講師への安全教育を特に徹底します。また、公共サービス従事者として平沼記念体育館設置目的等を十分に理解し、レッスンにあたります。



月初の AED 訓練

【外部講師との確認事項】

契約時 (年 1 回以上)	緊急時の対応(誘導班、避難経路の確認) 施設の運営方針、接遇マナー、モニタリングへの参画 個人情報の取り扱いに関する誓約書 資格書類、健康診断の確認
月初	AED 訓練
出勤時	感染症防止対応、衛生管理への協力 教室参加者からのご意見・お褒めの言葉、アンケート結果等 施設からのお知らせ



出勤時の申し送り事項にサイン

■ こども性暴力防止法への対応 (2026 年 12 月 25 日施行予定)

① 対応方針	同法が求める水準の安全性を確保し、受講生である子どもたちが安心してスポーツに打ち込める環境を構築します。
② 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども家庭庁のガイドラインに基づいた研修や規約の整備。 ・ 教室運営において、講師と児童が 1 対 1 になる状況を原則禁止。 ・ 保護者の見学等「オープンな教室づくり」を推進し、密室性を排除。

■ 荒天予報時の事前連絡

台風接近や大雪などの荒天により、平沼記念体育館最寄りの公共交通機関がマヒした場合は、原則として教室開催を中止または順延とします。定期教室へ参加されているお客様には、ホームページでの注意喚起に加え、電話連絡や電子メールによる連絡を確実に実施します。

■ 全参加者対象に傷害保険を加入

スポーツ教室のプログラムは、安全面を十分に配慮していますが、万が一の事故に備えて、全ての参加者を対象に、傷害保険に加入します。教室開催中におきた怪我を傷害保険の範囲内で補償します。また、夏季期間は熱中症特約を付加することで暑さ対策を実施します。

※補償内容は、様式 14「安全管理」に詳しく掲載しています。

施設の効用最大限発揮

オ 教室への参加方法

■ 事前受付教室

■ 多様な応募方法	当団体が独自開発したインターネット申込みのほか、インターネットに不慣れなお客様のために、「往復はがき」での申込み方法も行います。スマートフォンからお申込できます。
■ 参加決定方法	定員を上回る場合は「市内在住・在勤・在学者で初参加」を優先し、抽選します。当選者以外はキャンセル待ちとし、当選者がキャンセルした場合に繰上当選となるよう柔軟な仕組みとします。
■ 定員に満たない場合	定員に満たない教室は、「追加募集」として、館内に申込み状況を掲出し、開催初日まで電話や来館により受付します。教室開始後は、途中参加についても柔軟に対応します。
■ キャンセルのお客様への対応	自己都合でキャンセルする場合は、「教室事業基本マニュアル」に則り、柔軟に対応します。キャンセル待ちの教室は、繰上当選の連絡を迅速に行います。

■ デジタル技術を活用した申込簡略化・出欠管理 新規

会員証を発行し、利用者の申込と出欠管理を簡略化します。運動機会を広げるために事前受付教室は4期制を採用しています。現状、平沼記念体育館の教室参加者の9割を超える方が、継続参加者の方です。特に高齢教室の参加者は往復はがきでのお申し込みが多いため、会員証を発行して施設に設置している端末からお申し込みをすることで利用者の手間を大幅に削減します。出欠管理については、インターネット上で行えるため電話する手間を削減できます。

タッチパネル式で大きな表示
老若男女にやさしい受付



デジタル化がもたらすメリット

- 往復はがきでの申し込みが不要
- 郵送事故のリスク低減
- 事務作業の簡素化
- 教室の出欠管理をデジタル化(手集計の廃止)

施設の効用最大限発揮

5. 安全かつ効率的な業務履行体制

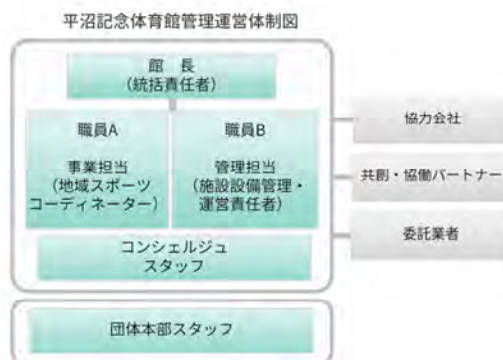
当団体の総合力を最大限発揮し、すべてのアクションプランを着実に実現していきます。円滑な業務遂行による高品質な運営を維持するために責任体制を明確にし、必要なスキルを持つ人材を配置します。

ア 平沼記念体育館の管理運営体制

責任者の配置

統括責任者に館長を配置します。

所長は平沼記念体育館管理運営の最高責任者として業務全般に精通し、スポーツを推進する能力に優れた者とします。年間 350 日近く開館し、1 日最大 13 時間 30 分における開館時間となる平沼記念体育館の事業運営は、館長のほかに 2 名以上の職員を時間帯責任者として配置します。



地域スポーツコーディネーターの配置

当団体は、スポーツ振興の推進役として、**職員一人を地域スポーツコーディネーター**とします。

当団体では、長年にわたり神奈川区・西区・保土ヶ谷区スポーツ協会の運営支援やさわやかスポーツ会の事務局支援、区内公共施設と連携した健康づくりなど、地域におけるスポーツ振興・健康づくりを横浜市全域で行ってきた実績があります。

今後も、その地域活動を熟知した職員が地域スポーツコーディネーターとなり、さらに市民のより身近な場所でスポーツや健康づくりに親しめる環境を整えていきます。

専門スタッフの配置

受付には、当施設の施設及び事業のご案内から、地域スポーツ振興に詳しいコンシェルジュスタッフを各時間帯に1名を配置します。

また、当団体のヘルスプロモーション担当者が、スポーツ・健康づくり指導水準に達するよう教室指導者を監督します。

ヘルスプロモーション担当者は、運動指導の専門家として当団体管理施設を週に1度巡回し、教室の指導者監督のほか、実際の指導及び職員の研修を担当します。

コンシェルジュスタッフ

安全なスポーツ施設運営を履行するための資格者配置

常勤職員2名は普通救命講習を受講するとともに、館長は応急手当普及員資格を取得します。

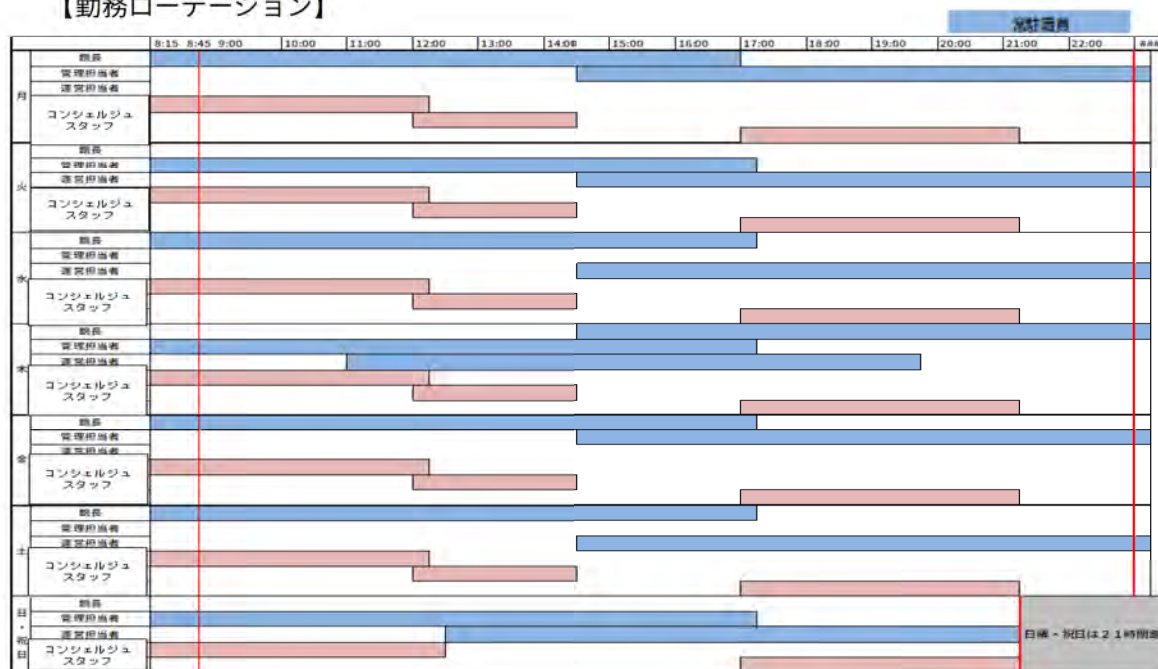
応急手当普及員である館長が、コンシェルジュスタッフや教室指導者に対して、AEDの利用方法など普通救命講習と同様な研修を実施して緊急時の対応に備えます。

施設の効用最大限発揮

【配置ポスト】

職種	配置	雇用形態	勤務体制
館長(総括責任者・)	1名	常勤	週 38 時間 45 分勤務
職員(施設設備管理・運営責任者)	1名	常勤	週 38 時間 45 分勤務
職員(地域スポーツコーディネーター)	1名	常勤	週 38 時間 45 分勤務
コンシェルジュスタッフ	5名	非常勤	1人あたり4～6時間の勤務ローテーション

【勤務ローテーション】



勤務ローテーションは、労働基準法などの関連法令を遵守し、**すべての時間において常勤職員を基本とした時間帯責任者を配置**します。教室参加料の支払時など、業務が繁忙する時は部分的にスタッフの配置人数を増やすなど、柔軟に配置します。なお、館長不在時に事故や災害などが発生した場合は、緊急連絡網を用いて館長や本部に連絡し、一次対応に遅れが生じないようにします。

イ 団体本部のバックアップ体制

■ 本部でのバックアップ

当団体は、事務局本部を含め、市内 30 箇所に事業所があり、多数の公共スポーツ施設の実績を持つ法人です。不測の事態には、本部や近隣施設からの応援勤務を柔軟に対応しています。

当団体では、事務局本部にてスポーツ施設長が集まり、運営サービス向上のための施設長会議を毎月 1 回開催しています。また、地域スポーツコーディネーターについても、情報共有と意見交換のための会議を毎月 1 回開催します。

施設の効用最大限発揮

■ 鹿島建物総合管理株式会社によるハイレベルな維持管理業務

第5期指定管理期間に築60年を迎える平沼記念体育館では設備の老朽化が進行していることから、市民サービスの向上とお客様の安全利用を確保するために、引き続き、設備管理の専門家である鹿島建物総合管理を協力会社として運営します。

※業務内容は、様式13「施設管理」に詳しく記載しています。

鹿島建物総合管理による
24時間監視体制

ウ 研修計画

指定管理者は、公の施設の管理者としての見識・スキルを身に付けるべく、公共施設従事者研修や個人情報保護研修等の教育を実施します。

■ 公共サービス従事者としての研修一覧

公共サービス従事者に必要な研修			
項目	対象	日程	内容
新規採用者研修	新規採用者	4月・随時	接客、指定管理者の心得、個人情報保護他
心肺蘇生・AED 操作研修	全スタッフ	5月	応急手当普及員(常勤職員)による研修
ノーマライゼーション研修	全スタッフ	9月	サービス介助士(副所長)による研修
人権研修	全スタッフ	5月	法務局職員や人権擁護委員による研修
個人情報保護研修	全スタッフ	6月	PMS 担当者(常勤職員)による研修
公共サービス従事者研修	全スタッフ	6月	職員による条例解釈、コンプライアンスの研修
接客・接遇研修	全スタッフ	5月	サービス介助士(副所長)による研修
マネジメント研修	所長・副所長	年1回	本部職員、外部講師による管理運営研修

■ スポーツ施設の職員としての研修

● スポーツ器具操作研修

安全かつ効果的な施設利用を支えるため、全スタッフを対象とした「スポーツ器具操作・指導研修」を実施します。正しい操作方法や補助技術を習得することで、事故を未然に防ぐとともに、利用者への的確なアドバイスを通じて、安全なスポーツ環境を提供します。

● さわやかスポーツ体験研修

用具貸出業務の質を向上させるため、全スタッフを対象とした「さわやかスポーツ体験研修」を実施します。種目特性や安全な使用法の習得により、地域団体からの要望に対し、専門的な助言や提案を可能とし、地域コミュニティの活動を円滑に支援します。

● 各種システム操作研修

当団体はDX推進により安全かつ効率的な事務管理を行っています。収納管理システム、統計システム、教室管理システム、講師講座管理システム、施設予約システムなどの操作研修を随時実施しています。

施設の効用最大限発揮

健康増進の専門性を取得する施設職員研修

● 横浜市スポーツ医科学センター専門職員による研修

指定運動療法施設として提供する運動療法には、医師の指示書に基づく運動メニュー作成や患者のリスク管理など専門性を要します。

当団体が管理運営する横浜市スポーツ医科学センターの医師や理学療法士、スポーツ科学員を講師として、専門研修を実施します。



画像解析による測定研修

エ 経理体制

内部でのダブルチェックはもとより、公認会計士、内部業務監査体制の確立により経理処理の精度を高めます。また、独自の会計システムを導入し、本部とオンラインでの会計処理を行い、経理業務の効率化と正確性を確保します。

最適な予算執行の仕組み

平沼記念体育館の予算執行状況は公益法人会計システムを使って、事務局本部と現地、双方からオンラインで確認できます。公の施設を預かる指定管理者として、お客様の安全確保・快適性維持のための修繕や運営経費が適切に管理できるよう、現地・本部双方で収支状況を確認しながら最適なタイミングで執行していきます。

● 独自の売上管理システムを構築

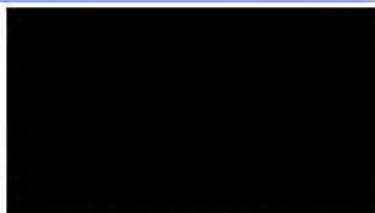
キャッシュレス決済を行えるレジを利用し、スムーズなお支払いを可能としています。



安全性を高めた施設の現金管理

売上金の管理には現金自動入金機を設置し、現金管理の安全性を高め、現金輸送時のリスク軽減を図ります。

また、収入現金と支出現金とを完全に分離することで、明確な経理処理を推進します。施設内で取り扱う現金は、経理規程や事務マニュアルに基づき、厳正かつ迅速に行います。



入金機による安全な管理

施設の効用最大限発揮

6. 利用者のニーズ・要望苦情への対応

ア 利用者要望を反映させる仕組み

■ ご意見・ご要望への”迅速かつ開かれた対応”

当団体はお客様の声を集めるために様々なチャネルを用意し、お客様のニーズや要望を的確に把握しています。いただいたお声に関しては、**施設内で事案を検証し対応を協議し、運営サービスの改善と品質の向上に繋がっています**。また、内容を本部職員と共有するだけでなく、毎月の施設長会議で共有することにより、他施設の事例を自施設に反映して、組織全体での運営品質の向上に役立てています。

■ お客様の声の収集及び反映の方法

種類	対象	実施頻度	回答方法
お客様の声(ご意見箱)	お客様	随時	回答を館内掲示
アンケート		上半期・下半期	回答・結果を館内掲示
問合わせメール SNS(X,instagram)	不特定多数	随時	直接回答・館内掲示
横浜市「ご意見ダイヤル」	不特定多数	随時	回答を館内掲示
第三者調査	お客様	1回	回答・結果を館内掲示・ホームページ掲載

■ ご意見への対応フロー



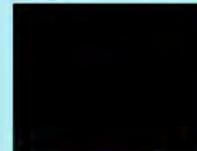
■ 利用者要望の反映事例

・ 体育室の暑さ対策に気化式冷風機を設置

体育室に空調設備なく、夏季は暑さが厳しいため、冷房機器を設置してほしいという要望を受けて、熱中症予防対策を含め、気化式冷風機を4台レンタル設置しました。

・ 満員御礼のピラティス教室を増設

好評で募集定員を上回る応募が寄せられたため、新たに同種類の教室を増やしました。



施設の効用最大限発揮

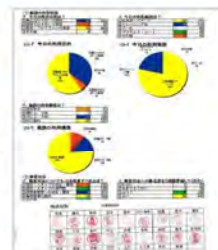
■ 利用者の意見や評価を運営改善に繋げる仕組み

より良い運営を実現するため、サービス面・設備面双方で定期的に満足度調査を行い、職員・講師・アルバイトが一体となって改善に取り組んでいます。

お客様の声を職員で共有し合う仕組みにより、当施設の満足度は常に 80% 以上を維持しています。第 5 期では、利用者の意見を起点とした“共創型の改善活動”をさらに推進します。

※様式 16 に詳しく掲載しています。

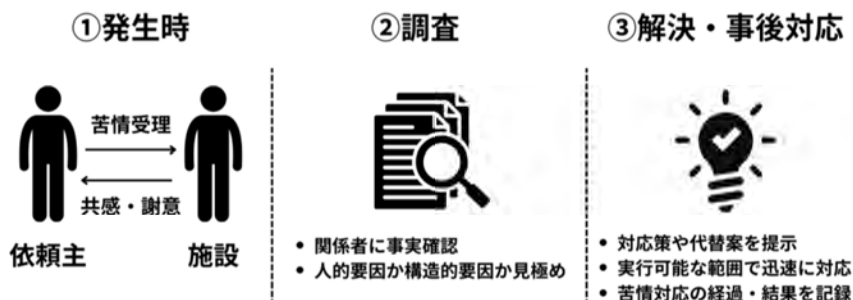
アンケート結果は
スタッフ全員で共有



■ 苦情対応・予防と早期解決の仕組

苦情や要望には、受付窓口のコンシェルジュが対応し、一次対応で解決しない場合は統括責任者が責任を持って引き継ぎます。対応内容は当館のみならず当団体管理施設全体で共有し、再発防止やマニュアル改訂につなげます。対応結果は随時横浜市へ報告します。

苦情対応フロー



● カスタマーハラスメント基本方針の制定

寄せられるご意見、ご要望は業務遂行にあたり貴重なものであり、丁寧に対応します。他方、ご意見やご要望、要求の内容の妥当性に照らして、態様が社会通念上不相当なものであり、当該手段、態様により職員の就業環境が害されると判断される事案に対しては、当団体職員の人権を尊重するためにカスタマーハラスメント基本方針に則り、慎重に対応します。

本市の重要施策を踏まえた取組

1. 横浜市の重要施策を踏まえた取組

横浜市が掲げる **2040 年の都市像「明日をひらく都市」** およびその中期計画（2026-2029）を踏まえ、行政パートナーとして安心・安全な運営と市の持続的な成長・発展に寄与する取組を平沼記念体育館の運営を通じて展開します。

ア 最高レベルの個人情報保護体制

当団体は、情報漏洩や個人の権利・公益を害する事態の発生を予防するため、個人情報マネジメントシステムに関する規定の運用を確実に行うとともに、職員はもとより外部講師も含めた研修を実施し、守秘義務を徹底します。

指定管理者に課される守秘義務の徹底

指定管理者は、お客様及び職員に関する個人情報、情報公開規定における非開示情報など、守秘すべき様々な情報を保有します。こうした情報が外部などへ漏洩すれば個人の権利や公益を害する事態を招来するおそれがあります。

当団体は、**プライバシーマーク付与事業者**として、個人情報保護規程を設定し、組織体制・データ保護方策・個人情報の廃棄の手順等、情報漏洩防止のための必要な手続きを定め、これらの情報の保護を徹底及び安心・安全な利用環境を提供します。



プライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備

プライバシーマークの取得

当団体は、平成 20 年 8 月にプライバシーマークを認定取得しました。

個人情報保護に関する法律の規定以上の措置を定める「JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム — 要求事項）」に適合した個人情報保護体制を構築・運用し、お客様の個人情報を厳格に管理しています。厳格な審査をクリアしたプライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備しています。



プライバシーマーク登録証

組織的な教育と厳格な運用による個人情報保護の徹底

当団体は、個人情報の保護を重要課題と位置づけ、「人（意識）」と「仕組み（運用）」の両面から、万全の漏洩防止体制を構築しています。

継続的な教育による「人」の防衛力向上（研修制度）

当団体は、年 2 回の個人情報保護に関する自主点検や、アルバイト・外部講師・ボランティアを含む全スタッフに年 1 回以上の研修を行います。また、個人情報を含む業務を委託する場合は、委託業者に安全な取り扱いや秘密保持が厳守できる体制を審査した上で契約しています。

本市の重要施策を踏まえた取組

● 適正な取得と利用目的の明確化（入口の管理）

個人情報を取得する際は、利用者に対し「利用目的」「利用範囲」「問い合わせ窓口」を明記した書面等を用いて丁寧に説明し、必ず事前の承諾を得ます。取得した情報は目的外利用を禁止し、厳格に取り扱います。

個人情報の主な取得目的	
教室・イベント等事業に関する申込受付等	個人・団体利用の申込受付等
利用者アンケートの依頼	必要な範囲での業務委託
安全管理を目的にした利用者への連絡	その他サービスに対する苦情等の対応

● ヒューマンエラーを排除する「仕組み」の徹底（漏洩防止）

個人情報の漏洩の多くは、ヒューマンエラーに起因します。漏洩原因の多くを占める誤送信等のミスを防ぐため、物理的な対策を徹底します。

- 多重チェックの実施：FAX・Eメール送信時の「複数人によるダブルチェック」の義務化。
- セキュリティの強化：送付文書へのパスワード設定の徹底、個人情報を含む書類の施錠管理。
- 整理整頓：受付カウンターや事務所内のデスクを常に整頓し、混入等の事故を未然に防止。

● 違反に対する厳正な対処（自浄作用）

守秘義務違反や情報漏洩など、公正な職務執行を脅かす疑いがあった場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、適正な処理を行うとともに、顧問弁護士等外部の専門家からなる調査チームを設置し迅速に対応します。万が一、職員に法令違反や職務上の義務違反等があった場合は、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき、公平委員会での審議の上、厳正な処分を課します。

イ 高い透明性を確保する情報公開への取組

■ 保有個人データの開示に対する対応

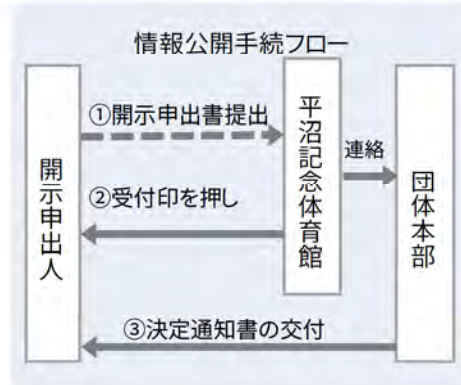
個人情報の保護に関する法律に基づく保有個人データの開示等の請求について、横浜市が示す「指定管理者の保有する保有個人データの開示等の請求に関する標準規程」に準拠して、当団体は規程を作成し、保有個人データの開示等の請求に対して適切に対応します。



保有個人データの開示等の請求に関する標準規程

■ 情報公開手続きフロー

当団体は、指定管理者として十分な透明性を確保し、市民への説明責任を果たします。情報開示請求への対応は、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、当団体の「保有する情報の公開に関する規程」を定め、右図のフローで14日以内に対応します。



本市の重要施策を踏まえた取組

透明性確保のための取組

施設の管理運営に関して、透明性の確保と公正な管理運営を推進するため、横浜市にぎわいスポーツ文化局のホームページで公表されている事業計画および報告書を施設ホームページにてご案内するほか、施設内でいつでも閲覧できるように配置します。



事業計画書・事業報告書		
令和4年度	事業計画書 (PDF: 1,142KB)	事業報告書 (PDF: 6,829KB)
令和5年度	事業計画書 (PDF: 943KB)	事業報告書 (PDF: 2,648KB)
令和6年度	事業計画書 (PDF: 1,211KB)	事業報告書 (PDF: 2,673KB)
令和7年度	事業計画書 (PDF: 1,155KB)	—

ウ 人権尊重 - 誰もが輝ける施設・地域にするために

横浜市が目指す「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現に向け、当団体は「人権尊重」を管理運営の根幹に据えています。施設の運営にあたっては、差別や偏見、施設利用上の困難な状況を解消するため、すべてのお客様に対して公平で平等に対応します。また、性的少数者、外国人、障害者、信者などの方々に配慮が必要な場合は、相手の立場に立ち、思いやりのあるサポートを行います。



横浜市人権施策基本方針

スタッフ研修 - 「啓発者」の育成（土台づくり）

全スタッフを対象に、毎年度「人権啓発研修」を実施します。研修は、過去の対応事例（認知症の方のサポートや外国籍の方への案内等）をケーススタディに用い、単なる知識習得に留まらない、現場で活きる「人権感覚」を備えたスタッフを育成します。



地域ケアプラザにご協力
いただいた認知症サポーター研修

バリアフリーな接遇の実践（現場での体現）

障害者、高齢者、LGBTQ+、外国籍の方など、多様な背景を持つ利用者に対し、個々に寄り添った適切な声掛けとサポートを行います。寄せられた「利用者等の声」を分析し、当団体の「サービス介助マニュアル」を更新・徹底します。

市民・利用者への啓発（社会への波及）

スタッフ一人ひとりが啓発者となり、施設内でのポスター掲示や啓発冊子の配布、日々の運営を通じて、利用者の皆様とともに人権について考える機会を創出します。地域コミュニティの拠点として、誰もが安心・安全に過ごせる施設を目指します。



横浜市人権啓発ポスター

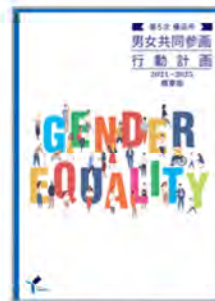
本市の重要施策を踏まえた取組

エ 男女共同参画推進の取組

当団体は、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定し、誰もが働きやすい職場づくり、地域社会との協働を推進していきます。

職場内では、誰もが働きやすい職場にするために、仕事と育児・介護の両立に向けた規程整備を行い、育児休業・休暇等の取得を推進しています。

また、男女共同参画の推進と各種ハラスメントの防止に向けて、研修を1年に1回行っています。



横浜市男女共同参画行動計画

■行動計画の一例

項目	当団体の主な取組事項
女性職員を責任職への登用	課長級職以上に占める女性の割合を 20%程度に引き上げるため、キャリアアップに向けた研修を実施。
子育てと仕事で両立できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産休暇や育児休業、介護休暇や介護休業など取得する際の待遇、賃金その他の労働条件等に関する事項を周知 ・ 育児や介護を行っている職員の意見聴取 ・ 理解促進のための職員研修等を実施

オ SDGs への取り組み

当団体は、横浜市が2020年11月に制定した制度『Y-SDGs』に認証区分「標準(スタンダード)」として認証されています。

施設の老朽化対応をはじめ、施設運営を通じて「SDGs17の目標」の達成を推進します。



国連は、SDGsにおいてスポーツは、「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵となるものである」と必要不可欠なものとしています。

	すべての人に健康と福祉を	運動とスポーツを行うことはアクティブなライフスタイルと精神的な安定をもたらします。私たちの活動は、まさにこの目標の達成のための活動です。
	ジェンダー平等を実現しよう	スポーツは、ルールの下では平等です。スポーツ事業の実践の中で、意識改革が進められるよう、働きかけます。
	気候変動に具体的な対策を	気候・環境は、スポーツ活動に重大な影響を与えます。スポーツイベントや講座を通じて、環境への理解を深めていきます。

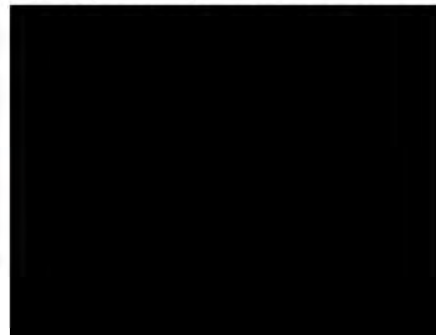
本市の重要施策を踏まえた取組

■ スケートリンクの氷を利活用 新規

当団体が運営している横浜銀行アイスアリーナでは、スケートリンクの整備によって毎日およそ 2 トンの氷が排出されています。この整氷作業によって出た氷を利用して、イベント時に「氷のあそびば」としてお子様向けにプレイスペースを設置したり、熱中症対策として氷を配布しています。



毎日約 2 トンの
氷を排出
→
イベント時に
氷の遊び場で活用
予定



カ 環境への配慮

■ ヨコハマ プラ 5.3（ごみ）計画の具体的取組

ヨコハマ プラ 5.3（ごみ）計画「横浜市一般廃棄物処理基本計画」は、基本理念「誰もが快適に暮らし、将来世代に良好な環境を引き継ぐ」の実現に向けて、燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を 2030 年度までに 2 万トン削減を目標として掲げています。



指定管理者として、市民の皆様と協力しながら本計画の 6 つの政策に沿った行動を進め、目標の実現に貢献します。

■ 「6 つの政策」に応じた取組例

1	プラスチック対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの抑制（マイバッグ・マイ箸、マイボトルの持参、プラスチック用品の使用削減） ■ごみの分別の徹底（燃やすごみ、ビンカン、プラスチック等） ■マイボトルスポットの登録・利用啓発（情報発信等） ■スポーツ用品のリサイクル活動の実施 ■「i n ゼリー リサイクルプログラム」への参加
2	食品ロス削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■フードドライブキャンペーン 各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈します。「食品ロス削減月間」に合わせて実施を検討します。
3	環境学習・普及啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴミ拾いウォーキングの実施
4	多様な社会ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ■使用済みインクカートリッジの回収 BOX 設置 ■小型家電回収ボックスの設置
5	安定したごみの収集・運搬・処理・処分	<ul style="list-style-type: none"> ■グリーン電力を供給している会社との契約 ■ペーパーレスの推進
6	将来を見据えた施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ■平沼記念体育館の長寿命化を図る → 1 回以上の建物劣化診断 ■予防保全を念頭に置いた計画的な修繕

本市の重要施策を踏まえた取組

■ カーボンニュートラルに寄与する省エネ・脱炭素化施策

● グリーン購入推進と消費電力の削減

「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」、「横浜市グリーン購入の推進を図るための調達方針」に基づき、グリーン購入を積極的に推進します。

風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーによる発電は、発電時に CO₂を発生せず再生可能であるため環境負荷が少ないエネルギーです。このグリーン電力の購入を通して、自然エネルギーの普及に貢献します。



グリーン電力証書

■ 省エネの取組例



● スポーツ用品のリユース

ご家庭で不要になったスポーツ用品を受け入れ、希望者に提供することにより、資源の有効活用とごみの減量を図ります。スポーツ用品は多くのプラスチックが多く含まれているため、再利用を促すことで焼却により排出される CO₂ を削減に貢献します。

また、不要なタオルなどを回収し平沼記念体育館の掃除に役立てたり、再生が可能なものを最大限に生かした方法で再利用を図ります。



スポーツ用具のリユース
(イメージ)

■ 環境教育プログラムや地域と連携した美化活動

新規

● “横浜 REYO”プロジェクトへの参加

「REYO 横浜市再利用材プロジェクト」とは、体育館の床材を皮切りに、公共建築物から生じる廃材に目を向け、リサイクルのチャンスを生み出すプロジェクトです。

同じ体育館を有する施設の管理者として、廃材を利用したワークショップを実施し、市の環境に対する取組を広めます。



■ ワークショップでの作成例



イス



積み木



プランター



写真立て

本市の重要施策を踏まえた取組

■ 美化活動の普及啓発

横浜市資源循環局によるごみ減量や環境保護の啓発ポスターなどを館内に掲示し、お客様や近隣居住の方に、環境保護意識の高揚を図っていきます。

平沼記念体育館に設置されているペットボトルキャップ等の資源回収ボックスの利用を促進し、横浜市の資源回収の取り組みに協力していきます。

キ 地域経済との共生（市内中小企業優先発注）

■ 市内中小企業振興基本条例に基づく、市内企業への優先発注

当団体は、修繕等の発注、物品や役務の調達にあたっては、**横浜市中心企業振興基本条例**の趣旨に則り、市内中小企業から優先的に調達することを経理事務基本マニュアル及び業者選定ガイドラインに定めています。

また、当団体の経理規程に基づき、競争入札等の方法により契約を行っており、事業者の指名にあたっては、市内経済の発展に貢献するため、市内事業者を優先しています。

■ 令和 6 年度 市内中小企業発注状況

単位：円（税込）

項目	金額	当団体の主な取組事項
物品購入	23,703,705	スポーツ用品、事務用品、衛生用品等
委託	1,140,652,813	施設の維持管理、運動教室指導委託、システム改修等

ク その他 横浜市の重点施策への貢献

■ GREEN×EXPO2027 機運醸成への取り組み

新規

館内の空きスペースを活用して、ポスターの掲示や啓発動画の配信、プランターの設置などを通じて認知度向上を図ります。加えて、**ホームページの広告枠を無償で提供**し、横浜市のパートナーとして機運醸成に貢献します。



**GREEN
x
EXPO
2027**
YOKOHAMA JAPAN

■ 横浜港の開港時に輸入された西洋の花でお客様をお迎えします！



西洋バラ



チューリップ

本市の重要施策を踏まえた取組

第 12 回横浜・人・まち・デザイン賞受賞

「横浜・人・まち・デザイン賞」は、魅力あるまちづくりをより広く進めていくことを目的として、横浜市都市整備局が、市内での地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、都市景観の創造や保全に寄与したまちなみを構成する建造物等を表彰するものです。

当団体は、令和 8 年 5 月 28 日に横浜市長から「地域まちづくり部門」の表彰を受けました。

公共施設の管理者のみにとどまらず、スポーツ振興を通して今後もまちづくりや地域活性を各種団体と共に展開します。

地域まちづくり部門 表彰対象一覧	
表彰対象活動【活動場所】	受賞者 ※敬称略
全かなスリッパ卓球選手権大会 【保土ケ谷区】	(活動団体) スリッパ卓球実行委員会
	(支援賞) (一社) 横浜建設業協会/ (一社) 神奈川県建設業協会横浜支部/ 建設業労働災害防止協会神奈川支部横浜西分会/ 建設業労働災害防止協会神奈川支部/ (公財) 横浜市スポーツ協会 / (公財) 神奈川県スポーツ協会/横浜市卓球協会/ (一社) 神奈川県卓球協会/保土ケ谷区商店街連合会 (一社) 横浜市商店街総連合会/ 神奈川県商店街振興組合連合会/ (公社) 商連かながわ/ NPO法人ハマのトウダイ/ チーム和田街/ FM上星川/ NPO法人ぎんがむら/ 相鉄ホールディングス株式会社



実証実験への協力

当団体は、横浜市に根付いた企業であり、公共施設の管理者でもあることから様々な市政策をもに実施してきました。これら取組を継続して、より良い街づくりを共に推進していきます。

協力事例

横浜市経済局	乗り合いタクシーの実証実験に協力
横浜市医療局	心臓リハビリテーション事業への協力
横浜市健康福祉局	フレイル予防事業への協力

管理運営経費

1. 利用料金等収入増への取組

ア 事業収支計画の考え方

私たちは、利用促進策など実効性のある収入増加策と、ライフサイクルコスト縮減や業務の効率化によって支出を抑え、**利便性向上や安全で快適な空間づくりに費用を配分**することによって、利用者の満足度を上げることでさらなる利用を呼び込み、収入と支出の好循環を作り出します。

イ 実効性のある収入増加策

■ 利用促進の取組

私たちは、来館動機につながる多様なイベントやアウトリーチ活動により、これまで平沼記念体育館を利用したことがなかった市民と接点を持ち、運動・スポーツを始めるきっかけを提供し、継続しやすい仕組みを提供することで、利用促進につなげていきます。

また、利用を継続したくなる魅力的なサービスを提供し、収入の増加を図ります。

● 平沼記念体育館の認知度向上につながる取り組み

- ・ターゲットに合わせた多様な広報（SNS 等）
- ・来館動機につながる多様なイベント
（「三ツ沢公園感謝デー」「平体祭」「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」やトップアスリート交流等）



施設外での啓発活動

● 利用や来館のきっかけとなる取り組み

- ・体力測定や姿勢測定による動機付け
- ・生活お役立ち講座
- ・プロスポーツチームとの連携
- ・よこはまシニア社会参加ポイントアプリ
- ・多種多様な「スポーツ」「学ぶ」「あそび」教室の実施



資産運用・相続等の講座を開催

● 利用を継続したくなる取り組み

- ・手ぶらでできるレンタル及び物品販売
- ・プロテインの自動販売機の設置
- ・民間フィットネスクラブのプログラム
- ・モバイル充電スポットの設置



管理運営経費

重点的な収入増加事業

過去3年間の体育室は、約90%と高い稼働率を保っていますが、2つのスタジオ（会議室）は、35～50%程度になっています。しかし、地道な広報活動の結果、年々利用団体が増え、スタジオの稼働率は上昇傾向にあります。

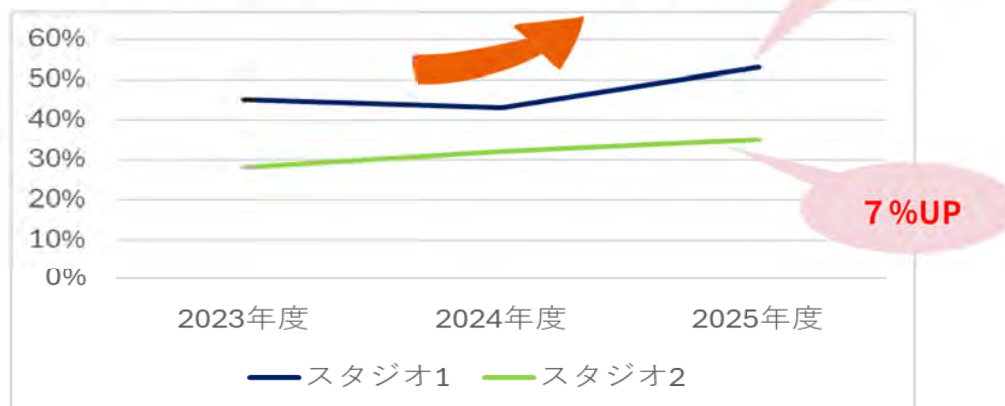
第5期指定期間の最も効果的な収入増加方法は、2つのスタジオの稼働率を増加させることと、教室の多角化を図り、参加者数を増やすことです。

そのためには、これまで平沼記念体育館を利用したことがなかった市民と接点を持ち、運動・スポーツを始めるきっかけを提供し、利用促進につなげていきます。



2つのスタジオの稼働率のアップと教室参加者数の増加を目指します

【上昇傾向にあるスタジオの稼働率（3年間）】



【スタジオ1・2の誕生の経緯】

施設内にある2つのスタジオは、開設当初には設置していませんでした。

そこで、当団体が横浜市に許可をいただいて2011年度に2階の事務所をスタジオ1に、2016年度に地下会議室を運動ができるスタジオ2に改築したものです。

この改築より、大会時の役員等の控室が確保されたとともに、より多くの方々が運動できる施設へと生まれ変わりました。

管理運営経費

これらの具体的な方策により、**5年間で総額 71,867 千円の収入**を見込んでいます。

■ 5年間の収入目標

【税込】単位：千円

利用料金収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	8,103	8,185	8,267	8,350	8,434

利用料金収入の増加目標としては、スタジオ 1 とスタジオ 2 の個人・団体利用の促進と教室数の増加することに積極的に取り組み、毎年 3% の収入増を見込んでいます。

● スポーツ教室等収入

【税込】単位：千円

スポーツ教室 等収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	6,065	6,085	6,105	6,126	6,147

スポーツ教室では幅広い年代を対象にした多種多様なプログラム展開し、季節特性を踏まえたイベントや定期教室の体験制度、エリアを限定した広報によって充足率を増やし、**毎年 2% の収入増**を見込んでいます。

採算性の合う教室の展開と優先利用コマの範囲内で、時間帯の分割、レベル別など限られた利用コマを有効に使います。また、**新たにアマチュアスポーツ選手の傷害予防講座や「学ぶ」「遊ぶ」をコンセプトにした文化教室、資産運用など生活に役立つ講座など、幅広い教室を実施します。**

■ スケールメリットを活かした収入増加策

自主事業における飲料自動販売機について、当団体が横浜市内で管理している施設をまとめてポポーザル入札を行い、販売手数料の料率が高い業者と契約しています。

■ 指定管理事業を下支えする自主事業

開館日・時間の拡大や利便性の向上につながる事業を実施し、その収益を指定管理事業に充当します。※詳細は、様式 18 に記載しています。

【税込】単位：千円

自主事業収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	9,031	9,142	9,256	9,372	9,490

● 駐車場事業収入

平沼記念体育館敷地内の駐車場の運営については、横浜市公園条例及び同施行規則に定められた関連規定に従って申請し、運営します。

第 5 期指定管理も自主事業として、「**24 時間営業**」を行い、お客様が安全に利便性をもって駐車できるように運営していきます。

今期からキャッシュレス対応の精算機を導入します。



15 台駐車可能な駐車場



キャッシュレス対応の精算機

管理運営経費

【税込】単位：千円

駐車場収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	5,500	5,610	5,723	5,838	5,955

駐車場は時間帯によって満車になる頻度が高くなっていますが、空いてる時間は、三ツ沢公園の利用者にも利用していただけるように広報を充実していきます。また、スタジオと1スタジオ2の利用者の増加により、5年間で2%の収入増を目標とします。

● レンタル事業収入

平沼記念体育館の体育室や会議室（スタジオ）の利用種目の傾向に合わせ、ボール類、ビブス、シューズ、CD デッキなど、お客様の利便性を高めるためにレンタルサービスを充実させ、年間10万円程度の収入を目指します。

■ レンタル商品一例

単位：円（税込）

レンタル物品	金額
体育館シューズ	22～29cm 220／足
フットサルボール	110／球
バレーボール	4・5 号 110／球
ビブス	5 枚 1 組 110／組
T シャツ	S・M・L 110／枚
ハーフパンツ	S～LL 110／枚
デジタルタイマー	1 コマ 550／台
	2 コマ以上 1,100／台
ストップウォッチ	110／個
CD デッキ	220／台
ヨガマット	110／枚
ストレッチポール	110／本
グリッドローラー	110／本
ギムニックボール	110／個
レガース	110／セット
エアロビマット	60／枚
演台	440／台
コピー機使用料	A4 モノクロ片面 10／枚
	B4 以上モノクロ片面 20／枚
	A4 カラー片面 20／枚
	B4 以上カラー片面 50／枚



【税込】単位：千円

レンタル事業収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	102	102	102	102	102

管理運営経費

● 自動販売機事業の収入

館内外の設置スペースを有効活用し、本格的なコーヒー、飲料、氷菓、軽食（スナック・パン等）に加えて、新たにプロテインの機器を導入してよりメニューを充実させて自販機収入を確保しています。



平沼記念体育館のロビーに設置してる自動販売機

■ 自動販売機事業収入目標

【税込】 単位：千円

自動販売機 事業収入	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100

2. 施設の課題等に応じた費用配分

ア 安全性・効率性を重視した支出計画

当団体は、平沼記念体育館が快適で安全にスポーツを楽しめる場であるために、無駄を省き、経費削減を図ってだけでなく、サービスの維持向上のために**必要な部分にはお金をかけるメリハリのある収支予算**を計画しています。

昨今のエネルギー価格の高騰、最低賃金や物価の上昇など、今後も管理運営費用の増加が見込まれますが、私たちの長年にわたるスポーツセンターの管理運営の経験と実績を基に、利用者の獲得と新たな収入増加策により、安定的に施設の管理運営経費を確保します。

経費の削減を進める項目

- ◆ 消耗品の削減（ペーパーレス化）
- ◆ 節電・省エネ
- ◆ 業務効率化による人件費
- ◆ スケールメリットを活かした委託費

費用をかける項目

- ◆ 修繕等安全に係る費用
- ◆ 熱射病予防の取組（冷風機の設置など）
- ◆ 備品の更新（フットサルゴールなど）
- ◆ 効率化を推進するシステム導入

■ ライフサイクルコスト削減に資する修繕計画

2030 年に築 60 年を迎える平沼記念体育館において、市民が安全かつ安心してご利用いただけるように、予防保全の考えのもと設備のメンテナンスを行い、老朽化した設備等の修繕および更新を計画的に実施します。

■ 5 年間の修繕計画

年度	主な修繕内容
令和 9 年度	駐車場精算機（キャッシュレス対応）に更新
令和 10 年度	防犯カメラの更新
令和 11 年度	体育室床面の補修及びウレタン塗装
令和 12 年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕
令和 13 年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕

管理運営経費

イ 地域におけるスポーツ振興や地域の活性化のための支出

■ 地域活性化のための支出

平沼記念体育館で開催される多文化共生イベント「アジアスポーツフェスタ」に「特別協力団体」として協賛します。また、地元のお祭りであります「北軽井沢中西部自治会」のイベントに物品協賛等を行います。

■ 福祉団体からの物品の調達や発注

私たちは、「障害者優先調達推進法」や「横浜市障害者就労施設等からの優先調達方針」を踏まえ、**施設で使用する物品や軽作業の委託を市内の障害者団体・就労施設に発注**し、障害者の経済的な自立支援に協力します。区内で直接発注することが難しい場合には、「よこはま障害者共同受注総合センター わーくる」に共同受注が可能か相談するなど、工夫して発注します。

3. 適正な委託・調達・雇用

当団体の経理規程と契約規程について、横浜市の会計規則および契約規則に準じて作成されており、公平かつ公正な経理事務と契約事務が定められています。平沼記念体育館の委託や調達において、当団体の規程に則り適正に契約事務を行います。

また、安易に業者に委託することが無いように、日常的な小破修繕や職員の業務内製化を図ることによって、**委託料を指定管理事業維持管理経費の 50%以内に抑えます。**

ア 業務委託内容と見込み金額

施設の設備管理業務や保安警備など、高い安全性が求められる業務について、施設管理のエキスパートである鹿島建物総合管理株式会社に 10 年以上に亘って協力企業として管理を委託しており、次期に関しても平沼記念体育館の設備を熟知した当該事業者へ委託します。

■ 主な委託業務計画と金額

単位：円（税込）

委託する業務項目	業務内容	発注先	概算金額
建物保守管理業務	保守管理計画に基づく点検等	協力会社	1,100,000
設備定期点検業務	建物巡視点検計画に基づく点検等	協力会社	1,114,000
清掃業務	床面、ガラス面、シャワー室壁面等	協力会社	2,142,000
保安警備業務	夜間警備等	協力会社	790,000
植栽管理業務	剪定、除草、刈込、中高木剪定、薬剤散布	市内造園業者	1,000,000
現金集配金業務	現金入金機保守、集配金業務	設置・集配業者	548,000

※金額については、実際の業務仕様に基いて入札もしくは見積徴収を行うため変更する場合があります。

管理運営経費

イ 適正な業者選定と委託費用縮減の取組

当団体における業者の選定については、当団体契約規則に基づき、競争入札もしくは見積合わせ等を行って厳正に選定を行っています。一定の金額を超える契約を予定する場合、事業者の指名が公正かどうかを判断するため、組織のラインから独立した役職者による業者選定委員会に付議し、厳正な審査のもとで選定しています。

区分	内容
見積合わせ	金額により所管課長、所管部長が決裁
第3業者選定委員会	部長、課長から構成
第2業者選定委員会	局長、部長から構成
第1業者選定委員会	専務理事、局長、部長から構成

契約予定金額

安い

高い

上記の業者選定委員会において、厳正に選定された業者による指名競争入札を行い、競争原理によるコストの縮減に取り組んでいます。また、業務委託の契約期間は原則1年としていますが、スケールメリットが生まれる場合には、指定管理期間を最長期間とした長期契約を締結することにより、契約金額と事務コストを縮減します。

ウ 市内中小企業の活用

当団体は、修繕等の発注、物品や役務の調達にあたっては、横浜市中心企業振興基本条例の趣旨に則り、市内中小企業から優先的に調達することを経理事務基本マニュアル及び業者選定ガイドラインに定めています。横浜市有資格者名簿に記載されている市内中小企業を第一の選択肢として、物品の調達や委託業務の発注を行っています。

■令和6年度 市内中小企業発注状況

単位：円（税込）

項目	金額	当団体の主な取組事項
物品購入	23,703,705	スポーツ用品、事務用品、衛生用品等
委託	1,140,652,813	施設の維持管理、運動教室指導委託、システム改修等

エ 地元住民の雇用

私たちは、地域に根差した親しみのある施設運営を行うために、近隣地域在住の方を積極的に採用します。地域のことは地元住民がよく知っているため、近隣の入浴施設の場所などの何気ない利用者からの質問にも即座に答えることができます。地域に愛着のある地元住民がスタッフとして働くことにより、施設への愛着が芽生え、より良い施設運営につながっていきます。

管理運営経費

4. 指定管理料の額

ア 指定管理料と5年間の収支予算

当団体は、これまでの施設管理の実績をベースに経費を算出し、施設の老朽化によって設備メンテナンスや修繕、備品更新などの上昇する維持管理コストに対応するため、収入増加策による収入増加見込みを充当し、適切な金額を指定管理料として設定しています。

【税込】単位：千円

指定管理料	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	29,117	29,117	29,117	29,117	29,117

5年間の指定管理料総額：145,585千円

■ 5年間（令和9～13年度）の収支予算

【税込】単位：円

【税込】単位：円	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	合計
①指定管理事業収入	43,285,000	43,387,000	43,489,000	43,593,000	43,698,000	217,452,000
指定管理料	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000	145,585,000
利用料金収入	8,103,000	8,185,000	8,267,000	8,350,000	8,434,000	41,339,000
文化系教室事業収入	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
スポーツ教室事業収入	5,965,000	5,985,000	6,005,000	6,026,000	6,047,000	30,028,000
②指定管理事業支出	49,022,000	49,219,000	49,418,000	49,621,000	49,827,000	247,107,000
人件費・賃金	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000	92,110,000
修繕費	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	16,500,000
設備管理費・保安警備費	5,907,000	5,517,000	5,517,000	5,517,000	5,517,000	27,975,000
備品購入費・消耗品費	1,450,000	1,478,000	1,507,000	1,537,000	1,567,000	7,539,000
外構・植栽管理費	1,099,000	1,099,000	1,099,000	1,099,000	1,099,000	5,495,000
廃棄物処理費	385,000	385,000	385,000	385,000	385,000	1,925,000
広報費・印刷製本費	366,000	366,000	366,000	366,000	366,000	1,830,000
光熱水費・燃料費	4,596,000	4,644,000	4,692,000	4,740,000	4,789,000	23,461,000
保険料	230,000	233,000	236,000	239,000	242,000	1,180,000
使用料・賃借料	1,639,000	1,639,000	1,639,000	1,639,000	1,639,000	8,195,000
謝金・委託料	5,509,000	5,986,000	6,074,000	6,164,000	6,256,000	29,989,000
その他	3,379,000	3,384,000	3,390,000	3,395,000	3,401,000	16,949,000
間接事務費	2,740,000	2,766,000	2,791,000	2,818,000	2,844,000	13,959,000
③指定管理事業収支差額①-②	-5,737,000	-5,832,000	-5,929,000	-6,028,000	-6,129,000	-29,655,000
④自主事業収入	9,031,000	9,142,000	9,256,000	9,372,000	9,490,000	46,291,000
⑤自主事業による経費	3,294,000	3,310,000	3,327,000	3,344,000	3,361,000	16,636,000
自主事業収支差額④-⑤	5,737,000	5,832,000	5,929,000	6,028,000	6,129,000	29,655,000
全体収支差額③+⑥	0	0	0	0	0	0
指定管理事業収入	43,285,000	43,387,000	43,489,000	43,593,000	43,698,000	217,452,000
自主事業収入	9,031,000	9,142,000	9,256,000	9,372,000	9,490,000	46,291,000
全体収入	52,316,000	52,529,000	52,745,000	52,965,000	53,188,000	263,743,000
指定管理事業支出	49,022,000	49,219,000	49,418,000	49,621,000	49,827,000	247,107,000
自主事業による経費	3,294,000	3,310,000	3,327,000	3,344,000	3,361,000	16,636,000
全体支出	52,316,000	52,529,000	52,745,000	52,965,000	53,188,000	263,743,000

管理運営経費

イ 予算を実現させるための実効性のある経費縮減方法

■ 横浜市内管理施設のスケールメリットを活かします

● 消耗品一括購入

当団体では、コピー用紙などの事務用品やトイレトーパーなどの衛生用品に関して、横浜市内の各管理施設における年間使用数量を予め把握し、競争入札による一括発注を行うことによってスケールメリットを活かした経費縮減を実現しています。

● 電力の入札

光熱水費は管理運営費用のうち 5%～10%と多くを占めており、少しでも安い単価で契約する必要があります。当団体では、電力の自由化以降、管理施設において競争入札によって調達業者を選定してきました。管理施設をまとめて契約することにより単価が抑えられ、経費の縮減を実現しています。なお、ガスに関しては、社会情勢を見極めながら入札を検討します。

● その他の一括契約

傷害保険や現金集配業務委託など、市内の管理施設をまとめ、競争入札による一括契約によって経費の縮減に取り組んでいます。

■ 効率的な人員配置

私たちは、長年にわたる管理運営の経験から、窓口が混雑する時間帯には窓口対応やその周辺での作業を行い、利用者が比較的少ない時間帯に施設内・外の清掃を行うなど、無理なく無駄を省いた効率的な人員配置により、効率的に業務を行い人件費を抑制しています。



職員による清掃作業

■ ICT の導入

当団体で使用している業務管理ツールでは、文書管理や経理業務をシステム上で運用しており、業務の効率化とともにペーパーレス化を推進しています。また、定期教室の申し込みについて、往復はがきを廃止して、インターネットと館内で申し込みができるシステムを導入することにより、参加者の往復はがき代の削減と業務の効率化を促進します。

施設管理

1. メンテナンスおよび環境保持・環境配慮について

1970 年 11 月に開館した平沼記念体育館は、開設から 56 年間の経過しているため、施設の老朽化による影響を事前に把握して、適切に対処することで、日々の安全安心と施設の長寿命化を図ることが重要です。

当団体は第 3 期指定管理期間の 2016 年から、**施設管理のエキスパートである鹿島建物総合管理株式会社を協力会社**に迎え、メンテナンス体制を構築して 10 年以上に亘って平沼記念体育館の維持管理を適切に行っています。

当団体は、設備や機械が故障する前に、計画的・定期的な点検と部品交換によって故障やトラブルを未然に防ぐ「**予防保全**」の考えをモットーに、今後も平沼記念体育館の設備を熟知した協力会社とともに、長寿命化、ライフサイクルコストの削減に貢献します。

【予防保全の実績】 体育室照明器具落下防止のためのネット設置工事実施

2016 年に当団体が経費を負担して体育室の照明更新工事を実施しました。

しかし、その後に数回、照明器具を防御する金属の一部が床に落下したことが確認されました。

落下は、ボールが照明器具に当たることで起こることが判明したため、**安全確保を目的に照明器具を覆うネットを 2025 年 9 月に設置**しました。工事は、当団体が約 310 万円の工事費を全額負担して実施しました。



(左) 工事前

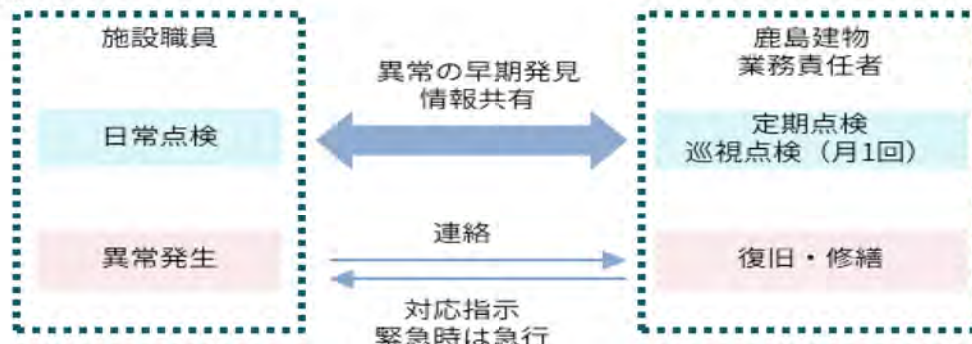


(右) ネット設置

ア 協力会社と連携したメンテナンス体制

■ 安全を維持するためのメンテナンス体制

当団体は、日常の定期点検による目視での確認に加え、協力会社から専門知識を有した業務責任者を設置して、毎月 1 回の巡視点検を実施しているほか、設備点検など施設の維持管理全般を監修しています。万が一、設備に不具合が発生した際には、施設職員と連携して迅速かつ適切に対応します。



施設管理

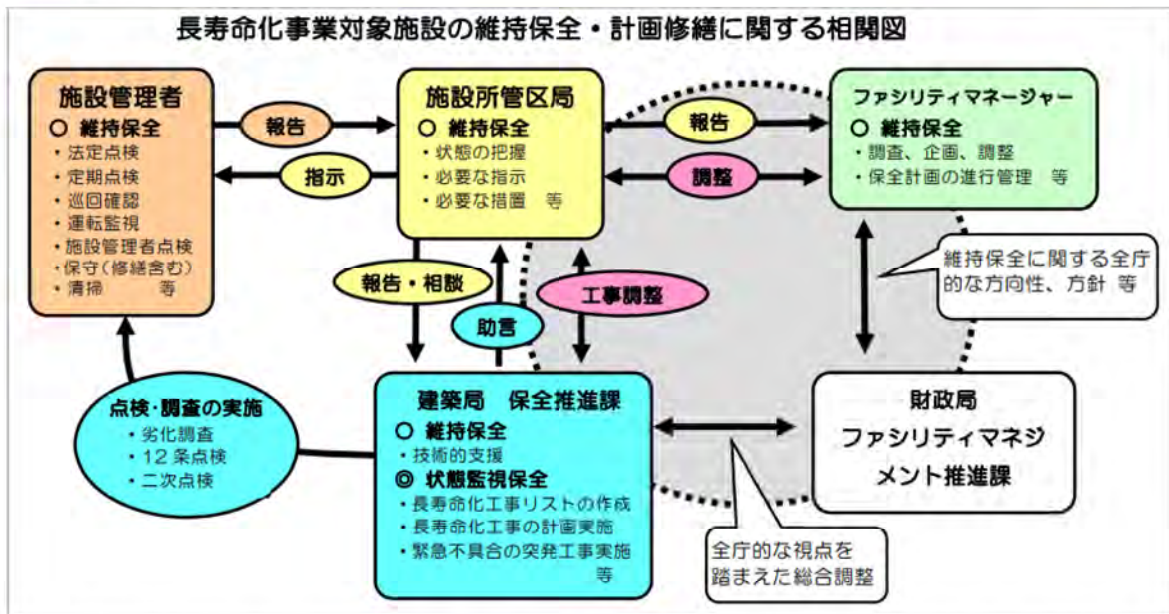
■ 独自ノウハウが蓄積された施設管理支援システム

建築設備について、目視の現場確認の他に協力会社の独自のノウハウを集積した施設管理支援システム（CAFM）を導入します。保守を適切に講ずることにより事故・故障等を未然に防止します。運転監視業務は、所長が業務担当責任者として監理監督業務を行い、鹿島建物総合管理の業務責任者が点検・記録管理のデータ分析し、実施します。



■ 施設の維持保全・修繕実施への適正な取り組み

当団体は、『当団体の建築物維持管理基本マニュアル』を用いて着実に施設の維持保全を実施する体制を整えています。また、設備機器管理業務にあたっては、国土交通省監修「建築保全業務共通仕様書」を規範とし、横浜市建築局策定の「維持保全の手引き」及び「施設点検マニュアル」に基づいて実施します。

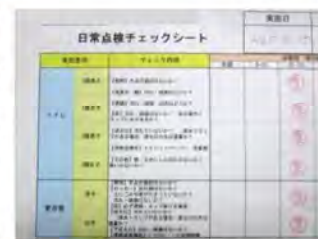


「維持保全の手引き」2025年4月策定 財政局ファシリティマネジメント推進課 建築局保全推進課から引用

イ 確実な点検計画の履行（日常点検・定期点検）

■ 1日6回の日常巡視点検

快適なスポーツ環境を保つために、職員による設備管理・清掃・警備全般の日常点検を徹底します。体育室や更衣室などの巡回・点検について、**開館・閉館時と日中4回の合計6回実施**し、異常の有無を「日常点検チェックシート」に記録します。また、体育室の利用団体の入れ替え時のセッティングで入室する際にも、職員が目視により異常の有無を確認します。異常を発見した場合は、応急処置を速やかに行ったうえで、お客様や近隣住民の方の安全を確保します。



日常点検チェックシート

施設管理

定期点検・自主点検の実施

各設備の法定点検は、年1回以上運転中の機器を停止し、外観・機能点検、機器動作特性試験、整備業務を行います。定期点検は、建物・設備の性能評価をするために、法定点検の他に自主点検を行います。作業開始にあたり「作業工程」「安全作業」「コンプライアンス」を確認し、作業終了後は「実施状況」「不具合」「安全上の問題」を確認し、報告・記録します。

また、経年劣化が見られる施設や設備に異常が予想される場合は、横浜市に早めに相談します。

【定期点検計画】

項 目	内 容	頻度・回数	数量
1 建物保守管理業務			
建物巡視点検	巡視点検	12回/年	1式
2 設備機器定期点検業務			
1) 電気設備			
自家用電気工作物	電気事業法等に基づく自家用電気工作物の年次点検および月次点検	12ヶ月	1式
自家発模擬負荷試験	模擬負荷試験の実施	1回/年	1式
2) 給排水衛生設備			
レジオネラ属菌検査	横浜市レジオネラ症防止指針及びレジオネラ症を防止するための技術的管理指針に基づく検体チェック	1回/年	1検体
給湯器	サーモスタットの設定範囲での作動確認、逃がし弁（安全弁）の水漏れ・破損の有無	12回/年	1台
ポンプ設備	運転状況の点検、外観目視点検	12回/年	3台
雑排水槽	槽、ポンプピットの清掃、付属装置の動作確認	2回/年	1槽
冷水器	外観目視点検、運転状況の確認	12回/年	3台
3) 空調設備			
空冷ヒートポンプエアコン	運転状況の点検、外観目視点検	12回/年	外機×3 内機×4
ルームエアコン	運転状況の点検、外観目視点検	12回/年	外機×9 内機×9
エアーカーテン	運転状況の点検、外観目視点検	12回/年	4台
送風機・排風機	運転状況の点検、外観目視点検	12回/年	22台
フィルター清掃	真空掃除機による吸塵、又は水洗いによる洗浄	4回/年	13台
フロン排出抑制法に基づく簡易点検	フロン排出抑制法に基づく簡易点検	4回/年	1式
4) 防災設備			
消防設備点検	機器、機器・総合点検	2回/年	1式
5) その他設備			
自動ドア	外観目視点検、エンジン装置の点検及び調整、ベルトの点検、吊り車の増締め、センサー・スイッチの確認、ドアの開閉状況の確認	4回/年	1台
害虫防除	害虫防除措置（ホール、体育室、トレーニング室以外）	4回/年	1式
建物劣化診断	建物・設備機器の総合的な劣化診断・調査及び報告	1回/5年	1式
高所作業台	運転状況の確認、動作確認、各種装置の点検	1回/年	1基

ウ 日常的な保守

体育器具の安全点検

体育室設置の体育室床面等は、製造メーカーへの点検委託による安全確認を行い、お客様が安心して使用できるようにします。また、フットサルゴール、ハンドボールゴール、バドミントンやバレーボールの支柱、卓球台などの体育器具についても、職員が日常的な器具のセッティングの際に点検し、異常を早期発見することで安全を確保します。



バレーボールなどの支柱や
体育室床受箇所点検

施設管理

■ 雨漏りの早期発見 新規

公共施設の長寿命化を図るため、**雨漏りの早期発見に有効なサーモカメラを導入**します。非破壊で内部の異常を可視化でき、雨漏りに起因するお客様の転倒事故を未然に防ぐことができます。また、点検精度の向上と修繕費の抑制が期待されます。定期点検に活用し、効率的な維持管理体制を構築します。



サーモカメラによる点検

■ 備品管理データベースの活用

横浜市民の財産である備品を安全に使用し続けるために、当団体では全ての備品（品名・購入年月）をデータベース化した独自の備品管理アプリを活用しています。

これにより、備品管理の正確性と、管理の手間を大幅に省力化します。

なお、令和5年に備品と消耗品の価格の区分基準が改定された際には、施設の所管である市役所に確認し、適切に備品台帳を更新しています。

また、新規追加や廃棄の際は横浜市に報告するほか、1年に1回以上のたな卸しを行い、在庫管理等を適切に行います。



備品にはシールを貼付し台帳と合致

エ 清潔な施設を保つ清掃計画

■ 定期清掃・特別清掃

日常清掃では対応できない床のワックス塗布や高所での窓拭きなどは、設備維持協力会社の鹿島建物総合管理株式会社に委託し、毎月一度の施設点検日に実施します。

また、市民大会などが行われ、ロビーや更衣室、観覧席などの汚れが激しい場合には、状況に応じて特別に清掃を実施します。

【定期清掃業務】

項 目	内 容	頻度・回数	数量
清掃業務			
床面（洗浄）	洗浄（モルタル等）：除塵し、モップかけを行う	12回/年	182.0㎡
〃		10回/年	130.0㎡
〃		10回/年	546.0㎡
〃		4回/年	324.0㎡
床面（洗浄・ワックス）	洗浄・ワックス（タイル部等）：除塵し、ポリッシャー掛けし、ワックスかけを行う	12回/年	247.5㎡
〃		2回/年	546.0㎡
〃		2回/年	345.0㎡
ガラス、鏡	洗剤にて汚れを落とし、水切りして拭き取る	2回/年	231.5㎡
〃（玄関部分）	洗剤にて汚れを落とし、水切りして拭き取る	4回/年	22.5㎡
シャワー室壁面	壁面の汚れ、床面や排水溝のゴミの除去を行う。また、年2回シャワーヘッドの分解清掃を実施する。	12回/年	105.0㎡
トイレ壁面	清掃	4回/年	200.0㎡
網戸	水洗い又は除塵を行う。	1回/年	58枚
換気扇・ガラリ	付着したホコリ等を除去し、適性な換気能力を維持する	1回/年	30台
側溝・柵	洗剤等で汚れを取り除き、水切りをし拭き取りを行う。	2回/年	29.5㎡
玄関前石段	清掃	1回/5年	29.5㎡

施設管理

項目	内容
衛生環境への最大限配慮	<p>更衣室やシャワー室、トイレなど、特に衛生面で配慮すべき水周り清掃について強化します。</p> <p>床面や壁面、便器等に汚れが目視できなくとも、必ずモップ掛けやブラシを使つての汚れ落としを行うことで、常に良好な衛生環境を保持します。</p> <p>日常清掃は丁寧に心を込めて毎日実施</p>
予防清掃の徹底	<p>建物や体育室などの出入口には、防塵マットを置き、汚れやほこりの流入防止、汚損の防止やフロアの長寿命化を図ります。</p> <p>玄関から赤いマットを引く → 傘の滴による滑り防止 高級感</p> 
体育室・研修室の清掃	<p>体育室等のフローリングは、床材の劣化によるささくれが原因の事故を未然に防ぐため、乾燥モップによる粉塵除去を原則とします。お客様にも、使用後のモップ掛けをお願いするようにします。靴跡等の汚れが発見された場合は、専用クリーナーを用いて除去します。</p> <p>なお、全体育室床のウレタン塗装を実施し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。</p> <p>体育室床ウレタン塗装</p> 

■ 快適な空間を維持するための日常清掃

当団体は、利用者に清潔で快適な空間を提供するためには、日々の清掃こそが最も重要な要素であると考え、美観の維持に努めています。ごみの持ち帰りなど利用者にもご協力いただいた結果、平沼記念体育館の清掃状況に関する満足度調査にて、**毎年度 90%以上のお客様に「満足」の評価**をいただいています。

オ 美観を保つ外構・植栽計画

■ 施設周囲を含めた外構・植栽管理

外構はお客様や近隣住民の方の安全を第一に考え、1日2回以上点検します。特に落葉の時期には、平沼記念体育館周辺の歩道・公道に枯れ葉が散乱しないよう清掃します。点検や清掃の結果は、日常点検チェックシートに記録します。

■ 近隣住民に配慮した樹木剪定等の専門作業

施設の景観を保持するため、植栽の種類に応じて次に示すような敷地内の植栽の管理（落ち葉清掃、除草・草刈、中低木管理（4m以下）を行います。

高木管理は、電線への障害排除、周辺環境の安全整備のために、**指定管理期間内に2回以上剪定**します。第5期指定管理期間では、令和9年度と11年度に実施予定です。

樹木剪定後の処理



施設管理

作業は事前に近隣住民の方に作業内容や日程をお知らせし、お客様や歩行者の動線確保など、安全第一の作業を心がけます。

■植栽管理業務

項 目	内 容	頻度・回数	数量
植栽管理業務			
中木剪定	枝つめ・枝すかしを行って、樹木の通風・陽光を良くする。	1回/年	20本
中低木刈込	また、樹木の基本の形を整えるように余分な枝を取り除く。	2回/年	600㎡
除草	機械または人力で除草する	2回/年	3,300㎡ (1,100㎡×3回)
薬剤散布	ケムシ・アブラムシ等の樹木への寄生虫防除を実施	2回/年	1式
施肥	樹木にあった肥料を適期に与える	1回/年	1式
落葉清掃	敷地内の落葉を回収する。	2回/年	1式

【安全な植栽管理の実績】 横浜市と協働して行った高木剪定

施設敷地内には、開館時の55年前に植樹された49本の高木があり、桜の木の老朽化や幹周が3m、電柱よりも高い10m以上の大木になっているなどの課題がありました。

そこで、横浜市と相談をして**大規模な伐採（電柱の高さに剪定）**を令和7年度に19本、令和8年度に4本行いました。**（合計23本）**

当施設は、横浜市民病院、三ツ沢総合公園道路を挟んで隣接していますので、今後も木々が倒れることで多くの方々の生活に影響を及ぼす危険性を少なくするため、**大木を剪定して、小型化する活動を継続**していきます。



高木剪定(前)

高木剪定(後)

カ 施設の維持保全・保守点検の予算

■主な委託業務計画と金額

単位：円（税込）

委託する業務項目	業務内容	発注先	概算金額
建物保守管理業務	保守管理計画に基づく点検等	協力会社	1,100,000
設備定期点検業務	建物巡視点検計画に基づく点検等	協力会社	1,114,000
清掃業務	床面、ガラス面、シャワー室壁面等	協力会社	2,142,000
保安警備業務	夜間警備等	協力会社	790,000
植栽管理業務	剪定、除草、刈込、中高木剪定、薬剤散布	市内造園業者	1,000,000
現金集配金業務	現金入金機保守、集配金業務	設置・集配業者	548,000

※金額については、実際の業務仕様に基いて入札もしくは見積徴収を行うため変更する場合があります。

施設管理

キ 環境保持・環境へ配慮した取り組み

Zero Carbon Yokohama の推進

横浜市では、新たな 2030 年度温室効果ガス排出削減目標の達成や 2050 年の脱炭素化の実現に向けて横浜市地球温暖化対策実行計画を策定し、「2050 年の横浜の将来像」Zero Carbon Yokohama～2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成し、持続可能な大都市を実現する～を掲げ、取り組んでいます。

当団体は、横浜市の地球温暖化対策に貢献するために、「**横浜市脱炭素取組宣言**」を行い、身近な行動から脱炭素を推進しています。平沼記念体育館の利用者にもご協力いただき、こまめな消灯や温度調節、シャワーの節水管理など節電や節水を徹底します。

また、猛暑時に市民が涼める「クールシェアスポット」として施設を開放し、地域全体のエネルギー消費抑制に貢献しています。

【省エネの取り組み例】



ごみ排出量削減の取組 ～スポーツ用品のリユース～

横浜市の「ヨコハマ プラ 5.3 計画」を推進するため、ごみの持ち帰りをお客様にご協力をいただくなど、廃棄物削減に努めます。事務処理等でも排出されるごみ量を減らすために、裏紙を使つての再生利用を行います。また、産業廃棄物は、市内処理業者と契約し、廃棄物処理法に基づく廃棄物管理表（マニフェスト）を交付し、横浜市ごみ分別回収ルールに従って処分します。

ご家庭で不要になったスポーツ用品を受け入れ、希望者に提供することにより、資源の有効活用とごみの減量を図ります。また、不要なタオルなどを回収し、施設の掃除に役立てたり、再生が可能なものを最大限に生かした方法で再利用を図ります。



協力会社によるエネルギー消費量のモニタリング

協力会社が発行しているエナジーレターにより、年間の一次エネルギー消費量をモニタリングして、省エネの取組に繋がっています。

エナジーレターには、協力会社が日本各地で管理している施設と消費量を比較して、さらなる省エネ対策が可能なかの検討材料とします。

施設管理

2. 修繕等への取り組み

当団体は、協力会社とのメンテナンス体制に基づく計画的な点検と**早期の修繕による「予防保全」**を基本とし、ライフサイクルコストの低減に取り組み、施設の劣化の抑制と性能の維持を図り長寿命化につなげます。施設・設備の状況を的確に把握し、中長期的な計画を基に年間及び月次での計画を策定し、修繕に取り組みます。

ア 維持管理業務から修繕にいたるフロー

■ 協力会社と連携した迅速な修繕対応

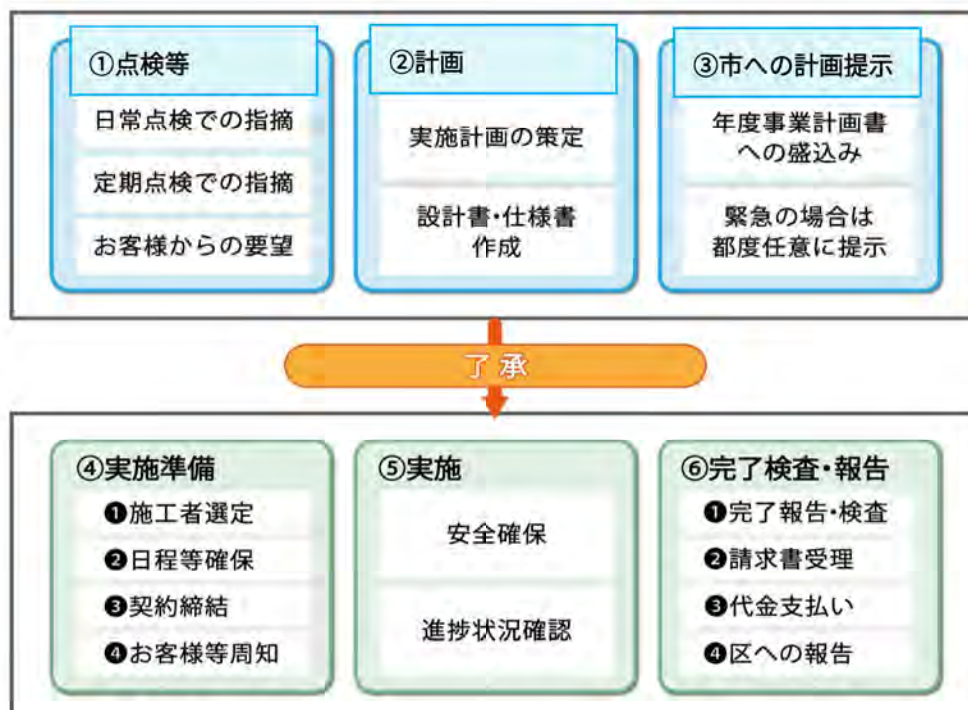
開館時に故障等が発生した場合、施設職員が一時対応を行います。現場での解決が困難な場合には、速やかに協力会社の業務責任者もしくは保全コールセンターへ連絡し、専門的な見地からの的確なアドバイスを得て早期復旧に努めます。

一時対応で復旧した場合においても、協力会社と情報を共有し、適切に修繕計画を更新し、施設の保全に取り組みます。

緊急時には協力会社の専門スタッフが急行し、お客様への影響を最小限に留めます。

■ 修繕の基本的な進め方

当団体は、日常点検、定期点検やお客様の要望を基に、修繕対象をリストアップし、実施計画を策定しています。その中から優先度を判断し、修繕を実施します。



施設管理

イ 第 5 期指定管理の修繕計画と修繕費予算

■ 収益を修繕費に投入

当団体は、第 4 期指定管理期間に策定した修繕計画を引き続き活用し、第 5 期の修繕計画を策定しました。主な修繕内容は以下の通りです。

なお、当該年度における黒字が予想される場合には、**収益の一部を修繕に投下し、業務の基準で定めた金額（300 万円／消費税別）を上回る修繕を実施**して長寿命化に貢献します。

【修繕計画】

年度	主な修繕内容（案）
令和 9 年度	駐車場精算機（キャッシュレス対応）に更新
令和 10 年度	防犯カメラの更新
令和 11 年度	体育室床面の補修及びウレタン塗装
令和 12 年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕
令和 13 年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕

【快適な設備への修繕の実績】 トイレの洋式化・温水シャワー便座化

平沼記念体育館の全トイレの便器を和式から温水シャワー便座の洋式に更新しました。

令和 6 年 11 月までは一部和式トイレがありましたが、全トイレの洋式化を実施しました。

令和 7 年 3 月に全トイレの便座を温水シャワー便座に交換して、さらに快適に利用できるように改修しました。



（左）工事前（和式） （右）工事後（洋式）

■ 劣化診断に基づく修繕計画の策定

当団体は、平沼記念体育館の長寿命化と安全を確保するために、協力会社による劣化診断を第 5 期指定管理期間の初年度（2027 年度）に実施し、前回の劣化診断と比較しながら、適切に 5 年間の修繕計画を策定します。5 か年・年間の修繕計画から、年間 330 万円（税込）以上の修繕を実施します。

なお、大規模な営繕が必要と判断される案件が発生した場合には、速やかに横浜市へ報告し、修繕や更新を積極的に提案して、いつまでも安全に利用される施設を提供します。

施設管理

ウ 「横浜市公共施設等総合管理計画」の長寿命化に協力 ～竣工 100 年を目指して～

横浜市は、2022 年 12 月に、「横浜市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の長寿命化を基本とした計画的かつ効果的な保全や更新等に取り組みながら、公共建築物の目標耐用年数を築 70 年以上にすることを設定しました。

当施設が 70 年に到達するのは、15 年後の 2040 年、設立 100 年は 2070 年になります。

当団体は、施設設備の老朽化に対して独自に実施する劣化診断を行い、横浜市に迅速に情報共有を図るとともに、当団体で可能な範囲で修繕等の措置をとり、長寿命化に協力していきます。

■ 「安全・安心」と「快適性・利便性」の視線で横浜市へ情報提供

● トイレやシャワー等の水回り設備の経年劣化

トイレやシャワーの污水配管は、年に 1 回、高圧をかけて洗浄をしていますが、配管の平均的な寿命が 40-80 年間(厚生労働省による実使用年数に基づく更新基準)のことから、配管破損による水漏れなどの危険性が高くなっています。

また、老朽化した配管や便器、細かい目のタイル床からの悪臭があり、清潔感や衛生的に課題があります。

当団体は、日常の清掃を強化するとともに、配管の水漏れ等を定期的にチェックして、異常を感じた場合は適切な修繕及び横浜市への情報提供に努めます。



経年劣化した配管

国土交通省ホームページ「下水道の維持管理」から引用

● 体育室の冷暖房空調設備が未設置による危険性の情報提供

平沼記念体育館の体育室は、冷房空調設備が未設置ですので、温度と湿度が高い環境下で熱中症の発症する危険性が高くなっています。

その対策として、令和 6 年度から「大型気化式冷風扇風機」4 台をレンタル導入しています。

また、引き続き「黒球式熱中症指数計」を設置して、「熱中症指数」「温度」「湿度」の記録を行い、安全情報を把握して、横浜市に今後の施設改修の参考資料として提供します。



「黒球式熱中症指数計」を設置済

平沼記念体育館体育室温度記録表 2025年6月19日～9月15日						
日付／時間	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00
6月19日	27.0	27.0	26.6	26.9	27.5	26.7
6月20日	26.5	26.2	26.0	26.3	27.3	27.0
6月21日	25.6	25.9	26.2	26.6	26.5	26.1
6月22日	25.5	26.8	27.1	27.8	27.6	26.9
6月23日	25.9	26.1	26.3	26.4	26.6	26.6
6月24日	25.9	26.3	26.1	26.2	26.1	26.6
6月25日	25.6	25.7	25.8	25.9	25.9	26.1
6月26日	25.5	25.6	25.9	26.2	26.3	26.2
6月27日	25.3	25.6	25.6	26.6	26.8	26.9
6月28日	25.9	26.0	26.4	26.7	27.1	26.9
6月29日	26.3	26.8	26.8	27.1	27.1	27.0
6月30日	26.2	26.6	27.0	27.4	27.4	26.8
7月1日	26.6	27.1	27.1	27.6	27.2	27.0

夏季（2025 年 6 月 19 日～9 月 15 日）の体育室の温度等の環境測定を実施



「大型冷風式扇風機」を設置済

施設管理**● 施設内の天井・床・壁のシミや破損などの老朽化の情報提供**

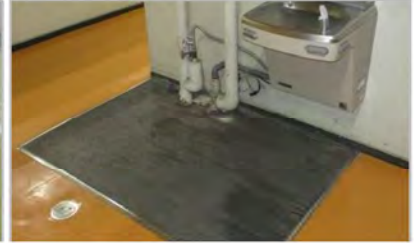
開館から 56 年間が経過する施設内は、老朽化による天井・壁・床にシミや汚れが見られ、景観を損ねています。

今後、それらが剥がれや破損等の事故にも繋がる危険性があるため、日常のチェックを強化して、事故防止に努めます。

また、床については、衛生的にも美観的にも、ほこりが付きにくい清掃しやすい素材への貼り替えを横浜市に相談します。



階段付近の床壁の劣化



ウォーターサーバー下の劣化した床

安全管理について

1. 安全・安心にご利用いただくための平常時の体制

当団体は、「横浜市指定管理者制度ガイドライン(第18版)」に基づき、公の施設の管理者としての責任を自覚し、**職員一人ひとりが日常及び定期点検で早期発見と早期対応を行い、事故を未然に防ぐ**ように徹底します。

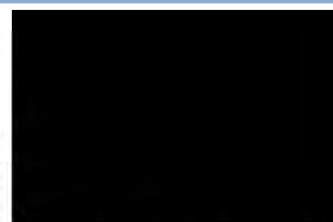
また、平常時から災害等が発生した場合に備え、「**災害対応マニュアル**」「**訓練**」を通して**対応力を磨き、緊急時に人命救助を最優先としながら、被害を最小限度に抑える**ために万全に準備します。

ア 施設特性を反映した安全利用の確保

■ 利用に応じた安全管理

● 団体利用 - 器具の設営サポート

安全管理上、スタッフが大型器具をフロアまで出して、お客様へ引き渡します。事故の防止とともに、スタッフが行うことで、器具の異変にいち早く気付くことができます。初めてご利用になるお客様には、器具の取り扱いを丁寧に説明し、一緒に準備を行い、事故防止に努めます。



大型器具は職員がサポートします

● スポーツ教室事業 - 講師との密な連携

教室講師と職員は、各回の教室準備段階から、床面や器具の破損状態をチェックするとともに、プログラムの事前確認、教室終了後の振り返りを行うことで活動内容・安全管理について確認します。また、体育室には、運動前後に体調確認ができるチェック表を掲示します。ロビーには健康チェックコーナーを設け、血圧などを計測できるようにします。



講師との綿密な打ち合わせ

● 託児サービスの安全確保

お預かりしているお子様の事故防止や安全を確保するために、保育士資格を持つ保育ボランティアを配置し、毎回「保育カード」によりお子様の状況を把握します。なお、監視カメラによる記録や職員巡視により安心してご利用いただける環境をつくります。



保育カード

■ スポーツ器具等の安全管理

● 体育室床面の日常点検

当団体は、「体育館の床面の剥離による負傷事故の防止について(通知)」：文部科学省・スポーツ庁)に基づき、これまで同様、適切な清掃(水拭き及びワックスがけをしない)を実施するとともに、朝の清掃時に合わせて体育室等の床面点検を実施し、点検簿に記載しています。

安全管理について



床不良の一例 - ダボ浮き

ダボ浮きが発生した場合、専門業者に連絡し応急措置を実施します。利用を妨げることなく円滑な運営を実現します。

● スポーツ用具等の日常点検

団体利用や個人利用で使用するスポーツ用具は、休館日に器具の不具合等を点検するとともに、利用区分ごとの準備（セッティング）において、用具に不具合がないか確認し、お客様に安全にご利用いただきます。



バドミントン支柱の点検

● 大型器具等の定期点検（年 1 回）

大型の器具は、当団体が年 1 回の点検を行い、必要に応じて専門業社への点検修理を実施します。

器具	点検内容
フットサルゴール	ボルト・ナットの緩み、破損、変形等の確認
ハンドボールゴール	ボルト・ナットの緩み、破損、変形等の確認
卓球台 演台	可動チェック、ボルト・ビス等の増し締め確認

■ 建物や設備機器等の安全管理

● 日常点検による安全管理

建物や設備機器等は「日常点検チェックシート」に基づき、毎日の日常点検や月 1 回の定期点検を通して安全性を確認します。



日常点検チェックシート

● バリアフリー化による安全利用の確保

手すりの設置や子どもの自動ドアのぶつかり事故防止テープ、施設の位置や導線を示す案内サイン設置など、高齢者や子ども、障害のあるお客様のご利用の安全性を強化します。

イ 気候変動に適応した安全管理体制

令和 7 年のスポーツ基本法改正（第 14 条）において、スポーツ事故の防止策として「気候の変動への対応」が初めて法文に明記されました。施設管理者として激甚化する**気象災害や熱中症に適切に対応**し、安全なスポーツ環境を提供します。

当団体では、**熱中症アンバサダー**の資格を保有している職員を配置し、予防法や緊急時への対応に備えています。



私たちは
熱中症対策アンバサダーです！

安全管理について

■【予防】警報に即した対応とリスクの可視化

● 熱中症特別警戒アラート

神奈川県で熱中症特別警戒アラートが発令されており、利用者から熱中症の予防を理由としたキャンセルの申し出があった場合はキャンセル料を徴収しません。

● セルフチェック環境の整備

利用者が自らリスクを把握できるよう、諸室に温度計・湿度計を設置し、体調に応じた自主的な休憩や水分補給を促します。

■【環境整備】物理的な暑熱対策

● 冷風扇風機の設置

激しい運動が行われる体育室には、空調設備がついていないため、夏季の期間は、温度上昇を抑制して熱中症予防を行うため、**冷風扇風機を体育室の4角に設置**します。

● 熱中症対策の周知及び対応

当団体は、熱中症の症状、熱中症のなる環境や暑さ指数（WBGT）、熱中症にかかった方または疑われる方の対処方法についてしっかりと知識を持ち、適切な応急処置を行います。

また、お客様に対しても、熱中症を発症しないように、熱中症の怖さと症状、対策について正しい知識を啓発するため、ホームページや館内掲示、直接の呼びかけにより、十分注意するように促します。

熱中症 環境保健マニュアル



● クールシェアスポットとしての利用案内

横浜市が市民の生命を守る観点から実施している「クールシェアスポット」事業に賛同して、市民の皆様が外出時に一時的に暑さをしのぐ場として提供します。

クールシェアスポットとしての施設を活用



■【救護・補償】万全の事後対応体制

● 即応救護キットの常備

受付に「OS-1（経口補水液）」「氷嚢」「冷却シート」を常備し、軽症段階での迅速な応急処置をします。

● 熱中症特約付き保険の加入

教室事業で加入している傷害保険に対して、夏季期間は「熱中症特約」を追加します。これにより熱中症と診断された際にも、補償が適用されます。

安全管理について

■ 大気環境の悪化への対応

光化学スモッグや、微小粒子物質（PM2.5）などの大気汚染に関する警戒情報が発令された場合は、速やかに館内放送や施設内の情報掲示板等を通じてお客様に注意喚起します。なお、警戒情報が発令された後にご来館されるお客様向けに、ホームページ等でも情報を発信します。



施設入口付近の情報掲示板

ウ 保安警備の実施体制

当団体の保安警備体制は、開館時間内はもちろんのこと、閉館後・休館日においても警備会社と連携し、機械警備システムを構築し、24 時間 365 日万全な体制で臨んでいます。

■ 重層的な保安体制

● 職員巡回による安全確保

非常時に迅速で効果的な対応ができるよう、危機管理基本マニュアルを常に確認し、日頃から防犯や防災に関する意識を高めるとともに、**更衣室等の施設巡回・点検を** **実施し**、犯罪等を未然に防ぎます。さらに、比較的利用が少ない時間帯、防犯カメラの視界に入らない更衣室や死角が生まれやすい施設の外は、重点的に巡回します。



巡回時に全ロッカーを点検

● 24 時間監視体制と見せる防犯

平沼記念体育館に設置している防犯カメラは、24 時間 365 日稼働し、映像を保存できるハードディスク内蔵録画機です。犯罪等の抑止や事後確認が可能です。抑止力を一層高めるために、「防犯カメラ作動中」の掲示を多言語で貼り出し、犯罪を未然に防ぐ「見せる防犯」を推進します。



録画機能付き防犯カメラ

第 5 期指定期間中に、防犯カメラの更新とカメラ台数の増設を行います。

● 夜間・休館日の対応（機械警備と夜間巡視）

閉館後及び休館日は、外部からの建物内侵入を阻止するために、機械警備システムを構築し、安全な施設運営を担保します。さらに、閉館後は警備員が巡回し、夜間も人の目による巡視を実施します。

■ 警備内容

項 目	主な仕様
巡回警備	
機械警備	



機械式防犯装置(例)

安全管理について

■ 地域・利用者と共創する「防犯コミュニティ」の形成

● 地域との連携による安全確保

施設外近隣での防犯対策に協力するために、平沼記念体育館を「防犯連絡所」及び「こども 110 番」の各拠点とするほか、施設入口に「警察官立寄所」の旨の PR プレート进行貼付し、犯罪抑止に努めます。また、地域住民や利用者を対象として、普通救命講習会や振り込め詐欺対策講座など、安全や防犯・防災に関わる講習会などを開催します。



PR ステッカー

● 「声掛け・見守り」による「顔が見える関係」の形成

「挨拶と声掛け」を全スタッフが徹底し、利用者との「顔が見える関係」を築くことで、不審者が入り込みにくい心理的抑止力を高めます。スタッフが能動的に動く姿を見せることで、利用者からも「おかしい挙動」を気軽にスタッフへ共有いただける「双方向の見守り文化」を醸成し、施設全体で犯罪を防ぐ空気感を作ります。

● 国の指針に即した啓発 - 「NO! スポハラ」

スポーツ庁、日本オリンピック委員会 (JOC)、日本スポーツ協会 (JSPO) などが連携し、「スポーツの価値を棄損する悪質な性的羞恥心を煽る写真・動画の撮影や SNS 投稿」や「スポーツに関するハラスメント」を撲滅するための取り組みを行っています。

その趣旨に賛同し、**館内に予防を促すポスターの掲示や許可なき撮影行為に対する声掛けを行い、盗撮やハラスメント行為を起こさない雰囲気**を醸成します。



スポハラ啓発ポスター

エ 横浜市にぎわいスポーツ文化局等への連絡体制の確立

事件・事故が発生した場合は、横浜市にぎわいスポーツ文化局及び当団体本部に一報を入れるとともに報告書を送付します。

■ 事件・事故発生後の報告連絡

危機発生報告書、事故報告書、設備事故・故障報告書等の各報告は、事故が起きた要因を分析し、再発防止に備えた対策を講じます。

この報告は、当団体が管理する他施設においても同様の事故が起こらないよう情報を共有します。

● 専用メールアドレスを設定

市との連絡用に複数の施設職員で確認することのできる専用メールアドレスを設定します。双方が迅速に連絡をとれる体制を整えます。



事故報告書

安全管理について

オ 救急事態にも万全な有資格者配置と研修体制

当団体は、これまで多くのスポーツ施設の管理運営を通じて、安全対策を行ってきました。第5期指定管理においても、引き続き救命の資格取得、研修を実施することで、お客様への安全・安心を支えます。

当団体職員が表彰されました

■ 急病人が発生した場合の救命体制

平沼記念体育館配属の館長は、横浜市消防局が認定する「**応急手当普及員**」の資格を取得します。他の常勤職員は、普通救命講習を受講して、自らが応急手当を実践できます。

さらに当団体は、普通救命講習の指導者を養成するなど、応急手当の実践者を育てます。

● 平沼記念体育館業務に係る全スタッフへの研修徹底

アルバイトスタッフ及び外部講師には、資格保有者による**定期的な救命講習会を実施**し、AED 操作、CPR 動作の訓練をします。

また、委託先スタッフには、契約時に社内研修等での AED 訓練実績を書面で確認し、安全を確保するための体制を維持します。

心肺蘇生法・AED地域指導者職員研修

心肺蘇生法・AED職員研修

2. 緊急時に即応した危機管理体制の構築

ア 緊急時の体制と対応

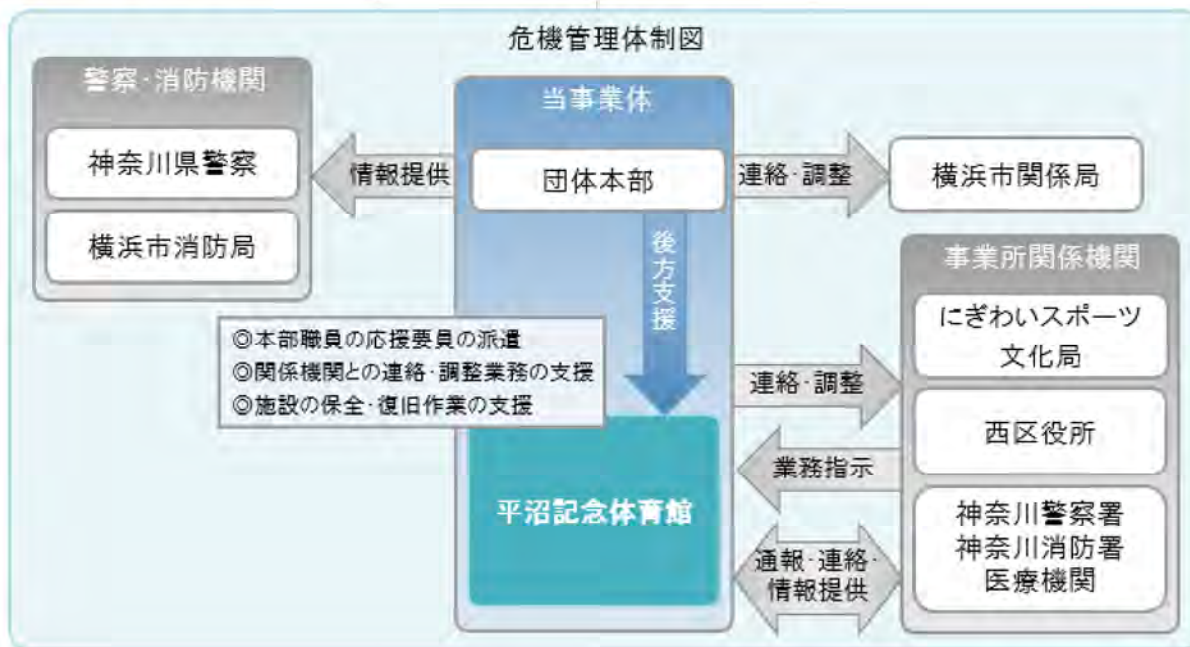
緊急時において迅速かつ効果的な対応を行うため、危機管理担当者を館長とし、当団体本部とともに危機管理体制を構築します。

また、神奈川警察署や神奈川消防署、近隣の医療機関と緊急・救急ネットワーク体制を構築し、職員の緊急時対応能力を高品質に維持することで、当館を安全な施設として保っていきます。

■ 災害発生時の組織体制

災害が発生し、施設に重大な被害が生じた場合、若しくは生じる恐れのある場合、当団体本部に災害対策本部を設置するとともに、お客様の安全の確保に向けて迅速かつ的確に行動し、西区災害対策本部と連携します。

安全管理について



災害時の明確な指揮命令系統の確立（現場の対応体制）

災害時の万全な対応を可能とするために、平沼記念体育館の消防計画を策定し、所長を隊長とする自衛消防隊を組織します。

災害対策体制は、外部講師や託児サービス従事者を含めて構築し、**お客様の安全確保を最優先した円滑かつ的確な意思伝達**が図られるように、避難誘導を行います。

■日々のシフトに応じた防災担当の編成

勤務する人員に応じて、前日の夜には翌営業日の自衛消防隊を編成します。



緊急時に備えたマニュアルの整備

当団体は、危機発生時の組織間の調整・支援機能など、団体全体の緊急体制を整備することを目的に策定した「危機管理基本マニュアル」に基づき、緊急・救急体制を構築しています。当マニュアルは、社内イントラネット上で職員誰もが閲覧できます。

さらに、平沼記念体育館独自の「災害対応マニュアル」を整備し、日頃からマニュアルに基づいた安全第一を主とした行動を心がけます。

安全管理について

イ 災害を想定した実践的な準備

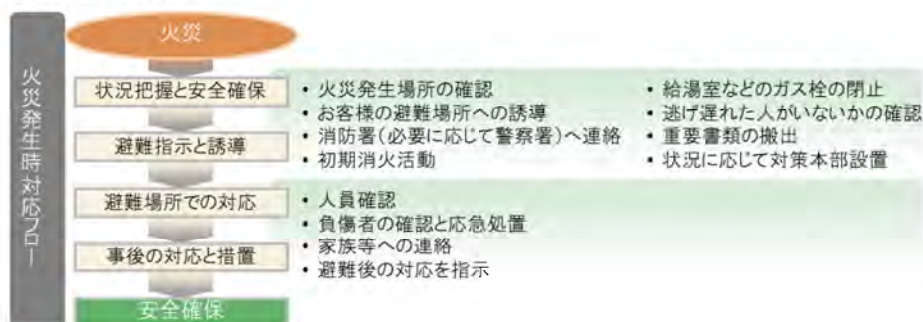
日本では毎年のように人的被害が発生するような大地震が起きており、東日本大震災と同じような大地震がいつ起きてもおかしくありません。当団体は、横浜市防災計画に基づき、震災、風水害、土砂崩れ等に対応した準備を進め、あらゆる災害対策を講じます。災害時の被害を最小限にするため、「自助」「共助」の考え方に基づく減災行動を推進します。

■ 地震・火災発生時の行動計画と連絡方法の確立

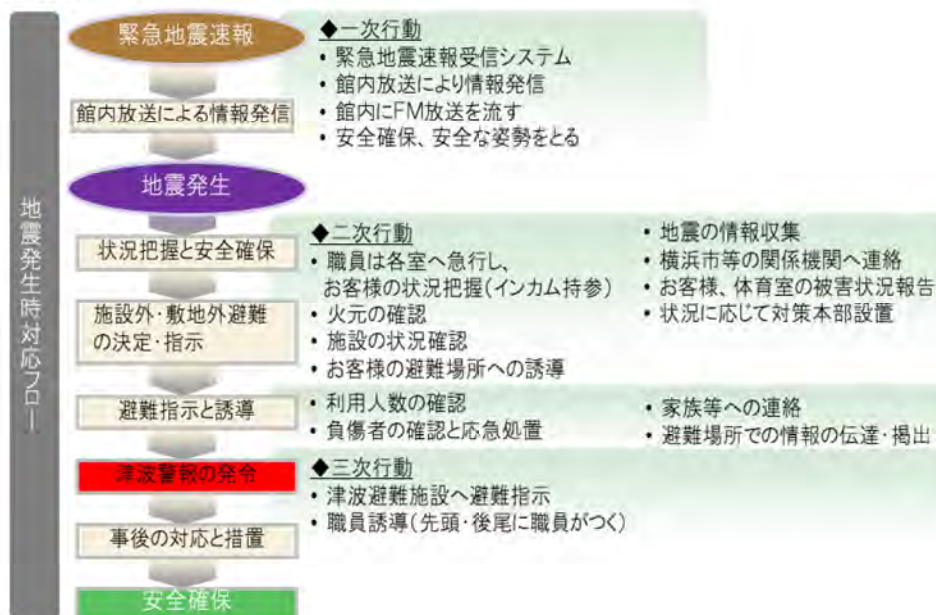
平沼記念体育館では、施設の独自の災害対応マニュアルに基づき、災害発生時の対応フローを設定しています。対応フローに沿って行動ができるように、訓練を実施しています。

緊急時の連絡方法は、東日本電信電話株式会社が提供する「災害用伝言版（WEB171）」を利用するとともに、当団体本部と連携を密にし、各施設の出勤状況を確認の上、アルバイト職員を含む出勤体制ならびに本部職員の応援体制を確立します。

■火災発生時のフロー



■地震発生時のフロー



安全管理について

■ 実践的な訓練による盤石な危機管理対応

● 当団体全体での訓練

当団体は毎年9月に、災害発生時に職員自らの命は自ら守るための神奈川県提唱訓練「**かながわシェイクアウト訓練**」を実施するとともに、安否と施設の状況を迅速に確認することを目的とした「安否確認及び情報伝達訓練」を実施しています。

第5期指定管理でも引き続き、「かながわシェイクアウト訓練」を実施するとともに、安否確認訓練や情報伝達訓練については、NTT 東日本(株)が提供する災害用伝言版(web171)を実際に活用して実施します。



かながわシェイクアウト訓練

● 防災訓練の実施

防災対応能力を高めるため、消防署の協力のもと、危機管理マニュアルや消防計画に基づいた**実践的な防災訓練をお客様とともに実施**します。また、年1回休館日において、高齢者や障がい者等介助が必要なお客様を想定した避難誘導訓練を、全職員で実施します。訓練では、当館の地域防災拠点で三ツ沢公園への誘導をシミュレーションします。



お客様が参加しての防災訓練

■ 非常用備品や食料の自主的備蓄 ～防災倉庫の自主的設置～

いざという時に、区民の初期避難拠点としての役割を積極的に果たすために、ご利用中のお客様や近隣住民の方で、一時避難された方々用の災害対策品や関連防災備品を独自に備えます。

また、災害時は連絡が重要になるため、通信機の電源を確保する充電バッテリー（ソーラー充電可能）を備えます。

■ 平沼記念体育館 災害対応用備品の整備計画

物品名	備考	物品名	備考
ヘルメット	通常時(点検等)使用	人工呼吸用マスク	1箱単位
毛布		懐中電灯	乾電池予備を含む
ブルーシート		飲料水	1.5ℓ／本
拡声器	通常時でも使用	アルミブランケット	
通信器充電バッテリー	ソーラー充電可能	トイレバック	
軍手		AED	レンタル
移動用アンブ	通常時でも使用	ジャッキ	自動車用で可
災害用ラジオ	自家発電式		



通信機充電バッテリー

● 災害対策対応自動販売機の設置

飲料自動販売機設置にあたっては、災害時に無償で商品を取り出し、被災者に提供することができる「**災害対策機**」を設置しています。

現在設置している自動販売機は、**災害時に最大 500 本の飲料を提供**することができる支援機能を備えています。



災害対応型自動販売機

安全管理について

立地特性を踏まえた風水害等への対応

平沼記念体育館は、丘陵地にある三ツ沢公園内の一角にあります。

当団体は、横浜市防災計画（風水害対策編）を踏まえ、台風や大雨、ゲリラ豪雨、降雪等は、予報の段階から横浜市のホームページや横浜市防災システム等を使って情報収集します。

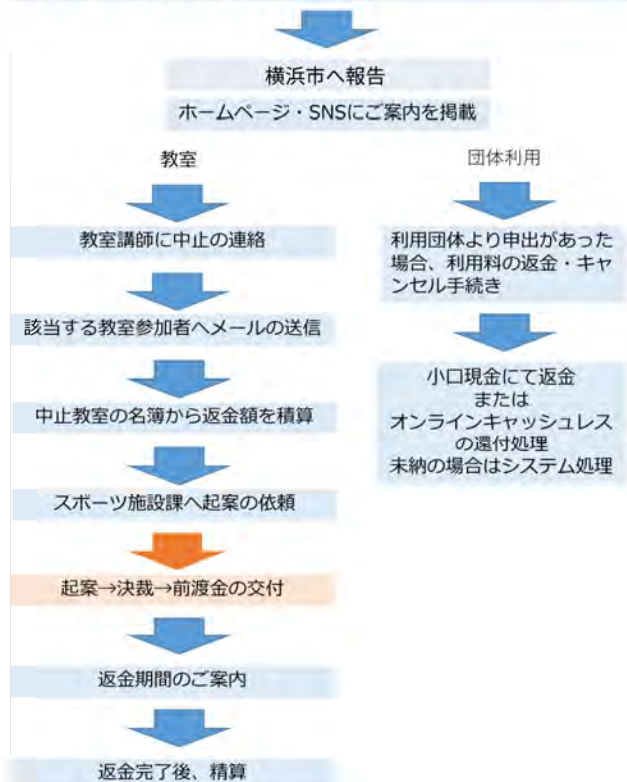
警報等が発令された場合は、初期対応として建物内外の壁や屋根を目視にて確認し、被害状況をにぎわいスポーツ文化局及び当団体本部に速やかに報告します。自然災害による被害を最小限に抑えるとともに、二次被害を起こさないように避難や応急処置等の措置を適切に行います。

ゲリラ豪雨時でのお客様対応

当団体は、台風などの接近前は、お客様の来館・退館時の安全確保を考慮し、横浜市が発行した「台風等（気象警報等発令時）における市民利用施設の運営の考え方」に基づき内規を定め、教室等の開催可否を決定します。教室を中止する場合は、**参加予定のお客様には電話で直接連絡**し、当日申し込みを予定しているお客様には、ホームページ等 SNS への掲載で周知します。

台風等気象警報発令時の教室中止対応について

横浜市通知「市地施第256号令和元年7月1日付」に基づき、施設の休館や教室の中止、利用料等の返金を決定した場合



安全管理について

ウ 事業継続計画（BCP）の策定

当団体では、運営施設毎の事業継続計画（BCP）を策定しています。

■事業継続の基本方針

安全確保の観点	お客様や職員の安全を最優先として、二次災害の防止などの防災対策を進めていきます。
事業継続の観点	横浜市防災計画に基づく災害時等における施設利用の協力において、帰宅困難者一時滞在、避難場所、遺体安置所等を設置し、円滑な支援を行うとともに、施設協力が終了後、通常の業務へ移行していきます。

平沼記念体育館

510

2020年4月

事業継続計画書

エ AEDの適切な配置・点検と研修

館内各所での事故を想定し、お客様にもわかりやすいよう AED のサインを掲出します。AED は点検表に基づき **1 日 1 回の点検** を確実にを行います。屋外のイベント時は、会場の AED 配置状況を事前に確認し、近くにない場合はレンタルして対応します。



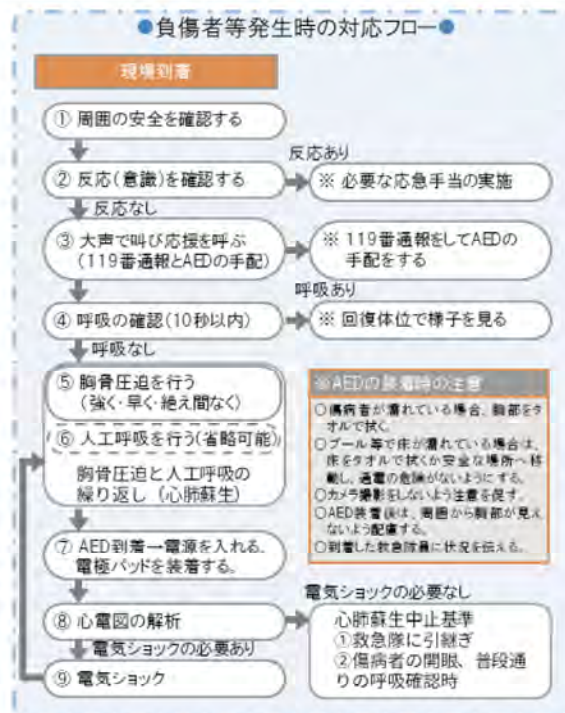
■ 急病人及び負傷者への基本的対応

万が一、ご利用中に人身事故等が発生した場合は、「負傷者等発生時の対応フロー」に従い行動します。

● 傷病者の医療機関への対応

傷病者がいる場合は、応急処置を行った後、ご本人の状態や希望に応じて「横浜市立市民病院」などの医療機関を案内します。

診療科	医療機関
内科/整形外科/呼吸器科/循環器科 他 全 21 科目	横浜市立市民病院 電話:045-316-4580 神奈川区三ツ沢西町 1-1
内科 / 小児科 / 外科	にしかわ医院 電話:045-290-8188 神奈川区三ツ沢上町 11-7 ミズウクリニックプラザ2F
内 科	布川内科医院 電話:045-321-7500 横浜市神奈川区三ツ沢上町 12-21
整形外科	横浜整形外科クリニック 電話:045-326-3181 横浜市西区岡野 2 丁目 5 番 18 号 サミット 2 階



安全管理について

オ 災害・事故等が発生した場合の賠償保険

■ 指定管理者に対応した施設賠償責任保険への加入

建築物の設備構造上の欠陥、あるいは管理上の不備等に起因して、お客様に身体的傷害や財物損壊を与えた場合に備え、施設賠償責任保険に加入します。合わせて**横浜市を追加被保険者**とします。

■ 加入する施設賠償責任保険内容

保険種類	保険内容	補償限度額
施設賠償責任保険	施設側の瑕疵により、お客様に対する身体及び物品等に被害が発生した場合の賠償保険	対人：1人につき1億円、1事故につき1億円 期間中1億円 対物：1事故につき1億円、期間中1億円

■ スポーツ・レクリエーション傷害保険への加入

スポーツ教室事業の実施に際しては、スポーツ・レクリエーション傷害保険に加入し、参加者の事故や怪我の発生に対しての補償を担保します。

また、昨今の気温上昇を考慮し、熱中症と診断された際にも、補償が適用される**「熱中症特約」を夏季期間に従来の補償に追加**します。

■ 加入するスポーツ・レクリエーション傷害保険内容

保険種類	保険内容	補償限度額	
スポーツ・レクリエーション保険	教室の参加者が怪我をした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺症	1人につき350万円
		入院保険金	1人1日4,000円
		手術保険金	手術の種類に応じて、入院保険金の10倍又は5倍
		通院保険金	1人1日2,000円

■ 地域スポーツ指導者向け補償制度

前述のスポーツ・レクリエーション傷害保険は、教室参加者が対象となっており、指導者が怪我をした場合には補償の対象から外れています。

そこで、スポーツ教室指導者や地域スポーツ指導者を対象に、当団体では「横浜市スポーツ人材活用システム登録者補償制度」を設けています。

スポーツ指導中における怪我の他、様々なリスクに備える総合補償制度で、災害補償制度（怪我等の補償）と賠償金補償制度の2つで構成され、**スポーツ指導者にも万全な体制を整えています。**

補償対象範囲			補償金額	
(1)おケガ等の補償額	災害死亡補償金		傷害事故	300 万円
			特定疾病	300 万円
	後遺障害補償金		傷害事故	最高 300 万円
			特定疾病	最高 300 万円
	療養補償金	入院日額 (1 日あたり)	傷害事故	3,000 円 (180 日以内)
			特定疾病	3,000 円 (180 日以内)
		通院日額 (1 日あたり)	傷害事故	1,000 円 (90 日以内)
			特定疾病	1,000 円 (90 日以内)
(2)賠償責任の補償額		身体と財物に対する補償 (支払限度)	1 名・1 事故につき 3 億円 自己負担金額 なし	
		管理中の財物に対する補償 (支払限度)	1 事故につき 300 万円 自己負担金額 なし	

安全管理について

3. 防災に対する取組

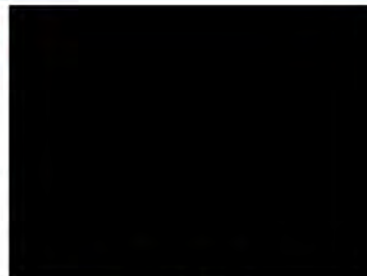
ア 横浜市防災計画及び災害時に等における施設利用の役割の認識

当団体は横浜市防災計画に基づき、災害時等には、「**広域避難場所**」、「**広域応援活動拠点**」及び「**被災者受け入れ施設**」として、機能が果たせるように準備、訓練を行い運営できるようにします。

また、**西区役所との「災害時の施設利用の協力に関する協定」**により、「**遺体安置所**」として、備品の管理及び施設開錠、運営支援などの必要な対応を行います。

当団体はこの役割を十分に認識し協力するとともに、災害時における情報拠点としての機能を果たすために、LAN 回線をロビー等に設置し、横浜市等からの最新災害情報を、インターネットを活用し伝達します。

- 災害時における平沼記念体育館の役割
- | | |
|-----------|----------|
| 広域避難場所 | 広域応援活動拠点 |
| 被災者受け入れ施設 | 遺体安置所 |



遺体安置訓練



ロビーのテレビで災害情報を放映

イ 地域との防犯・防災協力について

■ 消防署の監修による防災訓練

当団体は、火災や地震などの災害から人命を守り、被害を最小限に抑制するため、**消防署と連携して、利用者や地域住民の方々にも参加していただいた初期消火や避難誘導訓練**を行います。

また、いざという時のために、**地域住民を対象とした救急法講座を開催**するなど、地域の防災意識の向上や日頃の備えを強化します。



屋内消火栓操作訓練

■ 警察署と連携した防犯啓発

令和 6 年に日本全国で発生した特殊詐欺のうち、神奈川県は 3 番目に多い発生件数でした。被害を拡大させないために、神奈川警察署の協力を得て特殊詐欺の防止を啓発します。

また、神奈川区の防災情報メールを受信し、近隣で事件が発生した際には利用者に注意を呼びかけます。



安全管理について

反社会的組織への取り組み

当団体は、神奈川県暴力追放推進センターの賛助会員となり、暴力追放ステッカーや啓発ポスターの掲示、啓発パンフレットの配布など、反社会的組織の抑止に協力します。



自治会町内会と連携した防犯パトロール

自治会・町内会が防犯パトロールを実施する際は、施設職員も参加し、地域の防犯に協力します。

防災備蓄品の整備

平沼記念体育館に保管している**防災備蓄品**については、**館内の3倉庫内に保管しています。**防災備蓄品は、西区役所や横浜市からお預かりした備品と、平沼記念体育館が独自に災害対応用備品として整備したものがあります。

大地震発生の際には館内に入れなくなる可能性もあることから、防災倉庫を館内だけではなく、**館外にも備蓄品の一部を保管します。**緊急時には、倉庫からの搬出を自治会町内会の役員にも協力いただけるように連携を深めます。



平沼記念体育館の外倉庫にも防災備蓄品を保管

有事に焦らない「フェーズフリー」な施設運営

平沼記念体育館が、有事の際に頼っていただける施設となるために、平常時から防災に関する情報発信や接点を創出し、防災機能を有する施設としての認知度を向上させます。

ローリングストックによる展示・試食	賞味期限により入替対象となった備蓄用の水や非常食を「展示」や「試食」として循環させ、備蓄品そのものと施設に備えがあることの理解を促進します。
「防災スポーツ」ワークショップの開催	毛布を使った担架搬送レースや、バケツリレー形式のボール遊びなど、楽しみながら「自助・共助」のスキルが身につくイベントを開催します。
疑似避難体験	ヨガマットを布団代わりとした睡眠体験など施設備品を活用した避難所体験を開始します。

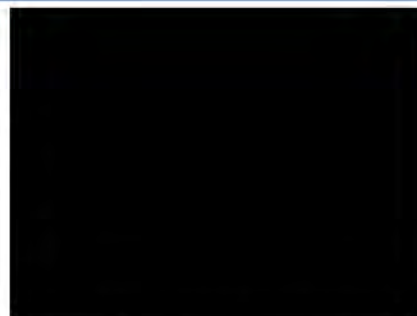
地域との協力について

「市民の Well-being な未来を紡ぐ」

私たちは、「みんなで横浜の Well-being な未来を紡ぐ」を事業ドメインとし、地域にスポーツを根付かせ育むという考えのもと、市内全域に多様なスポーツ事業を展開しています。

当団体の強みである、「人」と「ひと（人・企業・団体）」をつなぐコネクテッド機能を存分に発揮し、新たな価値の創造につながる共創の視点を持ち、Well-being な未来を紡ぐ取り組みを展開していきます。

※Well-being・・・肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされていた状態のこと



夏祭りの風景（平沼記念体育館敷地内と道路）

1. スポーツ振興と健康づくりのための地域支援

ア 未来を担う子どもたちのために

スポーツ庁の調査によると、**新型コロナウイルス感染症の蔓延を機に小中学生の体力レベルは低下し、現在では回復傾向にあるものの、横ばい、もしくは低下傾向にあります。**

体力の低下は、日常生活における怪我の発症率を高め、肥満や生活習慣病につながるだけでなく、意欲や気力の低下、集中力の低下から学力の低下など、様々な問題につながっていきます。

当団体は、**子どもたちに幼少期から多様な運動機会を提供し、運動に親しみ、継続的に運動を行う習慣作りを行い、子どもの体力の向上に取り組んでいます。**



握力測定をする小学生

子どもの体力向上の取組

平沼記念体育館で実施する子ども向けのスポーツ教室は、広い体育室を活用したサッカーやフットサル教室を中心に実施します。教室の中では、全身を動かす体操をはじめ、走る・跳ぶなどの補助運動やボール運動を通じて「**からだを動かすって楽しい**」ことを実感していただきます。

多様な動きを身に付けるとともに、「できた」という感覚を体験することで、生涯にわたってスポーツを楽しむための土台を作っていきます。

当団体は、その他にも下記のような各種事業を実施しています。

※**教室プログラムは様式 10 に掲載しています。**

● 保育園への訪問プログラム

当団体は、保育園への「はつらつキンダー」プログラムとして、地域の指導者とともに訪問し、園児へ運動遊びを提供しています。

● 小学校における「体力向上プログラム」

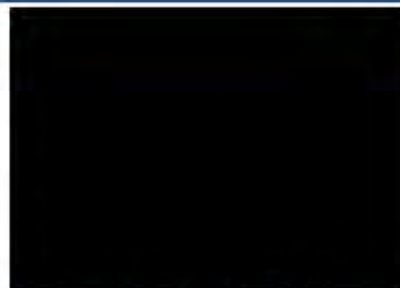
小学校の学校保健委員会と連携し、委員児童と教職員、PTA を対象に健康や運動に関する講義および実技を行い、児童の主体的な活動を支援しています。



地域との協力について

● 野球肘検診の実施

当団体は、横浜市医師会・横浜スポーツ医会と連携して、スポーツ障害の一つである「野球肘」を早期に発見する検診を少年野球チームの児童に実施しています。医師によるエコー検査、理学療法士による関節可動域の測定、当団体によるリズムジャンプトレーニングを実施し、子どもたちの怪我の予防を支援しています。



医師による肘のエコー検査

● 幼児・小学生のいる親子向けの大規模イベント「はつらつキンダーフェスタ」

新規

当団体では、小学生までのお子さんがいるご家族を対象に毎年2回「はつらつキンダーフェスタ」を開催しています。スポーツや遊びの多彩なプログラムを用意し、NHKの体操のお兄さんをお呼びし盛り上げていただいています。

広い会場で思いっきり体を動かして親子で笑顔あふれる楽しい時間を過ごしていただき、毎回1,000人を超える親子にご参加いただいています。

平沼記念体育館の利用者の皆様にも、このような全市的なイベントについても、積極的に情報発信していきます。



はつらつキンダーフェスタ 2025

■ 多様な体験機会の提供

未来を担う子どもたちにとって、幼少期に多様な体験をすることは心身の発達に大きな影響を与えます。

当団体は、「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」をはじめ、「三ツ沢公園感謝デー」「平体祭」**スポーツ・文化・多世代交流**などのイベントを通して、多くの子どもたちに様々な体験の機会を提供します。



三ツ沢公園感謝デーでパターゴルフをする親子

■ 学校の長期休暇時の居場所として

新規

夏休みや冬休みなど、学校が長期休暇になる時期は、子どもたちが家で過ごす時間が長くなり、スクリーンタイムが増え運動不足になってしまう傾向があります。子どもたちの長期休暇が健康で有意義なものにするために、**特別教室を開催**するなど、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供します。



リズムジャンプトレーニング

地域との協力について

■ キッズスペースの無料開放【スタジオの活用】

新規

スタジオをキッズスペースとして無料開放し、**子どもの運動機会の確保と子育ての輪を広げる支援**に取り組みます。

毎月予定表を発行し、大会等で利用ができない日程を事前にお知らせします。



子どもたちが安心して遊べる環境を用意

イ 中学生や高校生へのスポーツ支援 ～部活動改革に対する取り組み～

■ 中学生や高校生の部活動支援 - 選手生命を脅かす障害予防に向けた取組

新規

当団体が管理する**横浜市スポーツ医科学センター**で培った**科学的根拠に基づく研究成果**を、中高生の選手たちのスポーツパフォーマンスの向上、怪我の予防及びリハビリテーションに生かすため、「**障害予防講座やクリニック**」を開催します。

具体的には、「**バスケットボールでの前十字靭帯損傷**」「**野球肘などの投球障害**」「**サッカーのオスグッド病**」の障害発生の抑制に向けた動作習得などの実践に即した講座を行います。



サッカーオスグッド病の
障害予防への取組

■ 中高生のハンドボールやフットサル事業の支援

新規

ハンドボールやフットサルの種目協会と連携しながら、平沼記念体育館で短期教室やクリニック等の事業を開催します。

ウ 地域の健康づくり

■ シニア世代の健康増進に資するプログラム

少子高齢社会の日本において、横浜市も例外なく高齢者の割合が今後も増加していきます。シニア世代の方々が、いつまでも自分らしく健やかに暮らしていくために、**個人の健康状態に応じて参加できる教室プログラム**を実施します。体力に自信のある方は、エアロビクスなどの有酸素運動やバドミントン、ヨガなど、ご自身の体力に合わせた運動強度の教室を選択することができます。足腰に痛みや不安のある方には、運動強度の低いイス座位の健康教室を開催します。教室に参加される方々が「つながり」を感じられるようなプログラムを実施し、仲間づくりを促進し、平沼記念体育館の教室に通うことがシニア世代の明日への活力となり、ウェルビーイングを推進します。

※教室プログラムは様式 10 に掲載しています。

地域との協力について

フレイル予防

MACNICA

新規

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間を指します。フレイルは、自分の状態と向き合い、予防に取り組むことでその進行を緩やかにすることができます。

当団体と半導体商社の株式会社マクニカは、「横浜市民の健康づくりに関する包括連携協定」を締結し、株式会社マクニカと九州大学の熊谷名誉教授が開発したフレイル状態かどうかを測定できるソフトを活用し、中高年のフレイル予防に取り組んでいます。これまでに 1,500 人以上の測定を行い、健康づくりを支援してきました。フレイル測定と運動教室を併用することにより、**フレイル状態の改善や健康維持の成果**を上げています。今後もフレイル測定を活用しフレイル予防に取り組んでいきます。



平沼記念体育館での測定イベント

5メートル歩行の測定

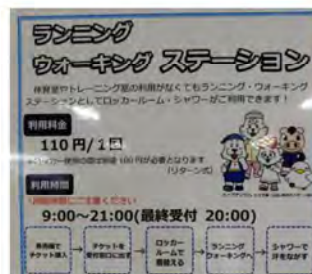
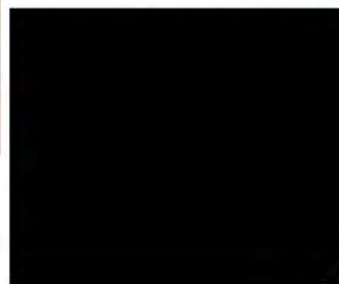
ウォーキング事業の実施

横浜市では、市民が楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことを推進する「**よこはまウォーキングポイント事業**」を 2014 年度から実施しています。

平沼記念体育館においても、この事業に協力しウォーキングポイントのリーダーを設置しています。

2024 年度横浜市民スポーツ意識調査において、「過去 1 年間に行った運動・スポーツ」の中でウォーキングが 57.3%とダントツの 1 位となっており、**最も市民に親しまれている運動・スポーツ**です。

気軽にできる健康づくりを推進するために、平沼記念体育館のランニング・ウォーキングステーションとしての機能や、「三ツ沢公園トリムコース」のマップを活用し、自治会・町内会や保健活動推進員と連携してウォーキング事業を推進します。



地域との協力について

エ スポーツに親しむ「きっかけ」づくりの提供

今までスポーツに縁がなかった方に、運動・スポーツを親しんでもらうためには、関心を引く「きっかけ」づくりが大切です。

一つの「きっかけ」から、健康づくりや生きがいのために運動やスポーツ活動を実践していただけるように、多文化のイベントや「学び」「遊び」を取り入れ、「スポーツ」に「プラス」した事業を展開していきます。

そして、「きっかけ」である「体験」から、「継続」、「定着」へ行動を変容していただけるように、アプローチをしていきます。



■ イベントによる「きっかけ」体験

当団体は、「地域の皆様へ還元するイベント」として、さまざまな「スポーツ」や「学び」「遊び」を取り入れた多文化の事業を企画します。

具体的には、「三ツ沢公園感謝デー」「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」「平体祭」を実施します。



フットサル 親子体験

白バイ乗車体験

おせんべい焼き体験

【当団体が開催する地域貢献3大イベント】

事業名	内 容
三ツ沢公園感謝デー	<p>2025 年度のポスターチラシ</p>

地域との協力について

	<p>■事業趣旨</p> <p>「三ツ沢公園」内には、「平沼記念体育館」と「三ツ沢公園青少年野外活動センター」があり、3施設とも当団体が管理をしています。</p> <p>3施設が協力連携して、インクルーシブスポーツの推進、防災体験、SDGsの啓発など幅広いプログラムを実施することで、来園者に広く日ごろの利用に感謝し、楽しんでいただき、これからの生活に活力にしてもらうことを目的としています。</p> <p>■実施内容（2025年度実績）</p> <p>パラスポーツ・ゆる&さわやかスポーツ体験 防災体験（はしご車搭乗体験・パトカー白バイ救急車展示・ちびっこ防火衣体験） 平沼亮三氏記念展示 横浜 FC ラッピングバス展示 市民病院感染管理講座 スタンプラリー 飲食物 工芸品販売 クラフト作製販売 SDGs の啓発 遊具の遊び方教室 ポニー体験乗馬 マシュマロ・せんべい焼 など 約 30 種類のプログラム</p>
<p>スポーツ・レクリエーションフェスティバル</p>	<p>■事業趣旨</p> <p>横浜市の開催趣旨に則り、インクルーシブスポーツに親しみ、誰もが共にスポーツを楽しめるような継続的な活動のきっかけになるイベントを開催します。</p> <p>■実施内容（2025年度実績）</p> <p>横浜 F・マリノス「親子サッカー教室」 フットサルイベント(大会) ピラティス・ロコモトレニング体験 展示室・展望室イベント など</p> <p>2025 年度のポスターチラシ</p> 
<p>平 体 祭</p>	<p>■事業趣旨</p> <p>平沼記念体育館は、明治末期から昭和前半にかけてアマチュアスポーツの振興に尽力し、横浜市長でもあった平沼亮三氏の功績を記念して設置された施設です。</p> <p>そこで、平沼亮三氏の意志や願いを引き継ぐスポーツの普及と素晴らしさを伝える機会と、体育室の広さや展示塔など施設の特徴を PR する機会としてイベントを実施します。</p> <p>■実施内容（2025年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平沼亮三氏の功績やエピソードにまつわるクイズラリー など ・フットサルの親子体験・クリニックなど <p>2025 年度のポスターチラシ</p> 

地域との協力について

国際的なスポーツイベントの機運醸成

オリンピックやパラリンピックなどの世界的な国際スポーツイベントは、社会的にスポーツへの関心が高まるため、スポーツに親しむ絶好の機会と捉えています。「みる」スポーツとして観戦する機運を醸成するために、ロビーにて、「オリンピックやパラリンピック」などの関連グッズ展示します。また、職員が工夫をして装飾をすることにより、国際大会を盛り上げ、アスリート、競技種目に興味を抱いてもらえるように取り組んでいきます。



平沼記念体育館ロビーの 2019 ラグビーワールドカップ 東京 2020 オリンピック展示



職員の手作りによるオリンピック
日本メダル獲得数の装飾

地域の憩いと交流の場として展望室の利用

新規

現在、展望室と展示室がある記念塔は、防犯上の問題から受付に声をかけてから、職員が照明を点灯して入室する形式をとっています。

第5期からは、安全管理上課題がある監視体制を、入場者の顔がわかる防犯カメラを増設することにより、自由に入退場できる体制に変更します。

このことを地域へ広報 PR することにより、展望室に気軽に訪れてもらうことで、「人々が交流し合う憩いの場所」なるように運営していきます。



展望室から素敵な景色を見ている様子

【展望室から見える素敵な景色】



横浜みなとみらい



日の出に照らされる富士山



三ツ沢公園球場

※一部望遠レンズ使用

(事業例案)

■展望室から撮った写真・絵画コンテスト

■みんなで富士山🗻を見よう会の設立

地域との協力について

■ トップアスリートとの交流

子どもたちがトップアスリートに直接教わるができる機会として、スポーツ・レクリエーションフェスティバルにおいて、**かながわアスリートネットワーク**との協働事業により、オリンピックによるレッスンを開催します。



横浜市出身オリンピックの白井健三さん
による体操教室

■ 地域イベントでの啓発

当団体は、区民まつりや商店街のイベントなどにブース出展し、体力測定や軽スポーツなどを体験していただき、健康づくりやスポーツに親しむきっかけを提供します。



商店街のイベントにブース出展



区民まつりにブース出展

■ 商業施設での啓発

当団体は、商業施設と連携し、商業施設内のイベントスペースなどを利用して、スポーツや健康づくりのきっかけとなるような啓発事業を実施します。商業施設には、平沼記念体育館を利用したことがない大勢の方がいらっしゃるため、アピールする絶好の機会となります。



キッズスポーツ体験



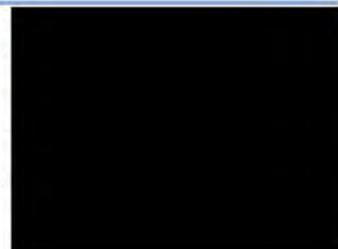
タブレットを使用した姿勢測定

■ インクルーシブスポーツ

当団体は、障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず参加でき、誰もが共に楽しめるインクルーシブスポーツを普及・啓発しています。

パラリンピックの競技種目であるボッチャのほか、モルックはメディアに取り上げられるなど認知度が上がっており、多くの市民が楽しんでいます。

団体本部や地域団体と連携し、インクルーシブスポーツに取り組めます。



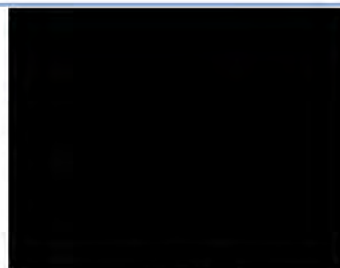
子どもから大人まで一緒に楽しめるモルック

地域との協力について

オ 地域人材の育成と活用

■ 地域で活躍する人材を育成する

当団体では、地域や各種目で活動できるスポーツ指導者を養成・育成する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」を開催しています。講座では、大学教授や日本スポーツ協会研究員を講師にお迎えし、スポーツ場面に必要な知識を学ぶことができます。また、運動指導に役立つ資格取得や、健康運動指導士の更新単位を取得することができます。



講座の様子

資格取得が可能	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツリズムトレーニング協会認定 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツリズムトレーニングディフューザー ・リズムステップディフューザー ■東京都健康長寿医療センター認定 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防運動指導員 ■シナプソロジー研究所認定 <ul style="list-style-type: none"> ・シナプソロジー普及員
資格の更新単位が取得可能	<ul style="list-style-type: none"> ■健康・体力づくり事業財団認定 <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士 ・健康運動実践指導者

■ 地域指導者と活動内容

人材養成講座の修了者には、当団体が管理運営する「横浜市人材活用システム」への登録をお願いし、地域から健康づくりやスポーツ活動の要望があった場合に、人材活用システム登録者を紹介しています。人材活用システム登録者に対しては、当団体の専門的な知識を有する指導員が実技指導や講義を行うなど、地域指導者の質的向上をフォローしています。

神奈川区・西区・保土ケ谷区では、現在、3区合計で15人の登録があり、平沼記念体育館の教室のほか、地域ケアプラザ等地域でのスポーツ・レクリエーション活動にて指導いただいています。令和6年度は1,367回指導を行い、延べ20,273人の参加者がありました。

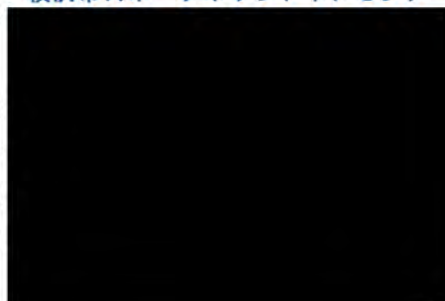
【令和6年度「人材活用システム登録者」の活動実績】

区名	指導回数	参加者数	登録者数
神奈川区	146回	468人	3人
西区	837回	10,684人	7人
保土ケ谷区	384人	9,121人	5人
小計	1,367回	20,273人	15人

地域との協力について

■ スポーツボランティアセンターの活用（平体祭・三ツ沢公園感謝デー等）

横浜市では、スポーツイベントを「ささえる」スポーツボランティアを支援するために、「横浜市スポーツボランティアセンター」を設置しています。2025 年度のスポーツボランティアセンターに登録している会員は 16,000 人を超え、年間で 9,800 人の活動募集がありました。当団体は、平沼記念体育館の地域還元イベントにおいてスポーツボランティアセンターを活用し、ボランティアとともに地域のスポーツ振興やスポーツを通じた賑わいの創出に貢献します。

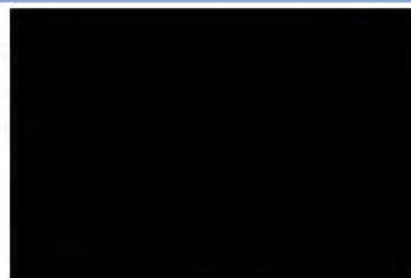


ボランティア活動の様子

カ 障害者・児へのスポーツ支援

■ イベントでの交流促進

障害の有無に関わらず、誰もが身近な場所でスポーツに親しむことができるように、神奈川区・西区・保土ケ谷区さわやかスポーツ会などと協力して、パラリンピック種目であるボッチャなどの交流会を開催します。



ボッチャをしている親子

■ 初級パラスポーツ指導員による支援

当団体は、平沼記念体育館において、ボッチャやモルックなど気軽にできるスポーツのイベントを開催して、スポーツを楽しむ機会を提供します。

また、その際に初級パラスポーツ指導員の資格を持つ職員が、障害者への指導や助言などにより、障害者のスポーツの継続支援をサポートします。

2. 地域の多様な主体と連携した取組

当団体は、長年にわたる横浜市内のスポーツ振興事業において培ってきた「スポーツのちから」と、平沼記念体育館が有する「施設のちから」を最大限に活用し、自治会町内会や区スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、保健活動推進員など、地域の多様な団体と対話を通して情報を共有し、連携関係を強化して「賑わい・魅力あふれる街づくり」を推進していきます。

地域との協力について

ア ミッ沢公園内に設置された施設を踏まえた取り組み

平沼記念体育館は、ミッ沢公園内に設置された施設として、その特性を生かした取り組みを展開します。(内容はすべて再掲)

ミッ沢公園感謝デー	公園内施設と連携した市民イベントの開催 防災イベントも実施
スポーツ・レクリエーションフェスティバル	公園内施設と連携した市民イベントの開催
平体際	公園内施設と連携した市民イベントの開催
ミッ沢公園ウォーキング事業	ミッ沢公園トリムコースマップを活用したウォーキング事業の開催
よこはま♡モルック大会	インクルーシブスポーツイベントへの参画
ミッ沢公園野外活動センター	スポーツと野外炊事のセットプログラムの実施
展望室の PR	ミッ沢公園管理事務所と連携し、展望室を入れた散歩コースを PR

イ 地域団体等との協力・連携による取組

自治会町内会との連携

当団体は、地域の一員として、**防災・共助、祭りや行事など地域の活性化に貢献**します。スポーツ振興や健康づくりでは、**自治会町内会単位で実施するフレイル予防、介護予防やウォーキング**など、地域の要望に応じて支援します。

また、北軽井沢西部相互会が毎夏行う**お祭りイベント**に積極的に協力して、トイレ等の利用開放も行います。



神奈川区・西区・保土ケ谷区との連携事業

当団体は、**西区のスポーツ大会会場としての運営支援や、西区の「災害時等における施設利用の協力に関する協定」に基づく協力**します。また、**神奈川区・西区・保土ケ谷区役所が携わる対象事業に積極的に協力し、スポーツ振興、健康づくりやにぎわい創出に貢献**します。

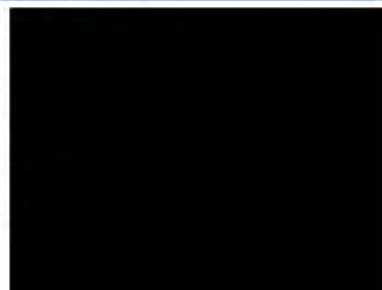
神奈川区・西区・保土ケ谷区スポーツ協会との連携

当団体は、神奈川区・西区・保土ケ谷区スポーツ協会の総会や各部会会議に出席し、助言や情報共有等を行うなど支援しています。また、平沼記念体育館を大会で利用される際には、大会参加者や一般利用者のご意見を伝えるなど、担当者と綿密に打ち合わせを行い、スムーズな大会運営を支援しています。

地域との協力について

■ 神奈川区・西区・保土ケ谷区スポーツ推進委員連絡協議会との連携

当団体は、神奈川区・西区・保土ケ谷区スポーツ推進委員連絡協議会が主催する行事や研修会などにおいて、事業協力や相互連携を図ってきました。第5期指定管理においても、研修会の講師派遣など、スポーツの盛んな街づくりを目指して活動されているスポーツ推進委員と連携して、神奈川区・西区・保土ケ谷区のスポーツ振興を図ります。



準備体操の講習会

■ ヨコハマさわやかスポーツの普及

ヨコハマさわやかスポーツは「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめるよう、ニュースポーツを中心に、地域のスポーツ推進活動として昭和62年に始まりました。

当団体は、神奈川区・西区・保土ケ谷区さわやかスポーツ普及委員会の設立以来、地域スポーツ振興のパートナーとして、地区活動や大会を支援してきました。今後も、区民がスポーツに親しむきっかけになるヨコハマさわやかスポーツの普及を支援していきます。



■ 学校との連携

平沼亮三氏のレガシーの伝承

当団体は、平沼亮三氏の功績や生き方、教え、スポーツの継続実施の大切さやスポーツ振興に関する考えを教材で活用していただくために、近辺の小学校に働きかけていきます。

小学校の承諾が得られましたら、過去の写真等を入れたパワーポイントでの講義や、「スポーツの重要性」「目標を達成するためのひたむきな努力の大切さ」「自らの健康づくり」について話し合いをして、これからの励みにしていただきます。



年老いても、日夜、スポーツを実践した平沼亮三氏（縄跳び・鉄棒・短距離）

地域との協力について

■ トップスポーツチームとの連携

横浜市には横浜を本拠地とする、野球、サッカー、フットサル、バスケットボール、アイスホッケー、ソフトボール、ラグビーの7競技13のトップスポーツチームによる連携・協働体制の「横浜スポーツパートナーズ」があります。

当団体は、「YSCC」と「横浜エクセレンス」と連携し、フットサル教室やチアダンス教室を実施するとともに、イベントを開催します。

また、横浜FCが三ツ沢公園球技場でホーム試合をする際は、イベントをする子どもたちが、スタジオなどを控室として利用する際は支援をします。



YSCC のロゴ



横浜エクセレンスのロゴ

その他にも子どもたちに夢と希望を与えるようなイベントを連携して実施していきます。

※地域への防災に対する取り組みは、様式 14 に記載しています。

■ 多文化共生 — アジアスポーツフェスタでの外国人交流を支援

平沼記念体育館では、毎年「一般社団法人カルティベータ」が主催する「アジアスポーツフェスタ」を開催しています。

当団体は、この事業の「特別協力団体」として、アジアの難民や元難民がスポーツイベントを通して、日本の若者と理解し合う機会を持ち、多文化共生への理解を深める機会を、地域へ広めながらこれからも支援していきます。

アジアスポーツフェスタのチラシアップ



■ 合同スポーツ講習会の開催

地域のスポーツ振興を担う関係団体を対象に、それぞれの団体の活動をさらに充実した内容にするため、ニュースポーツや安全管理の講習会を開催します。また、同時に情報交換会・オープンミーティングを開催し、団体の横のつながりを深め、地域のスポーツを考えるきっかけとします。

■ サークル活動支援

平沼記念体育館の教室参加者や卒業生を対象に、自主的な活動を支援するためサークル立ち上げ支援を行います。

継続的な活動を支援するため、市民利用施設予約システムへの登録支援や、サークルのメンバーを募集する掲示板を設置するなど、サークル活動を支援します。



サークル掲示板

地域との協力について

3. 地域貢献に対する取組

当団体は、地域の一員として、地域に愛着を持つ区民が増え、いつまでも住み続けたいと思ってもらえるように、地域の皆さんとともに地域の活性化に取り組みます。

ア 収益の一部をスポーツ振興へ還元

■ 地域貢献イベントに還元

地域貢献イベントとして行う「三ツ沢公園感謝デー」「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」「平体祭」などのイベントや国際交流や多文化共生などのイベントに協賛して、収益の一部をスポーツ振興や賑わい創出に貢献できるよう還元します。

感謝

■ 備品の更新や修繕に充当

平沼記念体育館の利用者や教室参加者が想定よりも増加し、収益が多く見込まれる場合、区民に長くご利用いただける、安全・安心・快適な施設を目指し、古くなった備品の更新や修繕に収益の一部を充当します。備品の更新や修繕については、横浜市の承認を得たうえで実施します。

ロビーソファを備品更新



■ 開館 60 周年記念事業の実施 新規

平沼記念体育館は、2030 年に開館 60 周年を迎えます。

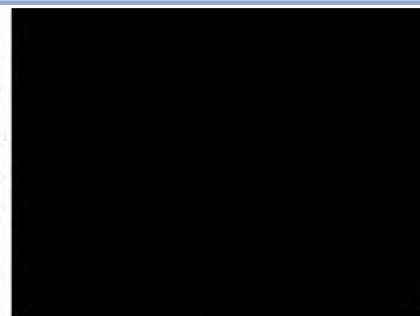
日頃からご利用いただいているお客様をはじめ、地元自治会町内会や地域でともに活動する団体など、支えていただいている多くの方々へ感謝の気持ちを込めた還元イベントを実施します。



イ 地域の事業者としての取り組み

■ 賑わいの創出 新規

平沼記念体育館は、スポーツを楽しむ場所であるのは当たり前ですが、地域の公共財として、より多くの方に利用してもらうことが求められています。ロビーや展示室や展望室を活用した文化活動のほか、イベントに合わせて地元事業者による地産地消マルシェの開催など、スポーツに縁のない区民でも足を運んでもらえるような賑わいある事業を実施します。



マルシェとしてロビーの活用

地域との協力について

■ 地元住民の雇用推進

当団体は、地域に根差した親しみのある施設運営を行うために、神奈川県・西区・保土ケ谷区在住の方を積極的に採用します。

地域のことは地元住民がよく知っているため、近隣の入浴施設の場所などの何気ない利用者からの質問にも即座に答えることができます。地域に愛着のある地元住民がスタッフとして働くことにより、施設への愛着が芽生え、より良い施設運営につなげていくことが期待できます。



近隣地域からの雇用

■ 社会科見学・職業体験・インターンシップの受け入れ

平沼記念体育館のお仕事を知っていただく機会として、小学生の社会科見学を受け入れます。中学生には職業体験を通して働くことの意義を経験してもらいます。高校生、大学生や専門学校生のインターンシップや教育実習の受け入れにも協力します。

ウ チャリティや障害者の社会活動の促進

■ 地域のためのチャリティ活動

地域のための募金などチャリティ活動に積極的に取り組みます。

● インクカートリッジ里帰りプロジェクト

使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルを推進します。



インクカートリッジ回収箱の設置

● エコキャップ回収によるリサイクルの推進

使用済みドリンクのキャップを回収・リサイクルを推進します。



エコキャップ回収箱の設置

■ 障害者の自立支援 新規

市内の地域作業所や中途障害者地域活動センターなどと連携し、平沼記念体育館館内の展示室で作品展示を行うとともに、物品等の購入など、障害者の経済面での自立促進に協力します。

地域との協力について

エ 環境保全への取り組み

GREEN×EXPO2027 への協力

新規

2027 年に開催される GREEN×EXPO2027 に合わせ、花や緑の装飾を増やして PR ボードを設置するなど、機運醸成に協力します。

また、平沼記念体育館では、日差しの厳しい窓際のロビーなどに「グリーンカーテン」を作り、夏の陽射しから室温上昇を防ぎ、エネルギー使用量の削減に寄与します。



グリーンカーテン

もったいない運動

横浜市では「ヨコハマ プラ 5.3 計画（横浜市一般廃棄物処理基本計画）」においてリユース・リサイクル・リデュースの取り組みを進めています。

当団体では、お客様が使わなくなったスポーツ用品を他の方に譲り渡す「もったいない運動」を実施してきました。第 5 期においても継続して実施します。

オ その他

第 12 回横浜・人・まち・デザイン賞受賞

「横浜・人・まち・デザイン賞」は、魅力あるまちづくりをより広く進めていくことを目的として、横浜市都市整備局が、市内での地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、都市景観の創造や保全に寄与したまちなみを構成する建造物等を表彰するものです。

当団体は、令和 8 年 5 月 28 日に横浜市長から「地域まちづくり部門」の表彰を受けました。

私たちは、公共施設の管理者のみにとどまらず、スポーツ振興を通して今後もまちづくりや地域活性を各種団体と共に展開します。

地域まちづくり部門 表彰対象一覧	
表彰対象活動【活動場所】	受賞者 ※敬称略
全かなスリッパ卓球選手権大会 【保土ヶ谷区】	(活動団体) スリッパ卓球実行委員会
	(支援賞) (一社) 横浜建設業協会/ (一社) 神奈川県建設業協会横浜支部/ 建設業労働災害防止協会神奈川支部横浜西分会/ 建設業労働災害防止協会神奈川支部/ 【公財】横浜市スポーツ協会/ (公財) 神奈川県スポーツ協会/横浜市卓球協会/ (一社) 神奈川県卓球協会/保土ヶ谷区商店街連合会 (一社) 横浜市商店街連合会/ 神奈川県商店街振興組合連合会/ (公社) 横浜かながわ/ NPO法人ハマのトウダイ チーム和田街/ FM上星川/ NPO法人ぎんがむら/ 相鉄ホールディングス株式会社



モニタリング

1. 自己評価と第三者による評価について

ア モニタリング・評価・改善に関する基本方針

平沼記念体育館の施設運営を行う指定管理者として、上質なサービスを利用者に提供し、かつ平等性・公平性を保ち続けることが重要になります。

当団体は、「住民サービスの向上が図られているか」「平等・公平であるか」「効果的な運営が行われているか」等の内容を内部及び外部から**客観的な視点**で常にチェックし、その水準を維持・改善するための手法として、「モニタリング」を積極的に活用しています。

「モニタリング」とは…

自己・相手又は第三者により適正かつ公平なサービスが提供されているかを確認する行為

■今期に実施予定のモニタリング一覧

実施主体 (評価者)	評価手法	実施頻度	実施内容
指定管理者	セルフモニタリング	年 1 回以上	業務水準の確認、課題の洗い出し
	月次執行会議	月 1 回	目標進捗管理、収支状況、苦情・要望・事件・事故対応報告 他
	館長会議	月 1 回	事業評価、情報共有
	内部監査	年 1 回以上	文書・労務・経理状況の確認
	PMS 内部監査	年 1 回以上	個人情報保護マネジメントシステムの運用状況確認
	覆面調査	年 1 回	サービス水準の確認
横浜市	モニタリング (ヒアリング)	適時	運営管理水準、管理状況報告 他
横浜市指定管理者 第三者評価機関	第三者評価	指定管理 期間中 1 回	管理運営状況、サービス向上の取組
民間フィットネス 事業者	外部評価	指定管理 期間中 1 回	サービス水準の確認、サービス向上に関する助言
利用者	お客様アンケート	四半期 1 回	サービス・満足度の確認
	ご意見箱 ご意見ダイヤル 問い合わせメール	随時	苦情・要望、 疑問・質問
	地域団体ヒアリング	年 1 回以上	聞き取り調査、意見交換
非利用者	インターネット調査	指定管理 期間中 1 回	認知度・スポーツ意識の調査



モニタリング

イ 提案内容を確実に実現する実施管理体制

当団体は、提案内容の達成及び業務水準を継続的に改善するために、PDCA サイクルを実行するマネジメントシステムを構築しており、各年度の事業計画書に基づいた計画的な業務履行と定期的な評価を徹底します。

特に、評価（Check）と改善（Action）に必要なモニタリングを強化し、多様な評価を受けることで、効果的な改善活動を行います。



■ 現場から本部まで組織的な管理体制

指定管理者は、提案内容を確実に履行し、お客様・横浜市からのご要望に的確に応じていくことが最大の使命であると認識しています。平沼記念体育館の管理運営にあたっては、館長が統括責任者として施設の運営状況を把握し、事業評価（月1回）や職場での実務研修（OJT）などを通じて、業務水準の向上を図ります。

平沼記念体育館年次計画や提案事項は、月次会議や当団体管理の施設長会議にて、管理職がその進捗を管理します。

当団体の施設長会議

■ 月次執行会議による状況・課題の共有

平沼記念体育館館長と本部職員で、事業評価を兼ねた月次執行会議を実施します。この会議は、利用者数や収入実績の目標達成状況の確認や、お客様からのご意見内容等を踏まえた業務評価を行い、課題を共有し、改善に繋げる仕組みとします。

■ 月次執行会議での確認事項

- | |
|-------------------------|
| (1) 年度目標数値の達成状況（提案事項含む） |
| (2) 収支計画の執行状況 |
| (3) 修繕計画の履行状況 |
| (4) 職員のお客様対応や施設の美観 |
| (5) 苦情・要望・事件・事故対応報告 |
| (6) お客様満足度の調査結果 |

オンライン会議を採用しています

ウ 指定管理者としての自己評価

横浜市の指定管理者制度におけるモニタリング業務は、「横浜市指定管理者制度運用ガイドライン【第18版】」にて、「施設の管理運営の水準等について、日常的・継続的に確認を実施すること」と明示されています。

当団体は、平沼記念体育館の設置目的や協定書・仕様書（業務の基準）を踏まえ、指定管理者として提案内容達成及び業務水準を向上させるためのモニタリング体制を実行していきます。

モニタリング

■ セルフモニタリング（自己評価）プログラムの作成

平沼記念体育館の運営において、良質なサービス・快適な環境・安全安心の確保を基本に、今後もスポーツ振興の拠点として貢献できるよう、常に新たな事業展開を図っていきます。また、少ない費用で効果的に管理運営し、創意工夫により利用者満足を獲得するなど、多角的な視点から運営の質を高めていきたいと考えています。

そのため、平沼記念体育館「自己評価プログラム」を作成し、目標を定め自ら事業を評価することで、PDCA サイクルを実行し、運営の質の向上を図ります。

■ 自己チェックシートによる業務確認

当団体が自ら評価を実施するにあたって、果たすべき業務水準（サービスレベル）を事前に定め、それに基づいた「自己評価チェックシート」を作成し、施設の総括責任者が、定期的（年 4 回程度）なセルフモニタリングを行うことで、自ら課題点を客観的・定量的に洗い出していきます。

区分	評価視点
事業全般	●事業利用者満足度（運営形態・事業内容・サービス内容・施設環境 等）
運営管理	●施設運営（移設稼働率・案内件数・クレーム件数・内容・人員管理等） ●事業運営（事業数・参加状況・実施内容・収支状況 等） ●サービス（実施内容・利用状況・収支状況 等）
施設維持管理	●安全管理（設備機器・稼働状況・保守状況・修繕状況・人員管理 等） ●美観管理（清掃インスペクション） ●環境保全（省エネルギー管理状況・ごみの排出量）

■ 業務内部監査・PMS 内部監査の実施

当団体は、当団体のコンプライアンス規程、内部監査要綱及び個人情報の保護に関する規程に基づく内部監査を毎年実施しています。

業務内部監査は、文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等に関する事務の執行状況や、現金出納が規定に沿って適正かつ効率的に行われているか監査するものです。

また、PMS 内部監査は、プライバシーマーク取得事業者として個人情報保護マネジメントシステムが適正に運用されているかを監査するものです。

それぞれ 200 を超える項目のチェックリストを用いて、当団体の内部監査員が実施しています。

平沼記念体育館においても、監査受審による業務点検及び改善への提言を受け、より一層業務の適正化・効率化を図ります。

■ 法人本部による覆面調査

当団体は、お客様の声を傾聴するための心構えや姿勢、「おもてなしの心」あふれるサービスの実践方法を学ぶために全スタッフが接客研修を受講しています。

法人本部による覆面調査を行い、研修（Plan）内容が実施されているか（Do）を品質チェック（check）します。これにより、利用者目線から見た偽りのない評価や利用者の期待値を明らかにできると同時に、調査によって得られる生の声がスタッフの働き甲斐を高める重要な要素となり、顧客満足を大事にする風土を生み出し、サービス品質向上の土台となるものと考えています。

モニタリング

エ 横浜市・第三者評価機関によるモニタリング

■ 横浜市によるモニタリングへの協力

平沼記念体育館の包括的な管理責任者であり、指定管理者の指定責任を有する横浜市の立場と責務を理解し、横浜市のモニタリングに積極的に協力します。

当団体は、横浜市に平沼記念体育館の実施状況を十分に説明するとともに、求められる帳簿書類等の提出には、原則全てに応じるなど情報公開に努めます。

モニタリングの結果、万が一、提供サービスの水準に関し、横浜市から改善指導を受けた場合には、直ちにその原因を究明し、即座に改善の措置を施し、その経過と結果は遅滞なく報告します。

■ 「横浜市スポーツ施設等指定管理者選定評価委員会」への協力

横浜市の指定管理者制度では、公正で客観的な第三者評価機関による評価制度を導入しています。

当団体は、横浜市が設置した「横浜市スポーツ施設等指定管理者選定評価委員会」（以下「評価委員会」という。）の評価に積極的に協力します。受審の結果、サービスや業務の質の評価のみならず、施設管理上の「良い点」「悪い点」を外部の視点で評価していただいた結果を真摯に受け止め、自分たちの管理運営を見つめ直す機会にします。また、その結果を踏まえて、お客様サービスの向上や業務改善を行い、より良い施設運営につなげます。

第4期の評価委員会（2024年11月実施）では、「提案になかった新たな取り組みとして、2024年度から熱中症予防として、大型気化式冷風扇風機を導入して、施設をより安全・安心に利用してもらう取組が評価できる」とお褒めの言葉をいただきました。

【第4期中間期の評価委員会の主な指摘事項に対する対応】

評価委員会からの 指摘事項	当団体を取り組んだ内容												
スポーツスタジオ や記念塔の展示 室・展望室の稼働 率の上昇	<p>■スポーツスタジオ1・2の稼働率は、2023年度よりも2025年度が、 1は8%、2は7%増加しました。</p> <p>【スタジオ1・2稼働率の推移】</p> <table><tr><th>室／年度</th><th>2023</th><th>2025</th><th>増加稼働率</th></tr><tr><td>スタジオ1</td><td>45%</td><td>53%</td><td>8%アップ</td></tr><tr><td>スタジオ2</td><td>28%</td><td>35%</td><td>7%アップ</td></tr></table> <p>■展示室・展望室の活性化のため、2025年度に、 「眺め最高！展望室へ行こう！」と「スポーツの父 展示室クイズラリー」のイベントを実施し ました。（2日間の参加者数：約150名）</p> <p>展示室・展望室イベントのチラシ</p> 	室／年度	2023	2025	増加稼働率	スタジオ1	45%	53%	8%アップ	スタジオ2	28%	35%	7%アップ
室／年度	2023	2025	増加稼働率										
スタジオ1	45%	53%	8%アップ										
スタジオ2	28%	35%	7%アップ										
教室以外のキャッ シュレス化の導入	<p>■2024年12月17日から、クレジットカード、電子マ ネー、スマホ決済サービス（QRコード）を導入しまし た。</p> <p>平沼記念体育館の受付付近にキャッシュレス可能な案内</p> 												

モニタリング

施設の老朽化にかかるニーズについて本市と連携の上対応を進める	<p>■2025 年 6 月に横浜市に「平沼記念体育館 施設設備に関する課題」について情報共有を行いました。</p> <p>■具体的には、体育室の冷暖房空調設備が未設置、トイレやシャワー等の水回り設備の経年劣化や臭い、施設敷地内の大木化や老朽化した樹木の危険性、施設内の床・壁のシミなどの内観について、管理者側の視点で共有しました。</p>
--------------------------------	--

オ 第三者からの評価とモニタリング

■ 地域団体へ直接聞き取り

当団体は、自治会・町内会やスポーツ推進委員、種目協会など、平沼記念体育館に関わりの深い団体の会合等に出向き、**直接ご意見いただく機会を頂戴し**、より良い施設運営を実現します。

■ お客様の声と満足度の収集

当団体は、様々な手法を活用し、お客様からの大切なご意見やご要望を積極的に収集します。

いただいたご意見やご要望には、お客様の視点にたって丁寧に対応し、職員ミーティングで共有します。

寄せられたご要望・ご意見には、総括責任者である館長自ら回答し、お客様からご指摘により改善が必要な場合は、迅速に対応していきます。また、その内容を施設内掲示やホームページなど、市民の皆様目のつくところに公開し、回答・報告します。

お客様アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○団体代表者・個人利用者・教室参加者を対象に四半期ごとに実施 ○施設サービスや管理状況、教室プログラムや指導方法などの満足度を調査 ○モニタリング結果を施設内に掲示
ご意見箱	<ul style="list-style-type: none"> ○気兼ねなく記載できるようにフロントから離れた場所に設置 ○総括責任者の所長が回答し、10日以内に施設内に掲示
横浜市コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○横浜市コールセンターに設置されているご意見ダイヤルを積極的にPR ○施設内だけでなく、ご意見を自由に寄せられることが可能
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ○電話やファックスだけでなく、問合わせ受付メールを整備 ○施設内のみならず、当団体全体でご意見を収集する環境を整備

お客様からの声	当団体が対応した内容
フリーWIFIを設置してほしい	<p>■2023 年度からフリーWIFI を設置しました。</p> <p>ロビーに「WIFI のご案内」を掲示</p> 

モニタリング

氷を提供して欲しい

■以前から捻挫などのけがの応急処置で氷を提供していましたが、多くの団体や利用者に使用していただくために、館内に氷サービスの掲示を貼りました。

氷の提供の案内掲示

氷の提供について

急性期の怪我(応急手当を要する場合のみ)用として氷が必要な場合は、お申し出ください。



■ 非利用者調査の実施

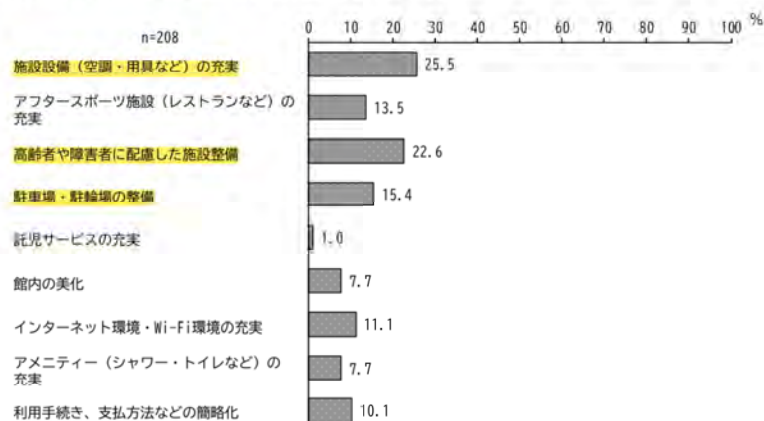
平沼記念体育館の利用者の拡大や区民の運動実施率を向上させるには、市場調査や非利用者の状況を調査し分析することが必要です。

当団体は、横浜市が実施している「横浜市民スポーツ意識調査」を踏まえた事業展開を実施していきます。

【2025 年度 横浜市民スポーツ意識調査報告書】結果 公共スポーツ施設に望むこと

公共スポーツ施設に望むことは、第1位が「施設設備（空調・用具など）の充実」（25.5%）、第2位が「高齢者や障害者に配慮した施設整備」（22.6%）、第3位が「駐車場・駐輪場の整備」（15.4%）でした。

当団体は、これらを踏まえて、引き続き空調機が設置されていない体育室に冷風機を置いて熱中症の対策を行うとともに、来訪者に寄り添った接客を心掛け、駐車場の精算機をキャッシュレス化を導入するなど、市民の声に応えられるように努めていきます。



また、当団体は、それに加え、**非利用者を対象とした調査を定期的**に実施しています。スポーツをしていない潜在層や非利用者を分析し、新規利用者の獲得に活用していきます。

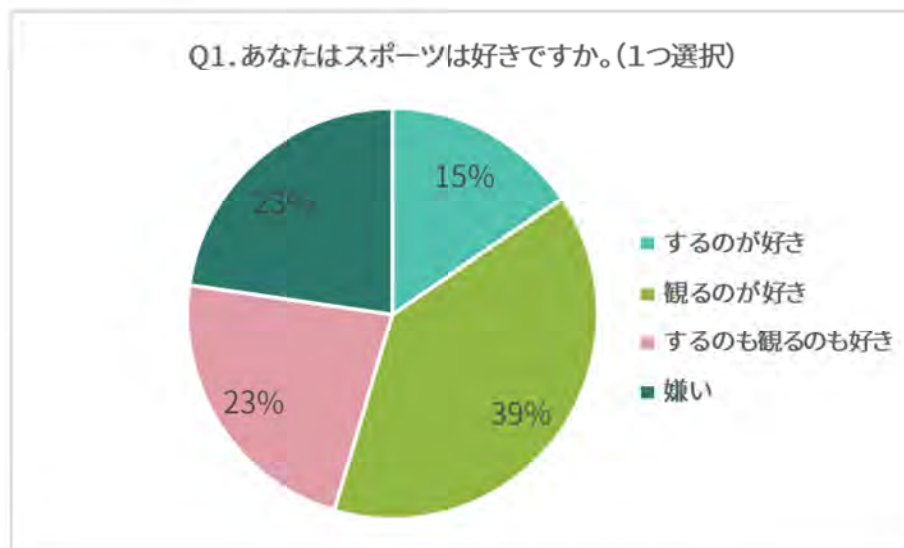
モニタリング

【2024 年度 当団体実施のインターネットアンケート調査結果】 スポーツの好き嫌い

当団体が令和 6 年度に実施したインターネット調査では、「スポーツをするのが好き・
するのも観るのも好き」の合算した割合は、38%でした。一方で、「観るのが好き・嫌い」
の合算した割合は、62%でした。

当団体は、これらを踏まえて、「**スポーツをするのが好き**」と回答する割合を増やすために、
過去のスポーツの苦い経験を払拭して、運動で汗をかく清々しさやスポーツ本来の楽し
さを体験していただくことが重要と考えています。

そのために、**スポーツ以外の種目と組み合わせた各種事業を開催して、きっかけづくりの**
機会を増やしていきます。



【調査対象】 18 歳以上の市内在住者の男女 1,997 人

自主事業の計画

1. 多彩な自主事業の計画

当団体は、これまでの指定管理者である期間に、開館日・時間の拡大、教室事業の拡充などに取り組みました。また、利便性向上策としてレンタル・物販、自動販売機を設置し、その収益を指定管理事業に充当してまいりました。次期においても、創意工夫による利用拡大・収入増に取り組めます。

ア 多様なニーズに対応するサービス

■ 開館時間・開館日の拡大

当団体は、**全国に先駆けてスポーツ施設の開館時間及び開館日の拡大**を行ってきました。

引き続き、平沼記念体育館は、夜間 21 時から 22 時 30 分(月～土曜日※祝日と重なっている場合は除く)まで開館時間を延長します。また、年末休館日である 12 月 29 日を開館日にして、市民のスポーツ実施率向上に寄与します。

● 基本時間外での各種教室開催

基本開館時間外の自主事業は、**フットサルの利用者が多いことから、フットサルの利用者が交流できるような事業**を開催します。また、当施設の周辺には 30～40 代が多く在住しているため、基本開館時間には施設を訪れることが難しい**働き世代を想定し、ストレス解消・リフレッシュを感じられるプログラム**(ヨガ・ピラティスなど)を提供します。



フットサル交流事業

■ 気軽に利用できるレンタルサービス

お客様が用具を忘れてしまったり、今すぐ利用したいと思った時にも利用できるようにするため、レンタルサービスを実施します。各種ボールやビブス(ゼッケン)や、スタジオでの利用需要の高い「ヨガマット」など、ニーズに応じたレンタル品を取り揃えます。

■ 利便性をあげるレンタルサービス一覧

下記以外にも、約 20 種類のレンタル用品を用意して、利便性を向上します。



自主事業の計画

■ スポーツ用品ショップ

年間延べ約 14 万人のお客様が来場される平沼記念体育館には、様々なスポーツ種目が開催されます。運動用具だけでなく T シャツ、タオル、靴下などのウェアやサプリメントまで、高機能で魅力的な商品をそろえて館内ロビーで販売します。



スポーツ用品の販売イメージ

■ 最新型の自動販売機設置

自動販売機は、利用満足度に直結する重要なサービスです。当団体はこれまで、バリアフリー対応機や災害時無償提供機能機、マルチマネー対応自販機を設置してきました。第 4 期指定管理期間中には、挽きたて珈琲が楽しめる機械を設置したことにより、**ロビーがくつろぎの場・憩いの場として機能しています。**

平沼記念体育館は、高校生や大学生、社会人のフットサルやハンドボールの競技選手の利用が多いため、第 5 期では、新たにプロテインを多く含んだ商品の自動販売機を増設します。今後も、常に最新の情報を集め、ニーズに応じた最新の機種を導入します。



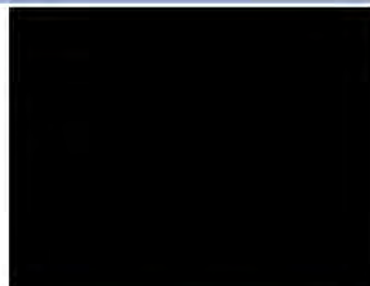
交流を促進する珈琲販売機

■ ウォーキング・ランニング事業

● ウォーキングクリニックの開催

三ツ沢公園内の一角に位置する平沼記念体育館という自然環境の中で、ウォーキングによる膝痛などの障害を予防しながら、正しく効果的に行う実践講座を実施します。

専門講師によるウォーキングセミナー



● ウォーキング・ランニングステーション機能拡充

市民の健康増進のために、引き続きランニング・ウォーキングステーションサービスを提供します。

■ ステーションで提供するサービス(1回110円)

- ・ロッカー・シャワー利用、オリジナルマップ配布
- ・オプション(有料): ノルディックウォーキングスティック、健康チェック



区内の様々なコースを紹介

自主事業の計画

イ 駐車場運営とスペースの有効活用策

■ 駐車場事業

平沼記念体育館敷地内の駐車場の運営については、横浜市公園条例及び同施行規則に則り、各年度の運営開始前に、所管の横浜市みどり環境局北部公園緑地事務所から公園施設設置に係る使用許可を受け、使用料を納付します。

駐車場事業は、自主事業として、「24 時間営業」「料金の回収、つり銭の補充」「清掃と点検」を行い、お客様が安全に利便性をもって駐車できるように運営していきます。

第 5 期では、**駐車場精算機を更新して、現金のみであった決済機能を、交通系 IC やクレジットカード等が利用できるようにキャッシュレス化を拡充します。**

収益の一部は、平沼記念体育館の修繕などの維持管理費に充て、当館のお客様が安全かつ快適にご利用いただけるように活用します。



15 台駐車可能な駐車場

■ “来館目的”となる楽しい仕掛け **新規**

● カプセルトイの設置

ロビーにカプセルトイを設置します。近年、カプセルトイは子どものみならず、成人女性をターゲットにした商品が続々と登場しています。それらを導入することにより、収益性向上と新規利用者の獲得へ繋がります。横浜をモチーフにしたカプセルを仕込み、郷土愛の醸成にも貢献します。



大人も夢中なカプセルトイ

■ 広告の掲出

館内の壁面等を有効活用するため、広告主を探して広告を掲出します。なお、広告の内容に関しては、横浜市の広告関連規定を遵守して、必要な手続きを行います。

管理施設における広告の実例



ウ 新たな利用者の獲得 ～ヘルスプロモーション事業～

■ アウトリーチ対応できる当団体のシニア向けプログラム

● 運動プログラムによる介護予防

平沼記念体育館の周辺区である神奈川区・西区・保土ケ谷区への健康づくりを推進するには、地域の健康づくり拠点との連携は欠かせません。

ロコモティブシンドローム予防のための横浜市オリジナルトレーニング『ハマトレ』等を用いた介護予防プログラムを引き続き普及させるほか、福祉保健センターや地域ケアプラザへの生活習慣病予防、認知症予防の取組に対し、運動プログラムを活用して支援します。



当団体が開発協力した
「ハマトレ」

自主事業の計画

● AI 姿勢測定「Sportip」の導入 **新規**

筑波大発のテックベンチャー企業(株)Sportip の姿勢・動作解析アプリ「Sportip」を導入します。

撮影した姿勢の高精度三次元解析を行い、姿勢・動作の特徴に対する対策トレーニングを AI が提示します。228の解析パターン、解析に基づく24億通り以上のフィードバック、2,295メニューのトレーニング等、個人に合わせたアセスメントが可能です。測定アプリを活用して、新時代の健康管理を提供します。

● フレイル判定ソフト「MAQUP」の活用 **新規**

マクニカと九州大学熊谷名誉教授と協働で開発されたフレイル測定ツール「MAQUP」については、実装に向けて当団体が協力し、管理している平沼記念体育館の利用者や市民を対象に測定を行い、これまで1,500人以上の方に利用していただいています。科学的根拠に基づいた4種の運動機能測定と設問により3段階でフレイル判定を行います。フレイル予防は、「認知→予防・改善」が大切です。まずは、本ツールを施設内・外で活用して**“気づき”や“きっかけ”を提供**することで市民の健康寿命延伸に貢献します。



■ 当団体オリジナル『はまちゃん体操』DVDの販売

『はまちゃん体操』は介護保険法が改正された平成18年に、**横浜市から介護予防を目的とした健康体操作成の依頼を受け、当団体が作成したプログラムです。**

関節運動やストレッチ、有酸素運動などを取り入れたメニューは、サークルや地域での健康づくり活動に活用していただくほか、シニア世代の自宅での運動習慣を目的にご利用いただいています。



全国の団体からご注文
いただいています！

収支計画について

私たちは、横浜市内のスポーツセンターの管理運営実績と豊富な経験に、協力会社（建物管理・民間フィットネスクラブ等）の専門ノウハウを加え、更なるお客様サービスの向上を図りながら、効率的に施設運営を行う5年間の予算を次のとおり算出しました。

1. 収支計画の総括表

利用を継続したくなる魅力的なサービスを提供するなど、教室やスタジオの利用促進を図るほか、積極的な自主事業拡充によって、収入を増加させます。また、その収入増や省エネルギー化への取組を徹底し、効率的な運営をすることにより、安心・安全・快適な環境を保ちながら、魅力あるスポーツ・レクリエーション空間を提供できるよう積極的な投資を行います。

【税込】単位：円

指定管理事業	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
収入	43,285,000	43,387,000	43,489,000	43,593,000	43,698,000
利用料金収入	8,103,000	8,185,000	8,267,000	8,350,000	8,434,000
スポーツ教室等収入	6,065,000	6,085,000	6,105,000	6,126,000	6,147,000
指定管理料	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000
支出	49,022,000	49,219,000	49,418,000	49,621,000	49,827,000
人件費	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000
修繕費	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000
光熱水費	4,596,000	4,644,000	4,692,000	4,740,000	4,789,000
その他管理費・事業費等	22,704,000	22,853,000	23,004,000	23,159,000	23,316,000
収支差額	-5,737,000	-5,832,000	-5,929,000	-6,028,000	-6,129,000

自主事業の利益で指定管理事業を補填します

自主事業	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
収入	9,031,000	9,142,000	9,256,000	9,372,000	9,490,000
時間外スポーツ教室等収入	80,000	81,000	82,000	83,000	84,000
時間外利用料金収入	1,137,000	1,137,000	1,137,000	1,137,000	1,137,000
駐車場事業費収入	5,500,000	5,610,000	5,723,000	5,838,000	5,955,000
物販等事業収入	102,000	102,000	102,000	102,000	102,000
自動販売機収入	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000
その他収入	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000
支出	3,294,000	3,310,000	3,327,000	3,344,000	3,361,000
時間外スポーツ教室等支出	50,000	51,000	53,000	55,000	57,000
駐車場事業費支出	1,854,000	1,854,000	1,854,000	1,854,000	1,854,000
物販等事業支出	123,000	126,000	129,000	132,000	135,000
自動販売機支出	159,000	159,000	159,000	159,000	159,000
時間外施設管理費支出	561,000	573,000	585,000	597,000	609,000
その他支出	547,000	547,000	547,000	547,000	547,000
収支差額	5,737,000	5,832,000	5,929,000	6,028,000	6,129,000

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(総括)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計	備考
①指定管理料	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000	29,117,000	145,585,000	
②施設運営収入	14,168,000	14,270,000	14,372,000	14,476,000	14,581,000	71,867,000	
項目							
利用料金収入	8,103,000	8,185,000	8,267,000	8,350,000	8,434,000	41,339,000	
スポーツ教室等事業収入	5,965,000	5,985,000	6,005,000	6,026,000	6,047,000	30,028,000	
文化系教室収入	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000	
託児事業収入	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
③自主事業による収入	9,031,000	9,142,000	9,256,000	9,372,000	9,490,000	46,291,000	
項目							
スポーツ教室等事業(時間外)	80,000	81,000	82,000	83,000	84,000	410,000	
飲食事業	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	10,500,000	
物販事業	102,000	102,000	102,000	102,000	102,000	510,000	
利用料金収入(時間外)	1,137,000	1,137,000	1,137,000	1,137,000	1,137,000	5,685,000	
利用料金収入(駐車場)	5,500,000	5,610,000	5,723,000	5,838,000	5,955,000	28,626,000	
広告業務収入	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	550,000	
その他	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
④合計(①+②+③)	52,316,000	52,529,000	52,745,000	52,965,000	53,188,000	263,743,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計	備考
⑤維持管理運営費用	49,022,000	49,219,000	49,418,000	49,621,000	49,827,000	247,107,000	
項目							
人件費	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000	18,422,000	92,110,000	
修繕費	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	16,500,000	
設備管理費・保安警備費	5,907,000	5,517,000	5,517,000	5,517,000	5,517,000	27,975,000	
備品購入費・消耗品費	1,450,000	1,478,000	1,507,000	1,537,000	1,567,000	7,539,000	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	1,484,000	1,484,000	1,484,000	1,484,000	7,420,000	
広報費・印刷製本費	366,000	366,000	366,000	366,000	366,000	1,830,000	
光熱水費・燃料費	4,596,000	4,644,000	4,692,000	4,740,000	4,789,000	23,461,000	
保険料	230,000	233,000	236,000	239,000	242,000	1,180,000	
使用料・賃借料	1,639,000	1,639,000	1,639,000	1,639,000	1,639,000	8,195,000	
委託料・謝金	5,509,000	5,986,000	6,074,000	6,164,000	6,256,000	29,989,000	
公租公課	2,750,000	2,752,000	2,755,000	2,757,000	2,760,000	13,774,000	
旅費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	300,000	
会議旅費	0	0	0	0	0	0	
通信運搬費	303,000	303,000	303,000	303,000	303,000	1,515,000	
支払手数料	245,000	248,000	251,000	254,000	257,000	1,255,000	
会費及び負担金	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	105,000	
事務経費本部分	2,740,000	2,766,000	2,791,000	2,818,000	2,844,000	13,959,000	
その他	0	0	0	0	0	0	
⑥自主事業による経費	3,294,000	3,310,000	3,327,000	3,344,000	3,361,000	16,636,000	
項目							
スポーツ教室等事業(時間外)	50,000	51,000	53,000	55,000	57,000	266,000	
飲食事業	159,000	159,000	159,000	159,000	159,000	795,000	
物販事業	123,000	126,000	129,000	132,000	135,000	645,000	
時間外施設管理支出	561,000	573,000	585,000	597,000	609,000	2,925,000	
時間外施設管理支出(駐車場)	1,854,000	1,854,000	1,854,000	1,854,000	1,854,000	9,270,000	
広告業務支出	0	0	0	0	0	0	
その他	547,000	547,000	547,000	547,000	547,000	2,735,000	
⑦合計(⑤+⑥)	52,316,000	52,529,000	52,745,000	52,965,000	53,188,000	263,743,000	

収支差額(④-⑦)	0	0	0	0	0	0	
-----------	---	---	---	---	---	---	--

項 目	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計	備考
自主事業費収入	9,031,000	9,142,000	9,256,000	9,372,000	9,490,000	46,291,000	
自主事業費支出	3,294,000	3,310,000	3,327,000	3,344,000	3,361,000	16,636,000	
自主事業収支	5,737,000	5,832,000	5,929,000	6,028,000	6,129,000	29,655,000	

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(令和9年度)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和9年度	積算内訳
①指定管理料	29,117,000	
②施設運営収入 (A)	14,168,000	
項 目		
利用料金収入	8,103,000	体育室(6,610千円)、スタジオ(981千円)、スタジオ2(512千円)
スポーツ教室等事業収入	5,965,000	過去実績から充足率増加による収入増
文化系教室収入	100,000	
託児事業収入	0	
その他	0	
③自主事業による収入	9,031,000	
項 目		
スポーツ教室等事業(時間外)	80,000	
飲食事業	2,100,000	自動販売機収入
レンタル事業	102,000	スポーツ用品等レンタル収入
利用料金収入(時間外)	1,137,000	時間外営業利用料金収入
利用料金収入(駐車場)	5,500,000	
広告業務収入	110,000	ホームページへの広告掲載
その他	2,000	雑収入
合計(①+②+③)	52,316,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和9年度	積算内訳
④維持管理運営費用 (B)	49,022,000	
項 目		
人件費・賃金	18,422,000	◆再雇用職員 5,600,000円 1名 ◆嘱託職員 4,410,000円 2名 ◆非常勤職員 5名 4,002,000円
修繕費	3,300,000	維持管理運営費用指定額による
設備管理費・保安警備費	5,907,000	委託業者見積による
備品購入費・消耗品費	1,450,000	スポーツ用具、衛生用品、事務用品 他
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	委託業者見積による
広報費・印刷製本費	366,000	折込広告、チラシ印刷等
光熱水費・燃料費	4,596,000	電気代、ガス代、水道代 過去実績より積算
保険料	230,000	施設賠償責任保険、レクリエーション保険
使用料・賃借料	1,639,000	AEDレンタル料、教室施設利用料他
委託料・謝金	5,509,000	現金集配金業務、教室講師謝金 他
公租公課	2,750,000	収入印紙代、消費税 他
旅費	60,000	事務局等への交通費等
会議賄い費	0	
通信運搬費	303,000	電話料、インターネット通信料、郵送料 他
支払手数料	245,000	振込手数料、決済手数料 他
会費及び負担金	21,000	資格更新料 他
事務経費本部分	2,740,000	人件費、通信運搬費、支払手数料、使用料及び賃借料、共益費
その他		
⑤自主事業による経費	3,294,000	
項 目		
スポーツ教室等事業(時間外)	50,000	
飲食事業	159,000	電気代
レンタル事業	123,000	スポーツ用品等レンタル品購入
時間外施設管理支出	561,000	職員手当、賃金、光熱水費 他
駐車場管理支出	1,854,000	駐車場機器リース料、消耗品
広告業務支出	0	
その他	547,000	消費税 他
合計(④+⑤)	52,316,000	
自主事業費収入	9,031,000	
自主事業費支出	3,294,000	
自主事業収支	5,737,000	

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(令和10年度)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和10年度	積算内訳
①指定管理料	29,117,000	
②施設運営収入 (A)	14,270,000	
項目 利用料金収入	8,185,000	体育室(6,677千円)、スタジオ(990千円)、スタジオ2(518千円)
スポーツ教室等事業収入	5,985,000	前年の実績より2%増加
文化系教室収入	100,000	
託児事業収入	0	
その他		
③自主事業による収入	9,142,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	81,000	基本時間外スポーツ教室収入
飲食事業	2,100,000	自動販売機収入
レンタル事業	102,000	スポーツ用品等レンタル収入
利用料金収入(時間外)	1,137,000	時間外営業利用料金収入
利用料金収入(駐車場)	5,610,000	
広告業務収入	110,000	ホームページへの広告掲載、館内広告
その他	2,000	雑収入
合計(①+②+③)	52,529,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和10年度	積算内訳
④維持管理運営費用 (B)	49,219,000	
項目 人件費・賃金	18,422,000	◆再雇用職員 5,600,000円 1名 ◆嘱託職員 4,410,000円 2名 ◆非常勤職員 5名 4,002,000円
修繕費	3,300,000	維持管理運営費用指定額による
設備管理費・保安警備費	5,517,000	委託業者見積による
備品購入費・消耗品費	1,478,000	スポーツ用具、衛生用品、事務用品 他
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	委託業者見積による
広報費・印刷製本費	366,000	折込広告、チラシ印刷等
光熱水費・燃料費	4,644,000	電気代、ガス代、水道代 過去実績より積算
保険料	233,000	施設賠償責任保険、レクリエーション保険
使用料・賃借料	1,639,000	AEDレンタル料、教室施設利用料他
委託料・謝金	5,986,000	現金集配金業務、教室講師謝金 他
公租公課	2,752,000	収入印紙代、消費税 他
旅費	60,000	事務局等への交通費等
会議随い費	0	
通信運搬費	303,000	電話料、インターネット通信料、郵送代 他
支払手数料	248,000	振込手数料、決済手数料 他
会費及び負担金	21,000	資格更新料 他
事務経費本部分	2,766,000	人件費、通信運搬費、支払手数料、使用料及び賃借料、共益費
その他		
⑤自主事業による経費	3,310,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	51,000	
飲食事業	159,000	電気代
レンタル事業	126,000	スポーツ用品等レンタル品購入
時間外施設管理支出	573,000	職員手当、賃金、光熱水費 他
駐車場管理支出	1,854,000	駐車場機器リース料、消耗品
広告業務支出	0	
その他	547,000	消費税 他
合計(④+⑤)	52,529,000	
自主事業費収入	9,142,000	
自主事業費支出	3,310,000	
自主事業収支	5,832,000	

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(令和11年度)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和11年度	積算内訳
①指定管理料	29,117,000	
②施設運営収入 (A)	14,372,000	
項目 利用料金収入	8,267,000	体育室(6,744千円)、スタジオ(1,000千円)、スタジオ2(523千円)
スポーツ教室等事業収入	6,005,000	前年の実績より2%増加
文化系教室収入	100,000	
託児事業収入	0	
その他		
③自主事業による収入	9,256,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	82,000	基本時間外スポーツ教室収入
飲食事業	2,100,000	自動販売機収入
レンタル事業	102,000	スポーツ用品等レンタル収入
利用料金収入(時間外)	1,137,000	時間外営業利用料金収入
利用料金収入(駐車場)	5,723,000	
広告業務収入	110,000	ホームページへの広告掲載、館内広告
その他	2,000	雑収入
合計(①+②+③)	52,745,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和11年度	積算内訳
④維持管理運営費用 (B)	49,418,000	
項目 人件費・賃金	18,422,000	◆再雇用職員 5,600,000円 1名 ◆嘱託職員 4,410,000円 2名 ◆非常勤職員 5名 4,002,000円
修繕費	3,300,000	維持管理運営費用指定額による
設備管理費・保安警備費	5,517,000	委託業者見積による
備品購入費・消耗品費	1,507,000	スポーツ用具、衛生用品、事務用品 他
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	委託業者見積による
広報費・印刷製本費	366,000	折込広告、チラシ印刷等
光熱水費・燃料費	4,692,000	電気代、ガス代、水道代 過去実績より積算
保険料	236,000	施設賠償責任保険、レクリエーション保険
使用料・賃借料	1,639,000	AEDレンタル料、教室施設利用料他
委託料・謝金	6,074,000	現金集配金業務、教室講師謝金 他
公租公課	2,755,000	収入印紙代、消費税 他
旅費	60,000	事務局等への交通費等
会議随い費	0	
通信運搬費	303,000	電話料、インターネット通信料、郵送代 他
支払手数料	251,000	振込手数料、決済手数料 他
会費及び負担金	21,000	資格更新料 他
事務経費本部分	2,791,000	人件費、通信運搬費、支払手数料、使用料及び賃借料、共益費
その他		
⑤自主事業による経費	3,327,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	53,000	
飲食事業	159,000	電気代
レンタル事業	129,000	スポーツ用品等レンタル品購入
時間外施設管理支出	585,000	職員手当、賃金、光熱水費 他
駐車場管理支出	1,854,000	駐車場機器リース料、消耗品
広告業務支出	0	
その他	547,000	消費税 他
合計(④+⑤)	52,745,000	
自主事業費収入	9,256,000	
自主事業費支出	3,327,000	
自主事業収支	5,929,000	

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(令和12年度)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和12年度	積算内訳
①指定管理料	29,117,000	
②施設運営収入 (A)	14,476,000	
項目 利用料金収入	8,350,000	体育室(6,812千円)、スタジオ(1,010千円)、スタジオ2(528千円)
スポーツ教室等事業収入	6,026,000	前年の実績より2%増加
文化系教室収入	100,000	
託児事業収入	0	
その他		
③自主事業による収入	9,372,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	83,000	基本時間外スポーツ教室収入
飲食事業	2,100,000	自動販売機収入
レンタル事業	102,000	スポーツ用品等レンタル収入
利用料金収入(時間外)	1,137,000	時間外営業利用料金収入
利用料金収入(駐車場)	5,838,000	
広告業務収入	110,000	ホームページへの広告掲載、館内広告
その他	2,000	雑収入
合計(①+②+③)	52,965,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和12年度	積算内訳
④維持管理運営費用 (B)	49,621,000	
項目 人件費・賃金	18,422,000	◆再雇用職員 5,600,000円 1名 ◆嘱託職員 4,410,000円 2名 ◆非常勤職員 5名 4,002,000円
修繕費	3,300,000	維持管理運営費用指定額による
設備管理費・保安警備費	5,517,000	委託業者見積による
備品購入費・消耗品費	1,537,000	スポーツ用具、衛生用品、事務用品 他
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	委託業者見積による
広報費・印刷製本費	366,000	折込広告、チラシ印刷等
光熱水費・燃料費	4,740,000	電気代、ガス代、水道代 過去実績より積算
保険料	239,000	施設賠償責任保険、レクリエーション保険
使用料・賃借料	1,639,000	AEDレンタル料、教室施設利用料他
委託料・謝金	6,164,000	現金集配金業務、教室講師謝金 他
公租公課	2,757,000	収入印紙代、消費税 他
旅費	60,000	事務局等への交通費等
会議随い費	0	
通信運搬費	303,000	電話料、インターネット通信料、郵送代 他
支払手数料	254,000	振込手数料、決済手数料 他
会費及び負担金	21,000	資格更新料 他
事務経費本部分	2,818,000	人件費、通信運搬費、支払手数料、使用料及び賃借料、共益費
その他		
⑤自主事業による経費	3,344,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	55,000	
飲食事業	159,000	電気代
レンタル事業	132,000	スポーツ用品等レンタル品購入
時間外施設管理支出	597,000	職員手当、賃金、光熱水費 他
駐車場管理支出	1,854,000	駐車場機器リース料、消耗品
広告業務支出	0	
その他	547,000	消費税 他
合計(④+⑤)	52,965,000	
自主事業費収入	9,372,000	
自主事業費支出	3,344,000	
自主事業収支	6,028,000	

単独団体名 公益財団法人横浜市スポーツ協会

施設名 横浜市平沼記念体育館

収支予算書(令和13年度)

(1)収入

(円、税込み)

項 目	令和13年度	積算内訳
①指定管理料	29,117,000	
②施設運営収入 (A)	14,581,000	
項目 利用料金収入	8,434,000	体育室(6,880千円)、スタジオ(1,021千円)、スタジオ2(533千円)
スポーツ教室等事業収入	6,047,000	前年の実績より2%増加
文化系教室収入	100,000	
託児事業収入	0	
その他		
③自主事業による収入	9,490,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	84,000	基本時間外スポーツ教室収入
飲食事業	2,100,000	自動販売機収入
レンタル事業	102,000	スポーツ用品等レンタル収入
利用料金収入(時間外)	1,137,000	時間外営業利用料金収入
利用料金収入(駐車場)	5,955,000	
広告業務収入	110,000	ホームページへの広告掲載、館内広告
その他	2,000	雑収入
合計(①+②+③)	53,188,000	

(2)支出

(円、税込み)

項 目	令和13年度	積算内訳
④維持管理運営費用 (B)	49,827,000	
項目 人件費・賃金	18,422,000	◆再雇用職員 5,600,000円 1名 ◆嘱託職員 4,410,000円 2名 ◆非常勤職員 5名 4,002,000円
修繕費	3,300,000	維持管理運営費用指定額による
設備管理費・保安警備費	5,517,000	委託業者見積による
備品購入費・消耗品費	1,567,000	スポーツ用具、衛生用品、事務用品 他
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,484,000	委託業者見積による
広報費・印刷製本費	366,000	折込広告、チラシ印刷等
光熱水費・燃料費	4,789,000	電気代、ガス代、水道代 過去実績より積算
保険料	242,000	施設賠償責任保険、レクリエーション保険
使用料・賃借料	1,639,000	AEDレンタル料、教室施設利用料他
委託料・謝金	6,256,000	現金集配金業務、教室講師謝金 他
公租公課	2,760,000	収入印紙代、消費税 他
旅費	60,000	事務局等への交通費等
会議随い費	0	
通信運搬費	303,000	電話料、インターネット通信料、郵送代 他
支払手数料	257,000	振込手数料、決済手数料 他
会費及び負担金	21,000	資格更新料 他
事務経費本部分	2,844,000	人件費、通信運搬費、支払手数料、使用料及び賃借料、共益費
その他		
⑤自主事業による経費	3,361,000	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	57,000	
飲食事業	159,000	電気代
レンタル事業	135,000	スポーツ用品等レンタル品購入
時間外施設管理支出	609,000	職員手当、賃金、光熱水費 他
駐車場管理支出	1,854,000	駐車場機器リース料、消耗品
広告業務支出	0	
その他	547,000	消費税 他
合計(④+⑤)	53,188,000	
自主事業費収入	9,490,000	
自主事業費支出	3,361,000	
自主事業収支	6,129,000	